はじめに
やりたいこと目次
1 画像取り込み
2 カメラ設定
3 リモート撮影
4 環境設定
資　料
索　引

カメラとの通信用ソフトウェア

EOS Utility

Ver.2.11

1D X　1D Mk IV　1Ds Mk III　1D Mk III　5D Mk III　5D Mk II　7D　60D　50D　40D
Kiss X6i　Kiss X5　Kiss X4　Kiss X3　Kiss X2　Kiss X50　Kiss F

使用説明書

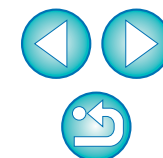
本使用説明書上のおことわり

- 名称の EOS Utility を EU と表記しています。
- カメラの名称をアイコンで示しています。
  例：EOS-1D X → 1D X
- [カメラアイコン] は対象カメラを示しています。
- Windows Vista を使用した画面を例に説明しています。
- ▶ の手順は、メニューの選択順序を示しています。
  （例：メニューの［ウィンドウ］▶［メイン画面］を選ぶ）
- ［ ］内の語句は、パソコン画面上に表示されるメニューやボタン、画面の名称を示しています。
- 〈 〉内の語句は、カメラのスイッチ名称やマーク、キーボードのキー名称を示しています。
- p.** の ** は、参照ページを示しています。
  また、クリックすると参照ページが表示されます。
- [!]：注意事項です。
- [メモ]：補足説明です。

ページの移動

- 画面右下のマークをクリックします。
  - [▶]：次ページ
  - [◀]：前ページ
  - [↩]：ひとつ前に表示していたページに戻る
- 画面右端に配置された章見出しをクリックすると、章目次のページが表示されます。さらに、目次の読みたい項目をクリックするとそのページが表示されます。

　CCS-M034EUWJ-000

はじめに

EOS（イオス） Utility（ユーティリティ）（以降 EU（イーユー） と表記）は、EOS DIGITAL カメラとの通信用ソフトウェアです。カメラとパソコンをカメラに付属のケーブルで接続すると、カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像をパソコンに取り込んだり、カメラの各種設定やリモート撮影をパソコン上の EU から行うことができます。

EU でできること

EU からカメラをリモートコントロールして、主に次のことができます。

- **カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像を一括してパソコンへ取り込む**
  - 選んだ画像だけをパソコンに取り込むことも可能
- **パソコンからの各種カメラ設定**
- **パソコンからカメラを制御したリモート撮影**
  - パソコンでリアルタイムに被写体を確認しながら撮影できる「リモートライブビュー撮影」に対応
  - カメラのシャッターボタン操作によるリモート撮影にも対応
  - 設定した時間でカメラが自動撮影を行うタイマー撮影
- **画像取り込み時、リモート撮影時に連携動作する Digital（デジタル） Photo（フォト） Professional（プロフェッショナル） で、画像を即閲覧／確認**

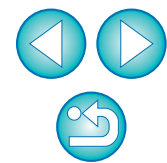
動作環境

OS（オペレーティングシステム）	Windows 7*1 Windows Vista*2 Windows XP Professional ／ Home Edition*3
機　種	上記の日本語版 OS がプリインストールされていて、USB 接続部を標準装備したパソコン（アップグレード機は動作保証外） ※ .NET Framework 3.0 以上が必要です。*4
CPU（シーピーユー）	Pentium 1.3GHz 以上
RAM（メモリー）	1GB 以上 *5
インターフェース	Hi-Speed USB
ディスプレイ	画面の解像度：1024 × 768 ピクセル以上 画面の色：中（16 ビット）以上

*1 Starter Edition を除く全バージョンの 32bit ／ 64bit システム用に対応
*2 Starter Edition を除く Service Pack 1、Service Pack 2 の 32bit ／ 64bit システム用に対応
*3 Service Pack 3 に対応
*4 .NET Framework は、マイクロソフト社のソフトウェアで、EU とともにインストールされます。
*5 Windows 7 64bit 版は 2GB 以上
最新の OS を含む対応状況については弊社ホームページをご確認ください。

対応カメラ

下記のカメラで撮影した RAW 画像、JPEG 画像、MOV 動画に対応しています。

EOS-1D X	EOS-1D Mark IV
EOS-1Ds Mark III	EOS-1D Mark III
EOS 5D Mark III	EOS 5D Mark II
EOS 7D	EOS 60D
EOS 50D	EOS 40D
EOS Kiss X6i	EOS Kiss X5
EOS Kiss X4	EOS Kiss X3
EOS Kiss X2	EOS Kiss X50
EOS Kiss F	–

やりたいこと目次

カメラからパソコンへの画像取り込み

パソコンからのカメラ設定

リモート撮影

別売アクセサリーとの連携機能

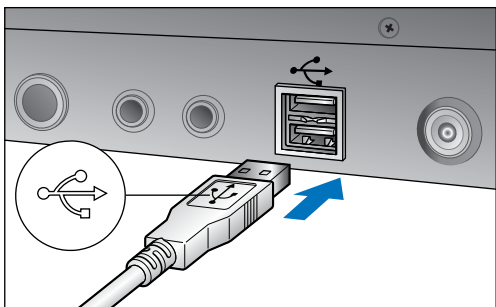
その他

1 パソコンに画像を取り込む

パソコンに画像を取り込むための準備（カメラとパソコンの接続方法）、EU の立ち上げかた、カメラからパソコンへの画像の取り込みかた、EU の終了方法までの基本的な一連の操作方法を説明します。

カメラとパソコンを接続する

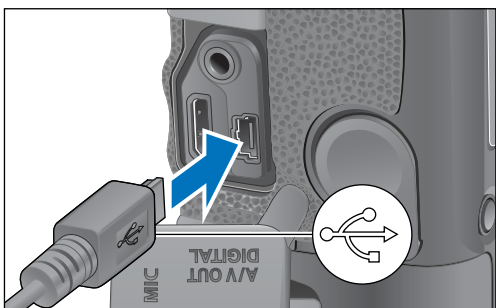
カメラで撮影した画像をパソコンに取り込むため、カメラに付属のインターフェースケーブルでカメラとパソコンを接続します。

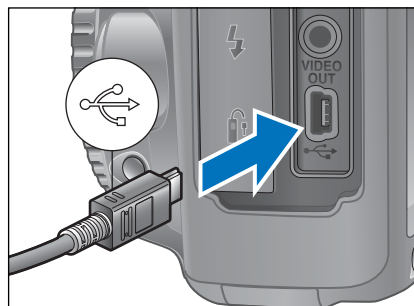
1 ケーブルの大きい方のプラグを、パソコンの USB 接続部に差し込む

- USB 接続部の位置や向きについては、パソコンの使用説明書を参照してください。

2 ケーブルの小さい方のプラグを、カメラの端子に差し込む

- カメラ別の手順でプラグをカメラに接続すると、画像を取り込む準備が完了します。引き続き「EU を立ち上げる」へ進んでください。

1D Mk IV

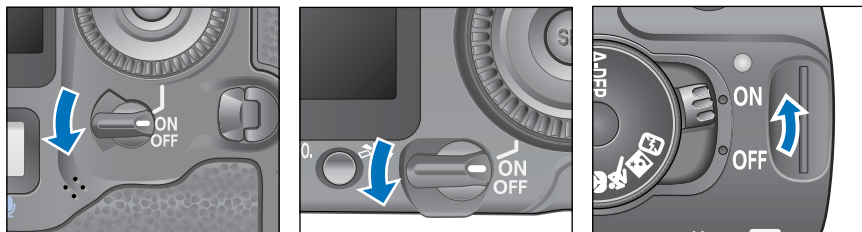
- プラグの〈⭠〉マークをカメラの背面に向け、カメラの〈A/V OUT / DIGITAL〉端子に差し込みます。

1D Mk IV 以外のカメラ

- プラグの〈⭠〉マークをカメラの前面に向け、カメラの〈⭠〉端子または、〈A/V OUT / DIGITAL〉端子に差し込みます。

1D X 1D Mk IV 1Ds Mk III 1D Mk III では、プラグ抜け防止用のケーブルプロテクターで、カメラとプラグを固定することができます。使いかたについては、p.85 ～ p.87 を参照してください。

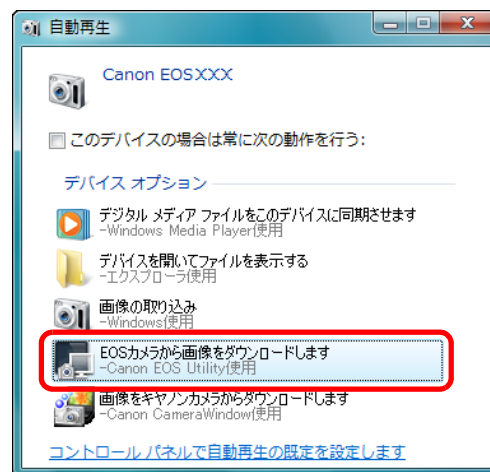
はじめに
やりたいこと目次
画像取り込み
カメラ設定
リモート撮影
環境設定
資　料
索　引

EU を立ち上げる

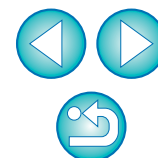
カメラの電源スイッチを〈ON〉にすると EU が立ち上がり、カメラとパソコンが通信できる状態になります。

1 カメラの電源スイッチを〈ON〉にする

➜ カメラとパソコンの通信が開始され、手順 2 の画面が表示されます。

- カメラの電源スイッチを〈ON〉にしても手順 2 の画面が表示されないときは、デスクトップにある［EOS Utility］アイコンをダブルクリックして EU を立ち上げてください。
- Kiss X3 では、カメラのモードダイヤルが〈🎥〉になっていると、EU と接続できません。モードダイヤルは〈🎥〉以外にセットしてください。

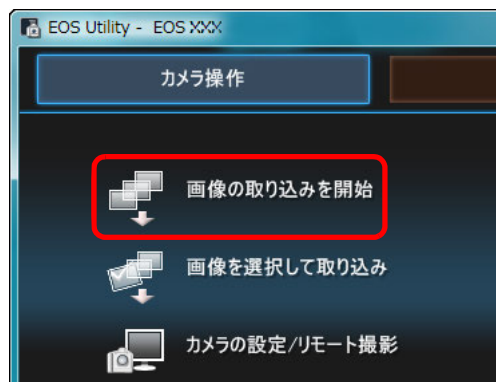
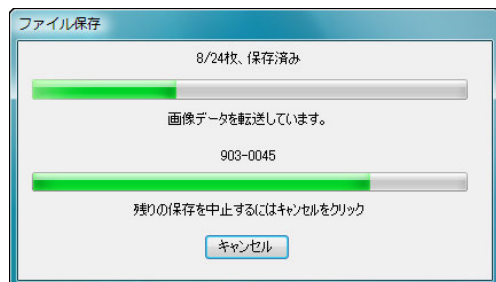
2 ［EOS カメラから画像をダウンロードします］をクリックする

EU メイン画面

➜ EU が立ち上がりメイン画面が表示されて、カメラとパソコンの通信が可能になりました。引き続き「画像を一括してパソコンに取り込む」へ進んでください。

- Windows XP では、［Canon EOS Utility］を選んで［OK］ボタンを押すと、EU が立ち上がります。
- **［このデバイスの場合は常に次の動作を行う］**（Windows XP では、**［この動作には常にこのプログラムを使う］**）をチェックすると、2 回目以降にカメラとパソコンを接続したときは、カメラの電源スイッチを〈ON〉にすると EU が立ち上がります。
- EU が立ち上がるとカメラの液晶モニターが点灯します。
- 1D Mk IV 7D 60D Kiss X6i Kiss X5 Kiss X4 Kiss X50 以外のカメラでは、カメラを操作して、カメラ内のメモリーカードに保存されている画像を、パソコンに取り込むことができます。詳しくは、カメラの使用説明書を参照してください。

画像を一括してパソコンに取り込む

　カメラ内のメモリーカードに保存されている画像の中で、まだ取り込んでいない画像を、一括してパソコンに取り込むことができます。

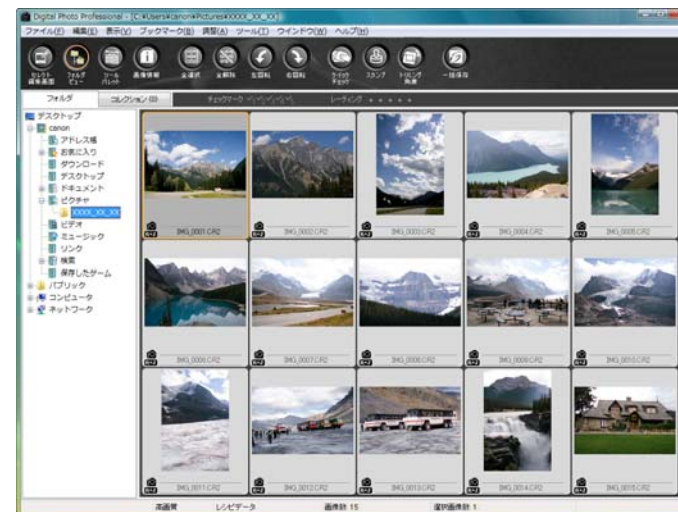
　また、取り込んだ画像は撮影日ごとにフォルダに分類されて、連携して立ち上がる Digital Photo Professional（RAW 画像現像／閲覧／編集ソフトウェア）（以降 DPP）のメイン画面に表示され、すぐに確認することができます。

1 ［画像の取り込みを開始］をクリックする

ファイル保存画面

➜［ファイル保存］画面が表示され、パソコンへの画像取り込みがはじまります。

➜取り込まれた画像は、パソコンの［マイ ピクチャ］フォルダに保存されます。

● すべての画像が取り込まれると、DPP が自動的に立ち上がり、DPP のメイン画面に取り込んだ画像が表示されます。

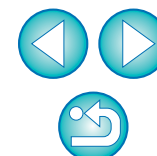
2 取り込んだ画像を確認する

DPP メイン画面

● 取り込んだ画像を DPP で確認します。
DPP の使いかたについては、「Digital Photo Professional 使用説明書」（PDF 形式の電子マニュアル）を参照してください。

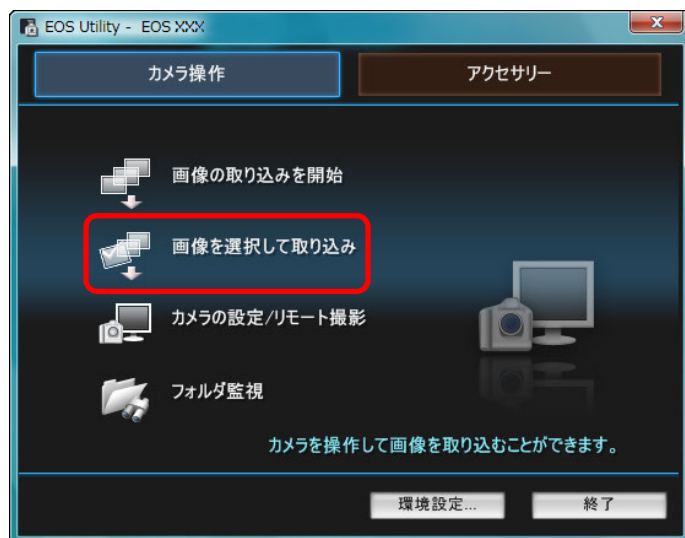
● 引き続き「EU を終了する」（p.11）へ進んでください。

● 画像を取り込んだときに連携して立ち上がるソフトウェアを、環境設定（［連携ソフト］タブ画面）で、DPP から ImageBrowser EX や別のソフトウェアに変更することができます。（p.78）

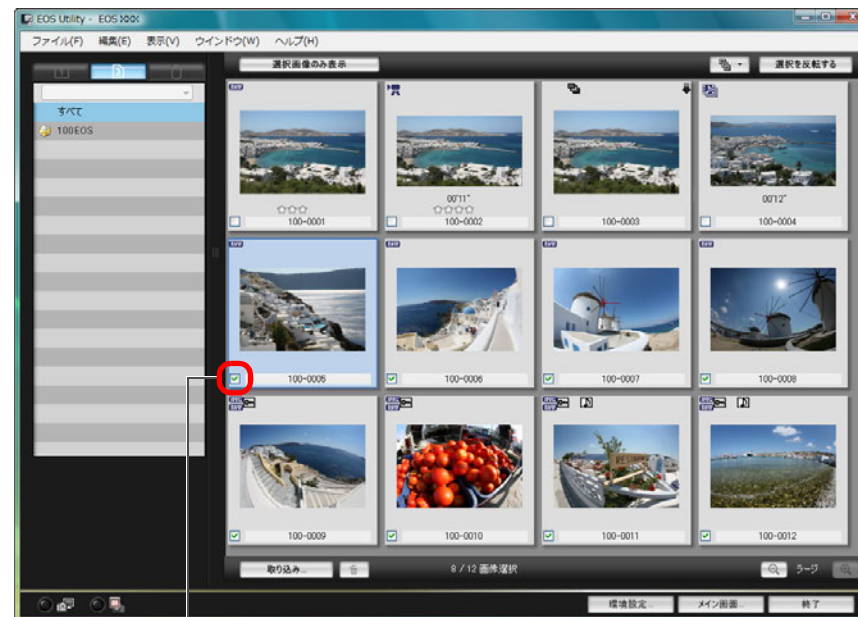
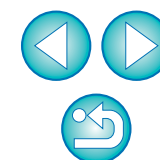
● 取り込む画像の保存先や、取り込み対象となる画像を、環境設定（［保存先フォルダ］タブ画面、［画像取り込み］タブ画面）で変更することができます。（p.75、p.76）

● 動画はファイルサイズが大きいため、取り込みに時間がかかります。

画像を選んでパソコンに取り込む

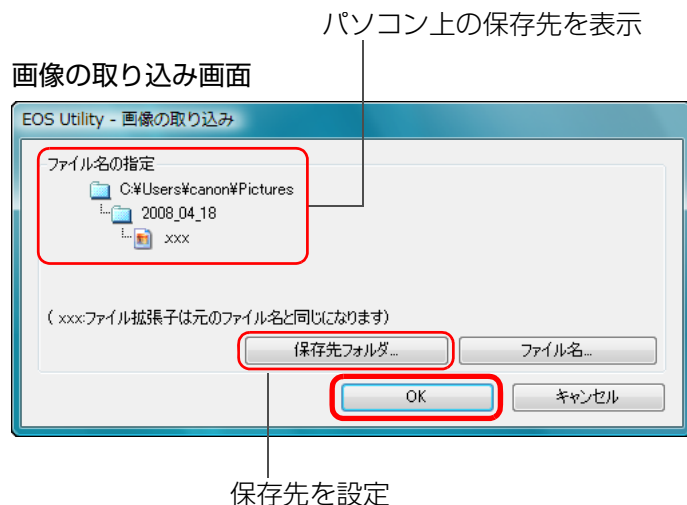
カメラ内のメモリーカードに保存されている画像を見て、必要な画像だけをパソコンに取り込むことができます。

1 [画像を選択して取り込み] をクリックする

➜ビューワー画面が表示され、メモリーカード内の画像が表示されます。

2 画像を見て、取り込む画像をチェックする

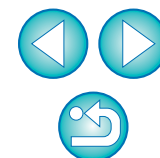
ビューワー画面

[ ] ボタンを押すと、さまざまな条件で画像を絞り込み、取り込む画像を選ぶことができます。

3 [取り込み] ボタンを押す

→ **[画像の取り込み]** 画面が表示されます。

4 保存先を設定して [OK] ボタンを押す

→ **[ファイル保存]** 画面が表示され、パソコンへの画像取り込みがはじまります。

→ パソコンに取り込まれた画像は、**[クイックプレビュー]** 画面に表示されます。

- **[クイックプレビュー]** 画面では、取り込まれた画像を素早く確認することができます。なお、**[クイックプレビュー]** 画面の表示サイズは変更することができます。
- すべての画像が取り込まれると、DPP が自動的に立ち上がり、取り込んだ画像が表示されます。
- メイン画面に切り換えるときは、ビューワー画面の **[メイン画面]** ボタンを押します。

- 手順２で連続した複数の画像を一括してチェックすることもできます。取り込みたい最初の画像をクリックしたあと、〈Shift〉キーを押したまま最後の画像をクリックすると、[ ] が表示されます。[ ] ボタンを押すと、選んだ画像が一括してチェックされます。
- ビューワー画面の機能一覧は、p.89 を参照してください。

カメラの操作でパソコンに画像を取り込む

ダイレクト画像転送機能を搭載したカメラでは、カメラの操作でカメラ内のメモリーカードに保存されている画像をパソコンに取り込むことができます。ダイレクト画像転送機能に関する詳しい操作方法は、カメラに付属のカメラ使用説明書を参照してください。

● この機能は、1D X 1Ds Mk III 1D Mk III 5D Mk III 5D Mk II 50D 40D Kiss X3 Kiss X2 Kiss F に対応しています。

1 カメラとパソコンを接続して、EU を立ち上げる (p.5)

2 カメラでダイレクト画像転送の操作を行う

→ カメラ内の画像がパソコンに保存されます。

● すべての画像が取り込まれると、Digital Photo Professional が起動し、取り込んだ画像が表示されます。

カードリーダーで画像を取り込む

市販のカードリーダーをお持ちの方は、カードリーダーを使って、メモリーカードに保存されている画像をパソコンに取り込むこともできます。ただし、EU はカードリーダーを使った画像取り込みには対応していません。そのため、カードリーダーを使った画像取り込みは、以下の 3 種類の方法で行ってください。

Digital Photo Professional を使った画像取り込み

DPP を使って、パソコンに接続された市販のカードリーダー内のメモリーカードから、撮影画像をパソコンに取り込むことができます。

詳しい使いかたは、「Digital Photo Professional 使用説明書」（PDF 形式の電子マニュアル）の「カードリーダーで取り込む」を参照してください。

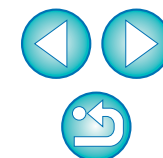
ImageBrowser EX を使った画像取り込み

ImageBrowser EX を使って、パソコンに接続された市販のカードリーダー内のメモリーカードから、撮影画像をパソコンに取り込むことができます。

詳しい使いかたは、「ImageBrowser EX ガイド」（PDF 形式の電子マニュアル）を参照してください。

キヤノン製ソフトウェアを使わない画像取り込み

DPP や ImageBrowser EX などのキヤノン製ソフトウェアを使わずに、カードリーダーを使って撮影画像を取り込むときは、メモリーカード内の「DCIM」フォルダをパソコンにコピーしてください。

メモリーカード内の詳しいフォルダ構造とファイルについては、p.84 を参照してください。

EU を終了する

1 **［終了］ボタンを押す**

➜ 画面が閉じて EU が終了します。

2 **カメラの電源スイッチを〈OFF〉にする**

3 **カメラとパソコンからケーブルを抜く**

● ケーブルを引っぱらずに、必ずプラグを持って抜いてください。

はじめに

やりたいこと目次

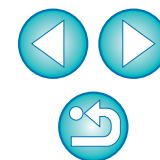
画像取り込み

カメラ設定

リモート撮影

環境設定

資　料

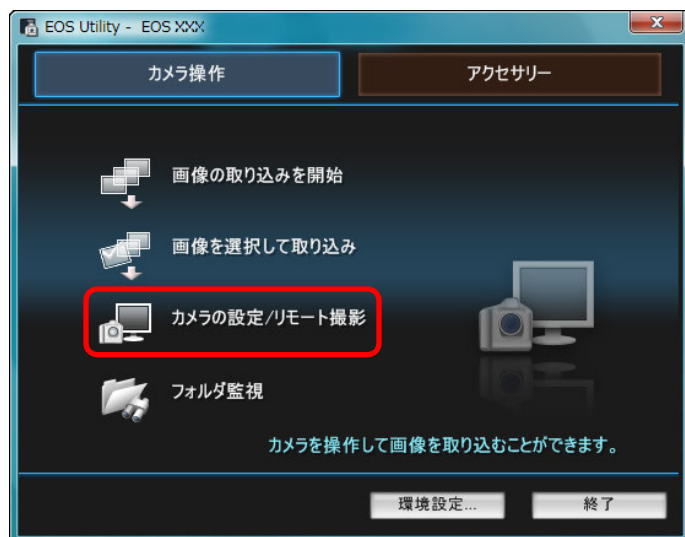
索　引

2 パソコンからカメラを設定する

カメラの各種機能を、EU から設定する方法について説明します。

カメラの所有者名や著作権情報、日付／時刻を設定する

撮影した画像に撮影情報として書き込まれる、カメラの所有者名や著作権情報、日付／時刻などを設定して、カメラに適用することができます。

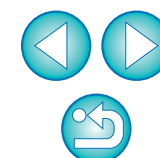
1 カメラとパソコンを接続して、EU を立ち上げる (p.5)

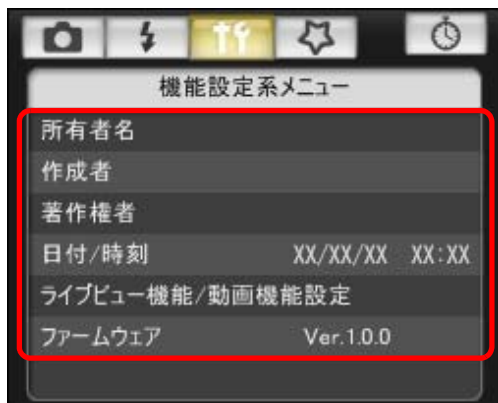
2 [カメラの設定／リモート撮影] をクリックする

➜ キャプチャー画面が表示されます。

3 [ ] ボタンを押す

キャプチャー画面

➜ [機能設定系メニュー] が表示されます。

はじめに
やりたいこと目次
画像取り込み
カメラ設定
リモート撮影
環境設定
資　料
索　引

4 設定する項目をクリックして各内容を設定する

機能設定系メニュー

- 接続しているカメラで設定できる項目が表示されます。内容については、「カメラ別の設定可能項目」を参照してください。

キャプチャー画面の機能一覧は、p.92 を参照してください。

カメラ別の設定可能項目

設定項目	1Ds Mk III 1D Mk III	1D X 1D Mk IV 5D Mk III 5D Mk II 7D 60D 50D Kiss X6i Kiss X5 Kiss X4 Kiss X3 Kiss X50	40D Kiss X2 Kiss F
所有者名	○	○	○
作成者 *1	−	○	−
著作権者（著作権情報）*1	−	○	−
日付／時刻／エリア *2	○	○	○
ライブビュー機能設定／動画機能設定 *3	○	○	○
ファームウェア	○	○	○

所有者名

- カメラの所有者名を、半角英数字で最大 31 文字まで入力／設定することができます。

作成者 *1

- 作品の作成者を、接頭語を含め、半角英数字／記号で最大 63 文字まで入力／設定することができます。

著作権者（著作権情報）*1

- 作品の著作権者（著作権情報）を、接頭語を含め、半角英数字／記号で最大 63 文字まで入力／設定することができます。

日付 / 時刻 / エリア *2

- カメラの日付 / 時刻と撮影したときのエリア（地域）を設定することができます。
- パソコンのシステム時刻を取得し、カメラの日付 / 時刻と同期させることができます。
- 1D X 5D Mk III 7D（ファームウェア Ver.2.0.0 以上）Kiss X6i にサマータイムの設定、解除を行うことができます。

ライブビュー機能／動画機能設定 *3

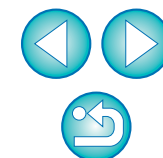
- ライブビュー撮影機能／動画機能設定（p.28、p.54）を有効にするかどうかを設定することができます。

ファームウェア

- カメラのファームウェアのバージョンが表示されます。
- 本項目をクリックすることで、ファームウェアをアップデートすることができます。
- ファームウェアアップデートの詳しい内容については、キヤノンホームページを参照してください。

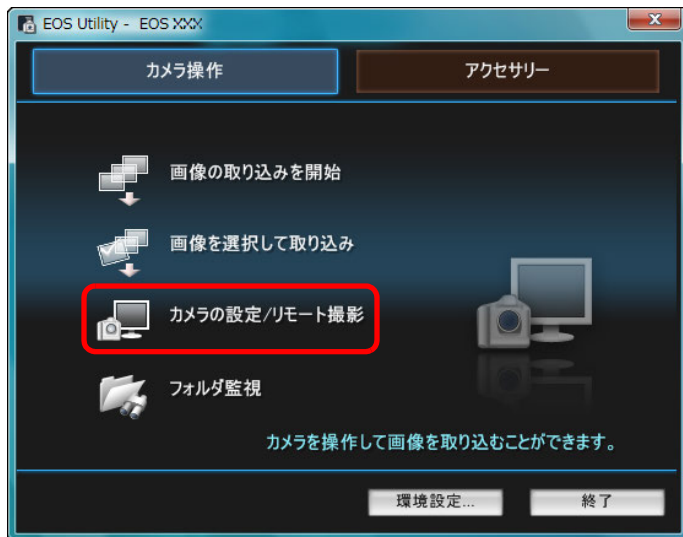
*1 設定されている作成者、著作権者（著作権情報）がすべて表示されていないときは、表示されている設定内容にカーソルを重ねると、すべての設定内容がポップアップ表示されます。

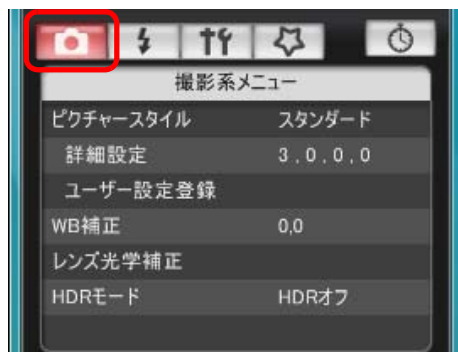
*2 エリア設定は 1D X 5D Mk III 7D（ファームウェア Ver.2.0.0 以上）Kiss X6i のみ

*3 動画機能設定は 1D X 1D Mk IV 5D Mk III 5D Mk II 7D 60D Kiss X6i Kiss X5 Kiss X4 Kiss X3 Kiss X50 のみ

カメラの機能を設定する

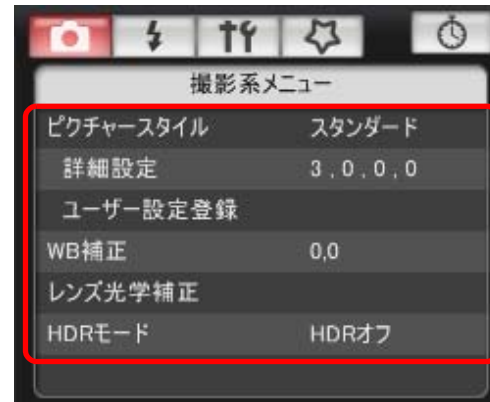
ピクチャースタイル、カスタムホワイトバランス、JPEG 画質、ホワイトバランス補正を設定して、カメラに適用することができます。

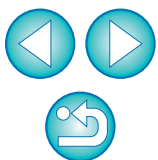
1 カメラとパソコンを接続して、EU を立ち上げる (p.5)

2 [カメラの設定／リモート撮影] をクリックする

➜ キャプチャー画面が表示されます。

3 [📷] ボタンを押す

➜ [撮影系メニュー] が表示されます。

4 設定する項目をクリックして各内容を設定する

撮影系メニュー

● 接続しているカメラで設定できる項目が表示されます。内容については、「カメラ別の設定可能項目」を参照してください。

キャプチャー画面の機能一覧は、p.92 を参照してください。

カメラ別の設定可能項目

設定項目	1D X / 1D Mk IV / 1Ds Mk III / 1D Mk III	5D Mk III / 5D Mk II / 7D / 60D / 50D / Kiss X6i / Kiss X5 / Kiss X4 / Kiss X3 / Kiss X50	40D / Kiss X2 / Kiss F
ピクチャースタイル	○	○	○
カスタムホワイトバランス	△*1	－	－
JPEG 画質	○	－	－
ホワイトバランス補正	○	○	○
レンズ収差補正／レンズ光学補正／周辺光量補正データの登録	△*1	○	－
HDR 撮影	－	△*2	－

△*1 1D X 1D Mk IV は設定可能、それ以外の機種は設定不可。
△*2 5D Mk III は設定可能、それ以外の機種は設定不可。

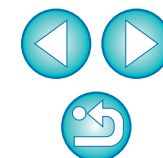
ピクチャースタイル
- カメラでの操作と同じように、ピクチャースタイルを設定してカメラに適用することができます。（p.17）

カスタムホワイトバランス
- カスタムホワイトバランスファイルをカメラに登録することができます。（p.21）

JPEG 画質
- カメラでの操作と同じように、JPEG 画像の記録画質を設定してカメラに適用することができます。（p.22）

ホワイトバランス補正
- カメラでの操作と同じように、ホワイトバランスを補正することができます。（p.23）

レンズ収差補正／レンズ光学補正／周辺光量補正データの登録
- レンズ収差補正／レンズ光学補正／周辺光量補正データをカメラに登録したり、カメラから削除することができます。（p.23）

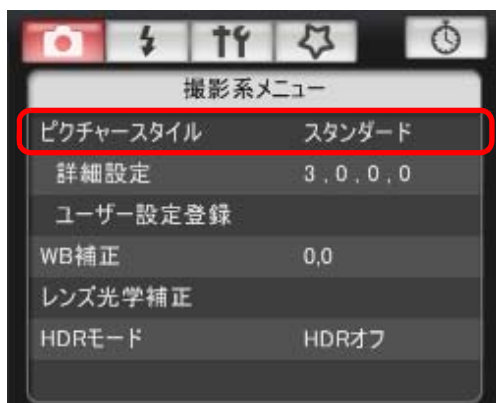
HDR（ハイダイナミックレンジ）撮影
- 白とびや黒つぶれを緩和したダイナミックレンジが広い写真や、絵画のような写真を撮影することができます。（p.34）

ピクチャースタイルを設定してカメラに適用する

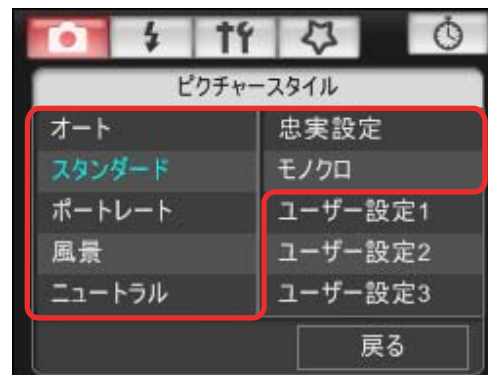
カメラでの操作と同じように、ピクチャースタイルを設定してカメラに適用することができます。各ピクチャースタイルの **[シャープネス]**、**[コントラスト]**、**[色の濃さ]**、**[色あい]** の値を変更してカメラに設定したり、自分の好みに設定したピクチャースタイルをユーザー設定としてカメラに 3 つまで登録することができます。

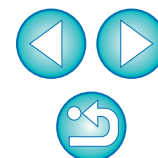
また、キヤノンホームページからダウンロードしてパソコンに保存したピクチャースタイルファイルや、Picture Style Editor（ピクチャースタイルファイル作成用ソフトウェア）（以降 PSE）で作成してパソコンに保存したピクチャースタイルファイルを、ユーザー設定としてカメラに登録することもできます。

なお、1D X 1D Mk IV 5D Mk III 7D 60D Kiss X6i Kiss X5 Kiss X4 Kiss X50 では、ピクチャースタイルの登録に時間がかかることがあります。

ピクチャースタイルを選んでカメラに適用する

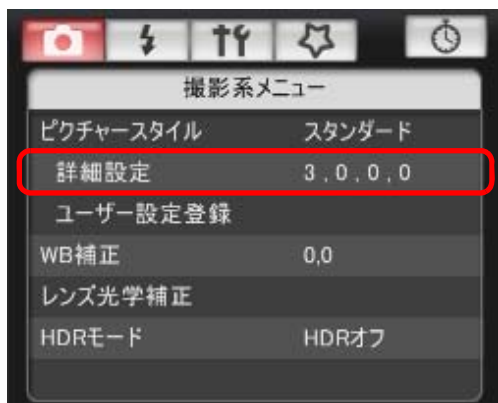
1 **[ピクチャースタイル]** をクリックする

➜ **[ピクチャースタイル]** 画面が表示されます。

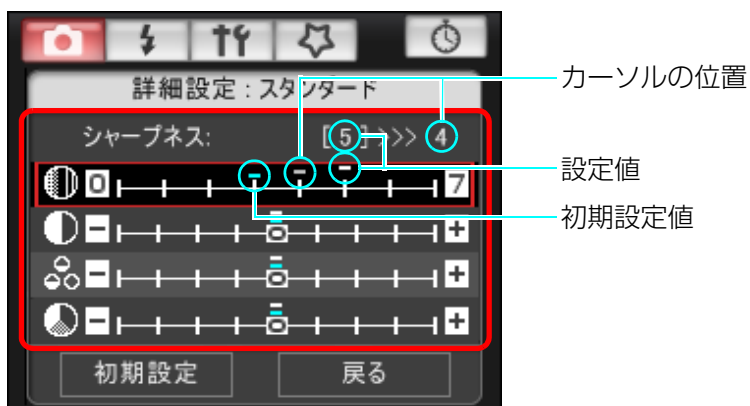
2 カメラに設定するピクチャースタイルをクリックする

ピクチャースタイル画面

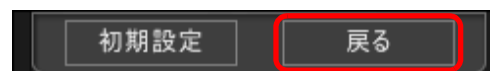
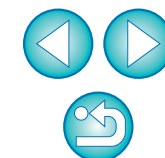
➜ 設定内容がカメラに適用され、**[撮影系メニュー]** に戻ります。

 [オート] は 1D X 5D Mk III Kiss X6i Kiss X5 のみ表示されます。

ピクチャースタイルの設定値を変更してカメラに適用する

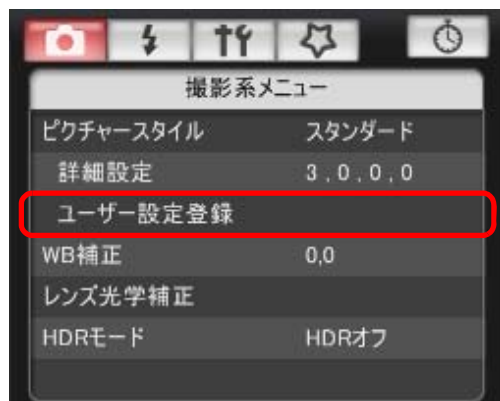
カメラでの操作と同じように、各ピクチャースタイルの［シャープネス］、［コントラスト］、［色の濃さ］、［色あい］を自分好みに設定して、カメラに適用することができます。

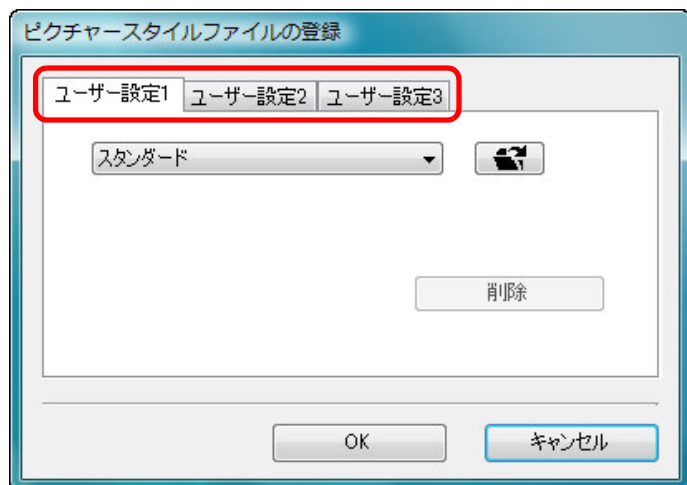
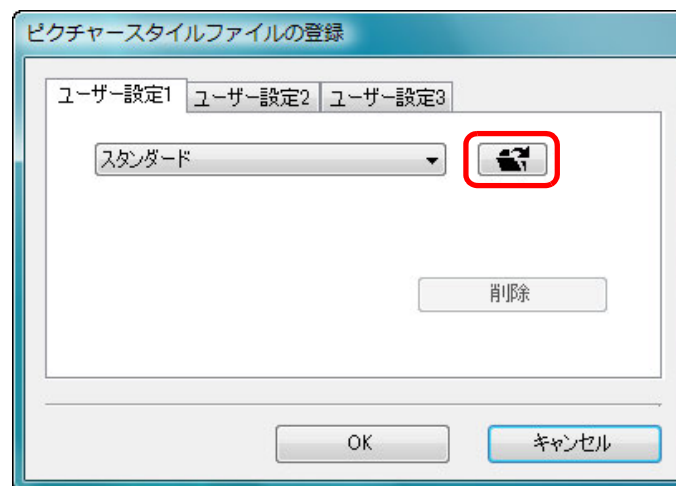
1 ［詳細設定］をクリックする

→［詳細設定］画面が表示されます。

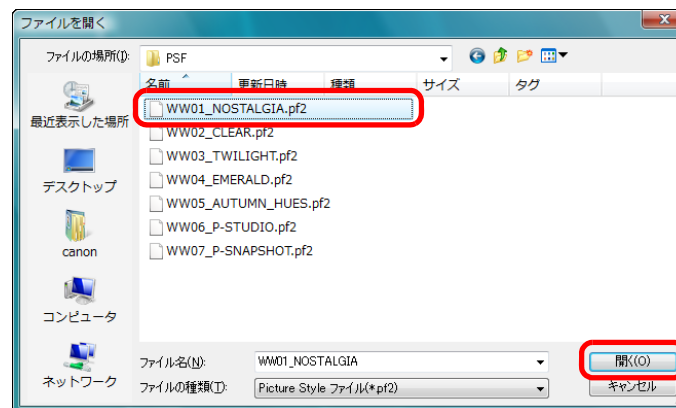
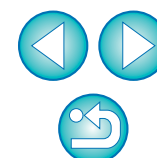
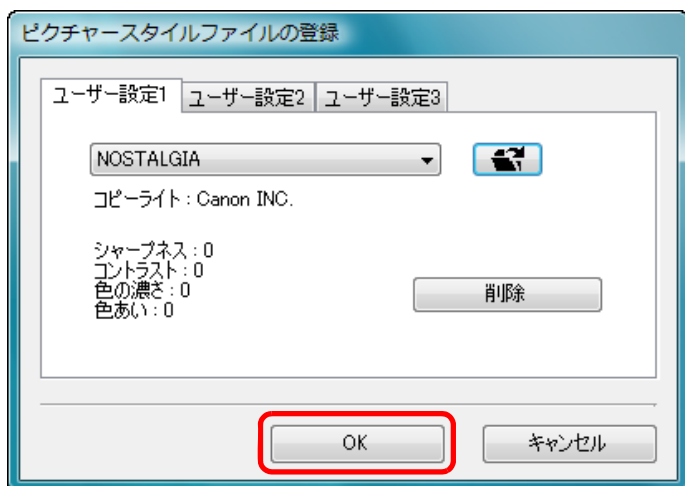
2 各項目のスライダー上の目盛をクリックして設定する

→ピクチャースタイルで［モノクロ］を選んだとき(p.17)は、［フィルター効果］、［調色］のリストボックスが表示されます。

3 ［戻る］をクリックする

→設定内容がカメラに適用され、［撮影系メニュー］に戻ります。

ピクチャースタイルファイルをカメラに適用する

キヤノンホームページからダウンロードしてパソコンに保存したピクチャースタイルファイルや、PSE で作成してパソコンに保存したピクチャースタイルファイルを、ユーザー設定として 3 つまでカメラに登録することができます。

1 [ユーザー設定登録] をクリックする

→ [ピクチャースタイルファイルの登録] 画面が表示されます。

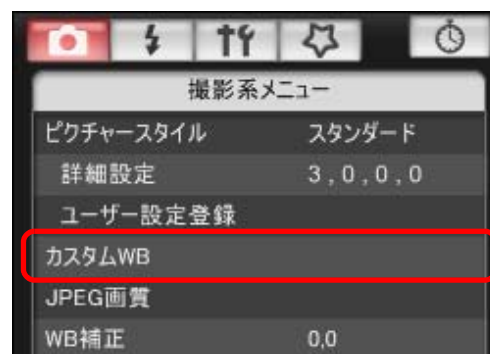
2 [ユーザー設定 1] ～ [ユーザー設定 3] のいずれかのタブを選ぶ

3 [ ] ボタンを押す

→ [ファイルを開く] 画面が表示されます。

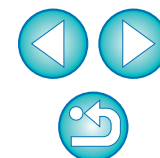
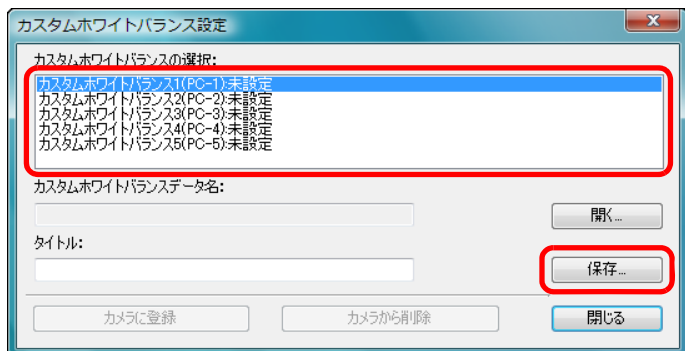
4 ピクチャースタイルファイルを選び、[開く] ボタンを押す

→ ピクチャースタイルファイルが読み込まれます。

5 [OK] ボタンを押す

→ ピクチャースタイルファイルがカメラに登録されます。

ホワイトバランスをパソコンに保存する

画像のホワイトバランスの調整結果は、ホワイトバランスファイル（拡張子「.WBD」）としてパソコンへ保存することができます。パソコンに保存したホワイトバランスファイルは、カスタムホワイトバランスとしてカメラに登録することができます。（p.21）

ホワイトバランスは、**[リモートライブビュー画面]** や **[テスト撮影]** 画面で調整を行ったあと、あらかじめカメラに登録しておきます。

1 [カスタム WB] をクリックする

→ **[カスタムホワイトバランス設定]** 画面が表示されます。

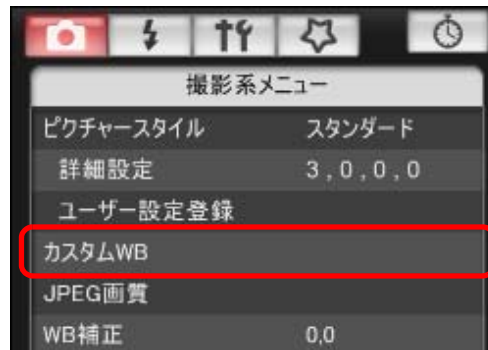
- ピクチャースタイルファイルとは、ピクチャースタイルの拡張機能ファイルです。ピクチャースタイルファイルの詳しい内容については、キヤノンホームページを参照してください。
- カメラに適用できるピクチャースタイルファイルは、拡張子が「.PF2」のファイルだけです。
- PSE の使いかたについては、「Picture Style Editor 使用説明書」（PDF 形式の電子マニュアル）を参照してください。

2 パソコンに保存したいホワイトバランスを選び、［保存］ボタンを押す

3 表示された画面で、ファイル名を入力し、保存先を選んで、［保存］ボタンを押す

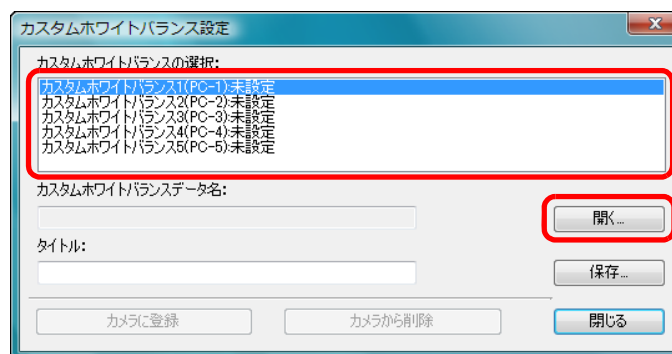
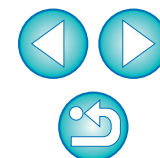
➜ ホワイトバランスファイルがパソコンに保存されます。

カスタムホワイトバランスをカメラに登録する

1D X　1D Mk IV

画像のホワイトバランスを調整して保存したホワイトバランスファイルを、カスタムホワイトバランスとしてカメラに登録することができます。

1 ［カスタム WB］をクリックする

➜ ［カスタムホワイトバランス設定］画面が表示されます。

2 登録するカスタムホワイトバランスを選び、［開く］ボタンを押す

➜ ［ファイルを開く］画面が表示されます。

3 ホワイトバランスファイルが保存されている場所を開き、ファイルを選んで［開く］ボタンを押す

➜ ホワイトバランスファイルが読み込まれます。

● カメラに登録できるホワイトバランスファイルは、拡張子が「.WBD」のファイルです。

4 ［タイトル］入力欄にタイトルを入力する

5 ［カメラに登録］ボタンを押す

➜ カスタムホワイトバランスがカメラに登録されます。

● 引き続き登録するときは、手順２～５の操作を操り返してください。

6 ［閉じる］ボタンを押す

➜ ［カスタムホワイトバランス設定］画面が閉じ、［撮影系メニュー］に戻ります。

7 登録したカスタムホワイトバランスをカメラで選ぶ

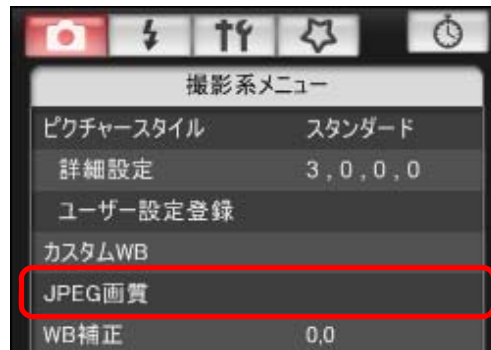
● 登録したカスタムホワイトバランスをホワイトバランスとして選びます。

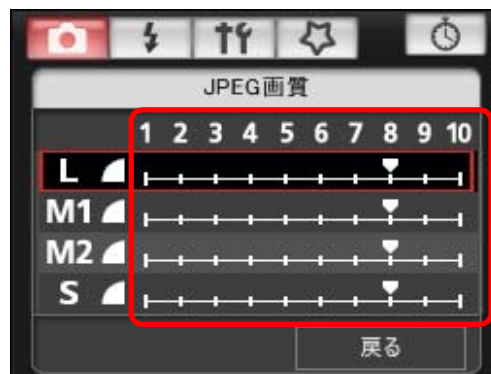
● カスタムホワイトバランス、またはマニュアルホワイトバランスの選びかたについては、付属のカメラ使用説明書のホワイトバランスの設定についての項目を参照してください。

JPEG 記録画質を設定してカメラに適用する

1D X　1D Mk IV　1Ds Mk III　1D Mk III

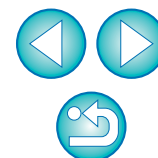
カメラでの操作と同じように、JPEG 画像の記録画質を設定して、カメラに適用することができます。

1 ［JPEG 画質］をクリックする

➜ ［JPEG 画質］画面が表示されます。

2 設定位置をクリックする

➜ 設定内容がカメラに適用されます。

● 各サイズとも、数値が大きくなるほど圧縮率が低く、高画質になります。

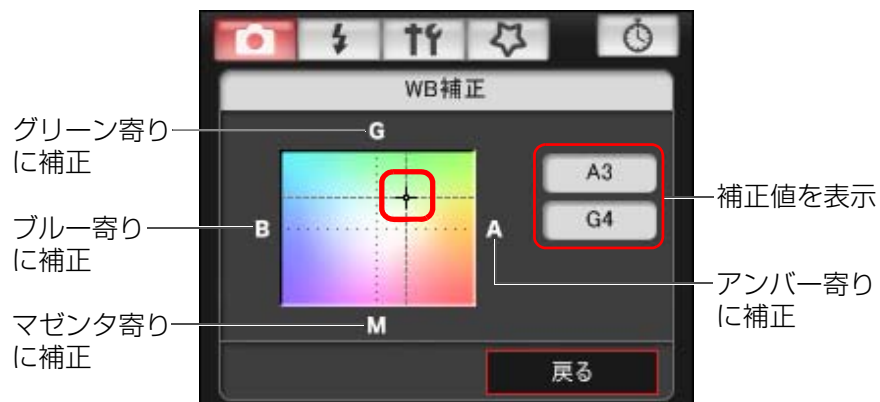
3 ［戻る］をクリックする

➜ ［撮影系メニュー］に戻ります。

ホワイトバランスを補正してカメラに適用する

カメラでの操作と同じように、ホワイトバランスを補正することができます。

1 ［WB 補正］をクリックする

➜［WB 補正］画面が表示されます。

2 補正位置をクリックする

➜設定内容がカメラに適用されます。

3 ［戻る］をクリックする

➜［撮影系メニュー］に戻ります。

- 補正値を元の値に戻すときは、手順 2 の操作で戻します。

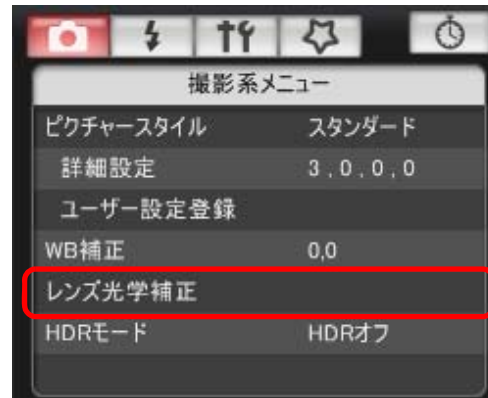
レンズ収差補正／レンズ光学補正／レンズ周辺光量補正データをカメラに登録する

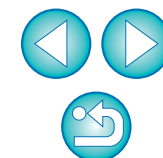
1D X　1D Mk IV　5D Mk III　5D Mk II　7D　60D　50D
Kiss X6i　Kiss X5　Kiss X4　Kiss X3　Kiss X50

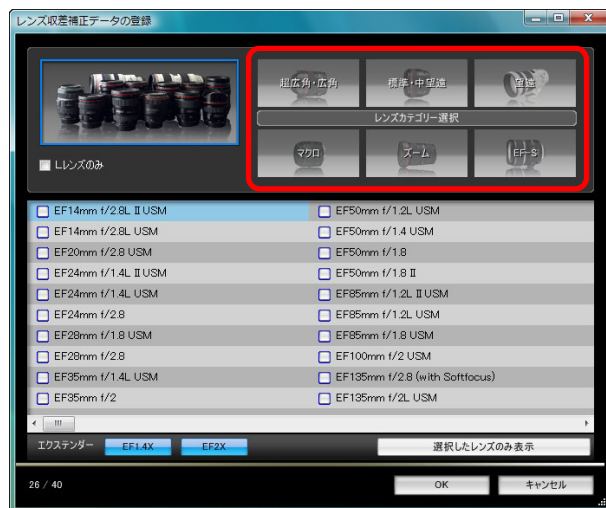
レンズ収差補正／レンズ光学補正／レンズ周辺光量補正データをカメラに登録したり、カメラから削除することができます。

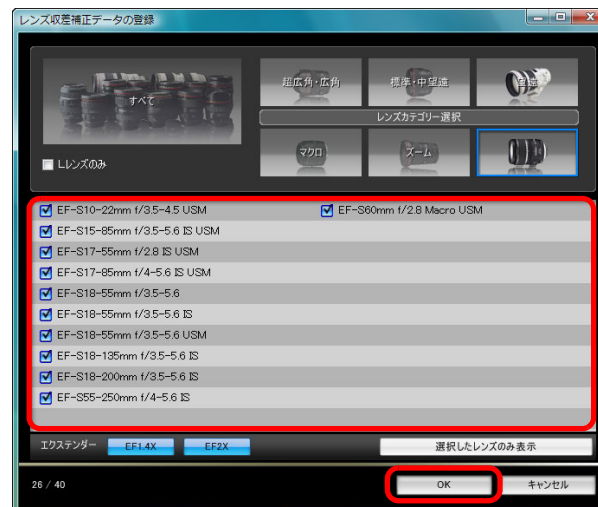
［撮影系メニュー］に**［レンズ収差補正］**、**［レンズ光学補正］**と表示されたカメラでは、レンズの周辺光量補正、歪曲補正、色収差補正の各データの登録、削除が行われます。（歪曲補正、色収差補正データはカメラ本体で行う RAW 現像時に使用されます）

また、メニューに**［周辺光量補正］**と表示されているカメラでは、レンズの周辺光量補正データのみの登録、削除が行われます。

1 ［レンズ収差補正］、［レンズ光学補正］、または［周辺光量補正］をクリックする

➜**［レンズ収差補正データの登録］**画面、**［レンズ光学補正データの登録］**画面、または**［周辺光量補正データの登録］**画面が表示され、カメラに補正データが登録されているレンズにチェックが入ります。

- カメラにより、表示される画面名称とカメラに登録されるデータの内容は異なりますが、以降の操作手順は同じです。

2 補正データを登録したいレンズのカテゴリーを選ぶ

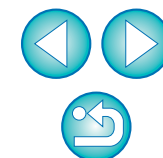
レンズ収差補正データの登録／レンズ光学補正データの登録／周辺光量補正データの登録画面

➜ 選んだカテゴリーのレンズのみ一覧表示されます。

3 補正データを登録したいレンズを選び、［OK］ボタンを押す

➜ 選んだレンズの補正データがカメラに登録されます。

● 登録されたレンズのチェックを外して［OK］ボタンを押すと、補正データをカメラから削除することができます。

● **［レンズ収差補正データの登録］**画面／**［レンズ光学補正データの登録］**画面／**［周辺光量補正データの登録］**画面の機能一覧は、p.90 を参照してください。

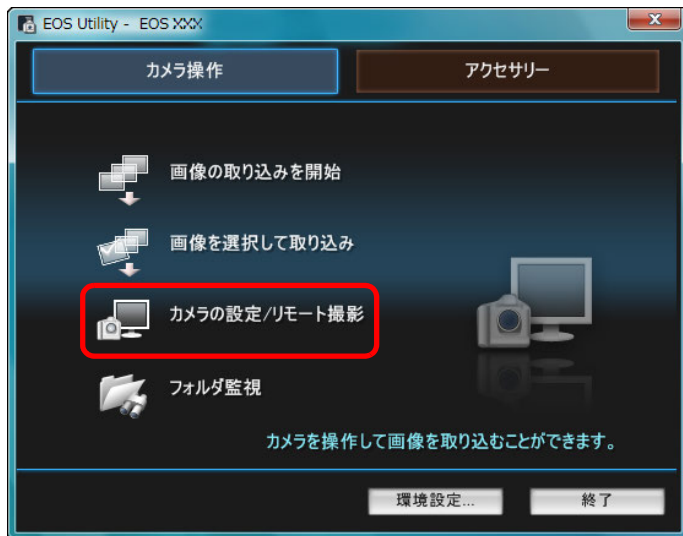
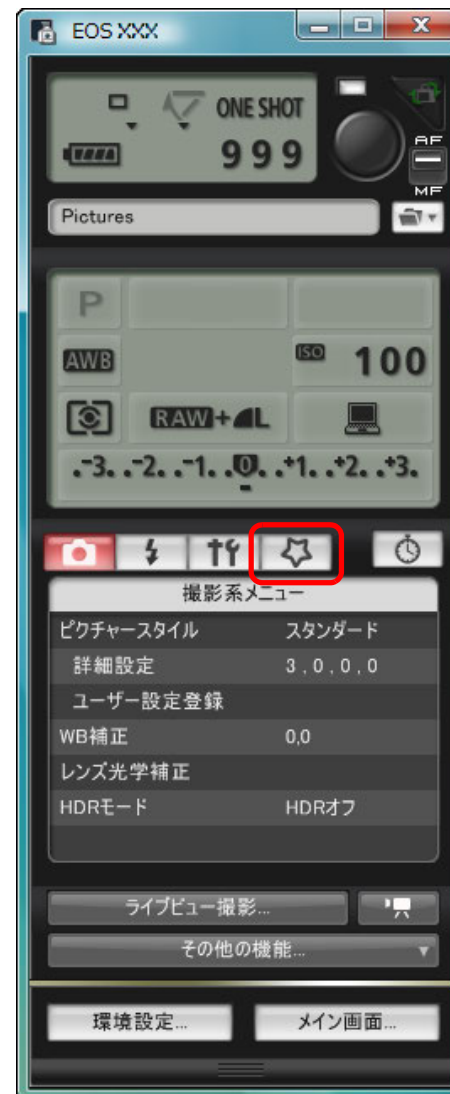
● **［レンズ収差補正データの登録］**画面／**［レンズ光学補正データの登録］**画面／**［周辺光量補正データの登録］**画面に表示されるレンズ名は、レンズの種類によってはレンズ名の一部が省略されて表示されることがあります。

● EF 15mm F2.8 Fisheye、EF 8-15mm F4L USM Fisheye は、**［レンズ収差補正データの登録］**／**［レンズ光学補正データの登録］**／**［周辺光量補正データの登録］**の対象外です。

マイメニューを設定してカメラに登録する

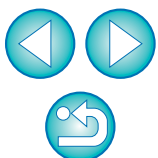
カメラでの操作と同じように、よく使うメニュー項目を、6 項目までマイメニューとしてカメラに登録することができます。

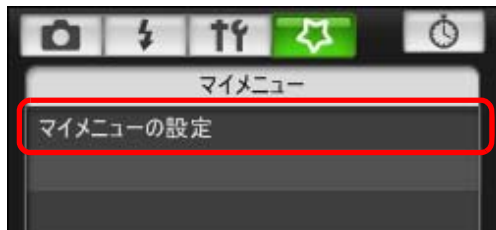
なお、登録できる項目は、各タブの第一階層の項目とカスタム機能の全項目です。

1 カメラとパソコンを接続して、EU を立ち上げる (p.5)

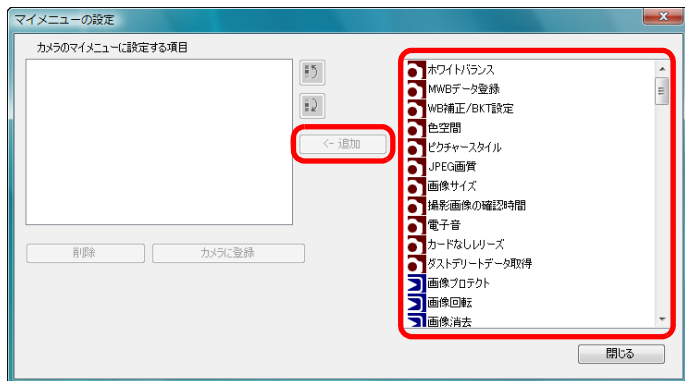
2 [カメラの設定／リモート撮影] をクリックする

→ キャプチャー画面が表示されます。

3 [ ] ボタンを押す

→ [マイメニュー] が表示されます。

はじめに
やりたいこと目次
画像取り込み
カメラ設定
リモート撮影
環境設定
資料
索引

4 [マイメニューの設定]をクリックする

マイメニュー

→[マイメニューの設定]画面が表示されます。

5 登録する項目を選び、[追加]ボタンを押す

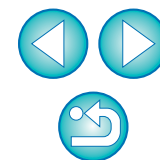
マイメニューの設定画面

→選んだ項目が、画面左側の[カメラのマイメニューに設定する項目]に追加されます。

- 上記の操作で 6 項目まで登録することができます。
- 項目を選んで[ ]ボタンまたは[ ]ボタンを押すと、選んだ項目が移動して並び順が変わります。

6 [カメラに登録]ボタンを押す

→設定内容がカメラに適用されます。

[マイメニューの設定]画面の機能一覧は、p.91 を参照してください。

はじめに
やりたいこと目次
画像取り込み
カメラ設定
リモート撮影
環境設定
資　料
索　引

3 パソコンからカメラを制御するリモート撮影

EU からカメラをリモートコントロールして、EU の画面上で被写体を見ながらカメラを設定し、撮影することができます。また、リモート撮影状態でのカメラ操作による撮影や、設定した時間でカメラが自動撮影するタイマー撮影を行うこともできます。

リモートライブビュー撮影

EU からカメラをリモートコントロールして、パソコンの画面上で撮影することができます。

また、撮影した画像はそのままパソコンに保存され、連携する Digital Photo Professional（以降 DPP）で、再度確認することもできます。

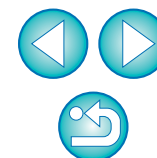
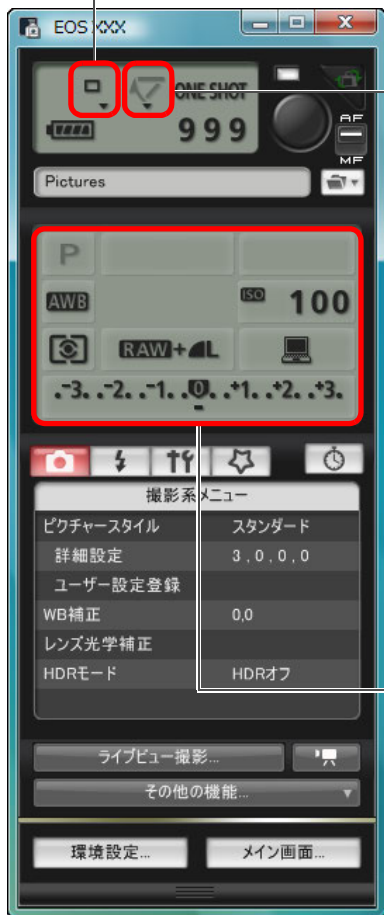
一定の構図で大量の撮影を行う、スタジオ撮影などに有効な機能です。

1 カメラとパソコンを接続して、カメラの電源スイッチを〈ON〉にする

➜ EU が立ち上がります。

● Kiss X3 では、カメラのモードダイヤルが〈🎥〉になっていると、EU と接続できません。モードダイヤルは〈🎥〉以外にセットしてください。

2 ［カメラの設定／リモート撮影］をクリックする

➜ キャプチャー画面が表示されます。

3 カメラを設定する

ドライブモードの設定変更
設定項目下の▼を右クリックして表示されるメニュー *1 から、設定内容を選ぶ

()

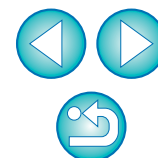
ミラーアップ撮影の表示、および設定変更
設定項目下の▼を右クリックして表示されるメニュー *1 から、設定内容を選ぶ

()

設定項目をダブルクリック、または右クリックして設定内容を選ぶ *1*2

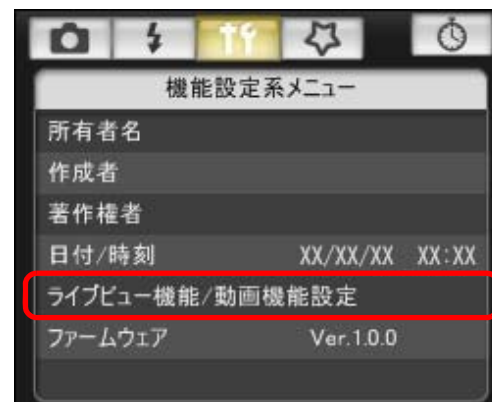
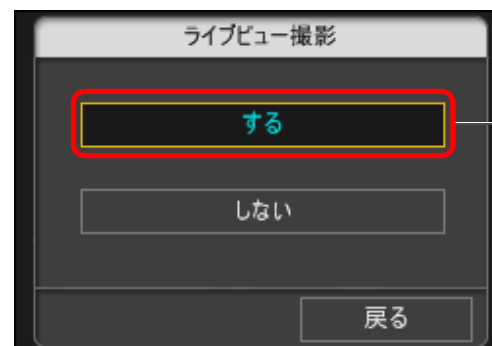
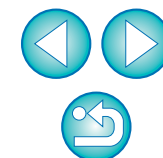
*1 各設定項目の画面や表示されるメニューでは、マウスのホイールを使って設定内容を選ぶこともできます。ただし、ミラーアップのメニューでは、ホイール操作はできません。

*2 1D X 1D Mk IV 5D Mk III 5D Mk II 7D 60D 50D Kiss X6i Kiss X5 Kiss X4 Kiss X3 Kiss X50 では、露出レベル／AEB レベル項目を右クリックで選び、〈Shift〉キー＋マウスのホイール操作で、AEB 設定を行うこともできます。

- **[撮影系メニュー]** (p.15) の機能も併用することができます。
- キャプチャー画面で設定できない機能は、カメラを操作して設定してください。
- 1D X 5D Mk III Kiss X6i では、セルフタイマー撮影のカウントダウン中に警告ランプが点滅し、撮影可能枚数エリアにカウントダウン時間が表示されます。
- ミラーアップ撮影の設定変更は、カメラのモードが P、Tv、Av、M、A-DEP、B に設定されているときに、有効になります。
- ミラーアップ撮影中は、アイコンが点滅します。
- 1D X 5D Mk III Kiss X6i で AE 撮影する場合、露出アンダーや露出オーバーのときは、シャッター速度表示、または絞り表示が点滅します。
- 1D X 5D Mk III Kiss X6i でマニュアル露出撮影するときは、露出レベル表示エリアに、測光値がリアルタイムで表示されます。

4 [ ] ボタンを押す

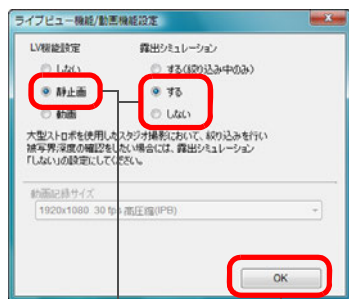
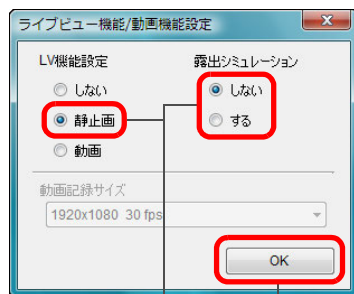
→［機能設定系メニュー］が表示されます。

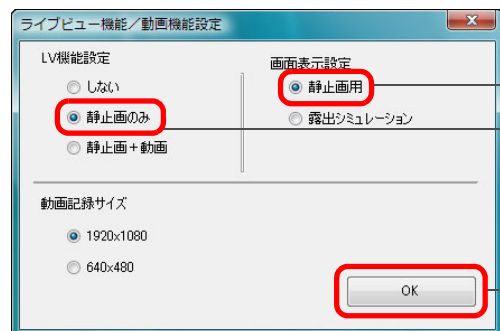
5 ライブビュー機能を設定する

●［ライブビュー機能／動画機能設定］をクリックし、表示される［ライブビュー撮影］画面で、［する］をクリックします。

ライブビュー撮影画面

● 1Ds Mk III 1D Mk III 50D 40D Kiss X2 Kiss F 以外のカメラでは、［ライブビュー機能／動画機能設定］画面が表示されます。設定方法については、次ページを参照してください。

ライブビュー機能／動画機能設定画面

1D X　1D Mk IV

[LV 機能設定] の **[静止画]** と、**[露出シミュレーション]** 項目の設定を選んで、**[OK]** ボタンを押します。

1D X

1D Mk IV

5D Mk II

[静止画のみ] と **[静止画用]** を選んで、**[OK]** ボタンを押します。

露出シミュレーションについて

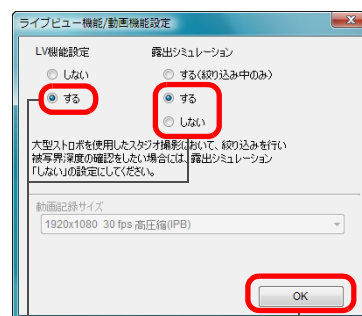
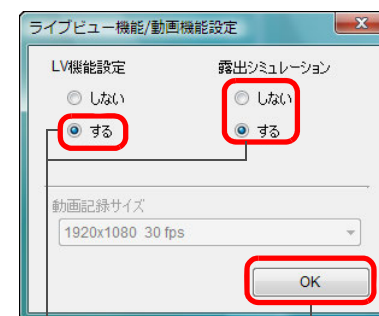
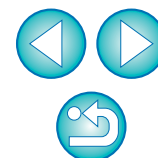
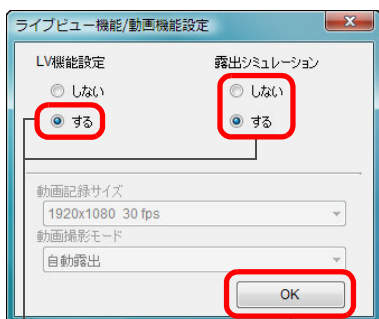
露出シミュレーションは、実際の撮影結果（露出）に近い明るさをシミュレートして映像を表示する機能です。

- する
  実際の撮影結果（露出）に近い明るさで表示されます。露出補正を行うと、補正量に応じて映像の明るさが変わります。
- しない
  ライブビュー映像が見やすいように、標準的な明るさで表示されます。露出補正を行っても、標準的な明るさで表示されます。
- する（絞り込み中）
  通常は、ライブビュー映像が見やすいように、標準的な明るさで表示されます。絞り込みボタンを押している間だけ、実際の撮影結果（露出）に近い明るさで表示されます。

5D Mk III　7D　60D

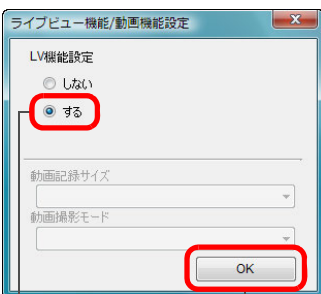
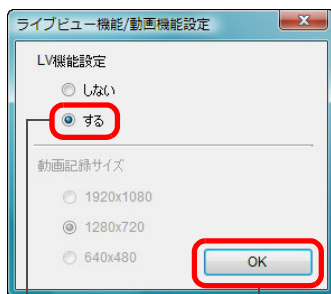
[LV 機能設定] の **[する]** と、**[露出シミュレーション]** 項目の設定を選んで、**[OK]** ボタンを押します。

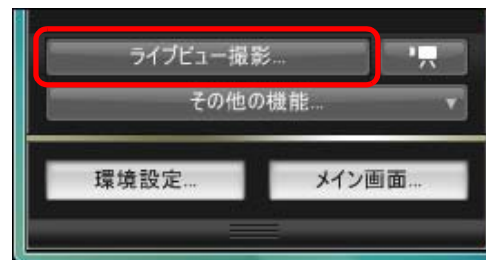
5D Mk III

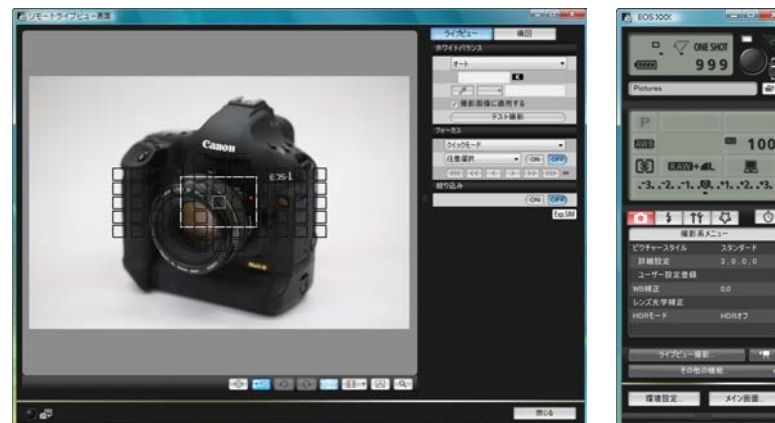
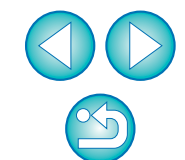
7D

はじめに
やりたいこと目次
画像取り込み
カメラ設定
リモート撮影
環境設定
資料
索引

60D

選ぶ　押す

Kiss X6i　Kiss X5　Kiss X4　Kiss X3　Kiss X50

［する］を選んで、［OK］ボタンを押します。

Kiss X6i　Kiss X5　Kiss X4　Kiss X50　　Kiss X3

選ぶ　押す

選ぶ　押す

6 ［ライブビュー撮影］ボタンを押す

➜［リモートライブビュー画面］が表示されます。

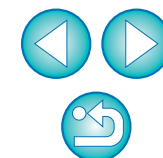
リモートライブビュー画面

7 ［●］ボタンを押して撮影する

➜ 撮影した画像がパソコンに転送されて、［クイックプレビュー］画面に表示され、そのあと DPP が自動的に立ち上がります。

- DPP が立ち上がる前に表示される［クイックプレビュー］画面では、撮影した画像を素早く確認することができます。なお、［クイックプレビュー］画面の表示サイズは変更することができます。
- キャプチャー画面の［その他の機能］ボタンを押して、表示されるメニューから［クイックプレビュー］を選ぶと、［クイックプレビュー］画面を表示／非表示にすることができます。

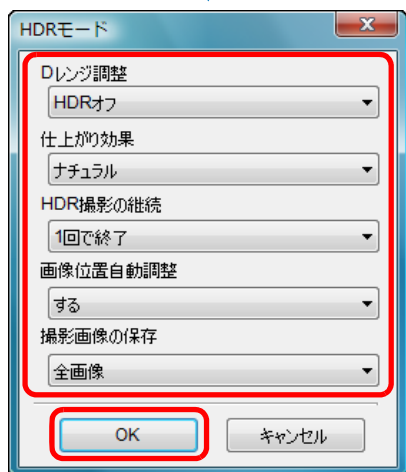
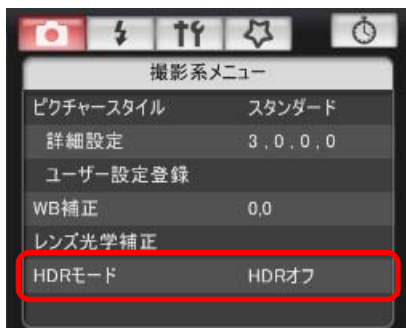
- RAW 現像を行うことはできません。カメラで RAW 現像中にカメラをパソコンに接続したときは、RAW 現像を終了して接続が行われます。
- 60D、Kiss X50 の［クリエイティブ全自動］の設定、また、Kiss X6i Kiss X5 の［クリエイティブオート］の設定を行うことはできません。

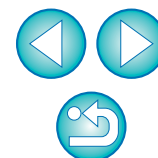
キーボードの〈スペース〉キーを押しても、撮影することができます。

- ［リモートライブビュー画面］が表示されているときは、カメラ側の操作はできません。ライブビュー撮影ボタン（1D Mk IV 1Ds Mk III 1D Mk III 40D Kiss X2 Kiss F ではカメラの〈SET〉ボタン）を押すことで、カメラの液晶モニターにもライブビュー画像が表示され、カメラの操作をすることができるようになります。
- ［リモートライブビュー画面］を表示させなくても、キャプチャー画面を操作することで撮影できます。
- ［リモートライブビュー画面］で露出シミュレーション （p.41）を行うときや、ヒストグラムの表示（p.96）を有効にするときは、カメラのカスタム機能の［ライブビュー露出シミュレーション］を［する］に設定してください。また、1D X 1D Mk IV 5D Mk III 5D Mk II 7D 60D 50D では、メニューの［露出 Simulation］を［する］に設定してください。
- 1D X 1D Mk IV 5D Mk III 5D Mk II 7D 60D 50D Kiss X6i Kiss X5 Kiss X4 では、リモート撮影でもミラーアップ撮影を行うことができます（ミラーアップ撮影に設定してテスト撮影を行うことはできません）。
- 1D X 5D Mk III Kiss X6i では、セルフタイマー撮影を行うことができます。
- 1Ds Mk III 1D Mk III では、リモート撮影で、ミラーアップ撮影、サイレント 1 枚撮影を行うことはできません。
- ［テスト撮影］ボタンを押すと、［テスト撮影］画面が表示されます。ストロボ撮影を行うときに、本撮影と同じ条件でテスト撮影を行い、撮影したテスト画像をもとにホワイトバランスを調整することができます。（p.42）
- 環境設定（［リモート撮影］タブ画面）の［カメラ内のメモリーカードにも保存する］をチェックすると、パソコンとメモリーカードの両方に撮影画像を保存することができます。（p.77）
- リモート撮影した画像がパソコンに転送されると自動的に立ち上がるソフトウェアを、環境設定（［連携ソフト］タブ画面）で、DPP から ImageBrowser EX や別のソフトウェアに変更することができます。（p.78）
- ［リモートライブビュー画面］の機能一覧は、p.96 を参照してください。
- ［拡大表示］画面の機能一覧は、p.98 を参照してください。

HDR（ハイダイナミックレンジ）撮影

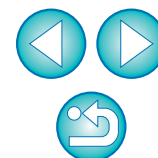
白とびや黒つぶれを緩和したダイナミックレンジが広い写真や、絵画のような写真を撮影することができます。風景などの静物撮影に適しています。HDR 撮影では、1 回の撮影で露出の異なる 3 枚の画像（標準露出／露出アンダー／露出オーバー）を撮影して、自動的に画像合成を行います。撮影した HDR 画像は、JPEG 画質で記録されます。
※HDR は、High Dynamic Range（ハイダイナミックレンジ）の略です。

1 HDR を設定する

- **［撮影系］**メニューの **[HDR モード]** を選び、表示される画面で各項目を設定したあと、**［OK］**ボタンを押します。

- **［D レンジ調整］**：ダイナミックレンジの調整幅を設定します。**［HDR オフ］**、**［自動］**、**［± 1］**、**［± 2］**、**［± 3］**から選択します。**［自動］**を選ぶと、撮影画面全体の明暗差に応じて調整幅が自動設定されます。また、数値が大きいほどダイナミックレンジが広い写真を撮影することができます。
- **［仕上がり効果］**：仕上がり効果を選びます。具体的な仕上がり効果は、カメラ本体使用説明書の「HDR（ハイダイナミックレンジ）撮影」に該当するページをご確認ください。
- **［HDR 撮影の継続］**：**［1 回で終了］**を選んだときは撮影が終了すると、HDR 撮影が自動的に解除されます。**［繰り返し］**を選んだときは、**［D レンジ撮影］**の**［HDR オフ］**を選ぶまで繰り返し HDR 撮影が行われます。
- **［撮影画像の保存］**：撮影した 3 枚の画像と、合成した HDR 画像を保存するときは、**［全画像］**を選びます。完成した HDR 画像のみを保存するときは**［HDR 画像のみ］**を選びます。

はじめに
やりたいこと目次
1 画像取り込み
2 カメラ設定
3 リモート撮影
4 環境設定
資　料
索　引

- AEB、WB ブラケティング、多重露出が設定されているときや、ストロボ撮影、バルブ撮影、動画撮影時は、HDR モードの設定はできません。
- 動いている被写体を撮影すると、被写体の移動が残像のように写るため、おすすめできません。静物撮影をおすすめします。
- HDR 撮影はシャッター速度を自動的に変えて 3 枚の画像を撮影します。そのため、Tv、M モードでも設定したシャッター速度を基準に、速度が変化します。
- 手ブレを抑えるため、通常よりも ISO 感度が高く設定されることがあります。
- 格子模様、ストライプ模様のような繰り返しパターンや、画面全体が平坦で単調なときは、自動位置合わせが正常に行われないことがあります。
- 空や白壁のようなシーンのグラデーションが滑らかに再現されなかったり、ムラやノイズが発生することがあります。
- HDR 撮影は撮影後に画像を合成するため、通常の撮影よりも、画像が記録されるまでの時間が長くなります。画像処理中はカメラ本体の表示パネルに「BUSY」が表示され、処理が終わるまで次の撮影はできません。

- 三脚の使用をおすすめします。また、手持ち撮影をするときは、高速シャッターで撮影することをおすすめします。
- **［画像位置自動調整］**を**［する］**に設定して手持ち撮影を行うと、画像の周辺部分がわずかにトリミングされ、解像感が若干低下します。また、手ブレなどにより画像のズレ量が大きいと、自動位置合わせが行われないことがあります。なお、極端に明るい / 暗い露出設定で撮影すると、自動位置合わせが適切に行われないことがあります。
- **［画像位置自動調整］**を**［しない］**に設定して手持ち撮影を行うと、3 枚の画像がズレて、HDR の効果が十分に得られないことがあります。
- 蛍光灯や LED 電球などの光源下で HDR 撮影を行うと、照明されている部分が適切な色で再現されないことがあります。
- HDR モードを設定したときは、メニュー画面にグレーで表示されている項目は設定できません。なお、HDR モード設定時は、オートライティングオプティマイザが自動的に**［しない］**になります。HDR モードを解除すると、元の設定に戻ります。

- RAW 画質で HDR 撮影を行ったときは、HDR 画像は［◢L］の画質で記録されます。
- RAW+JPEG 画質で HDR 撮影を行ったときは、HDR 画像は設定した JPEG 画質で記録されます。

リモートライブビュー画面の機能

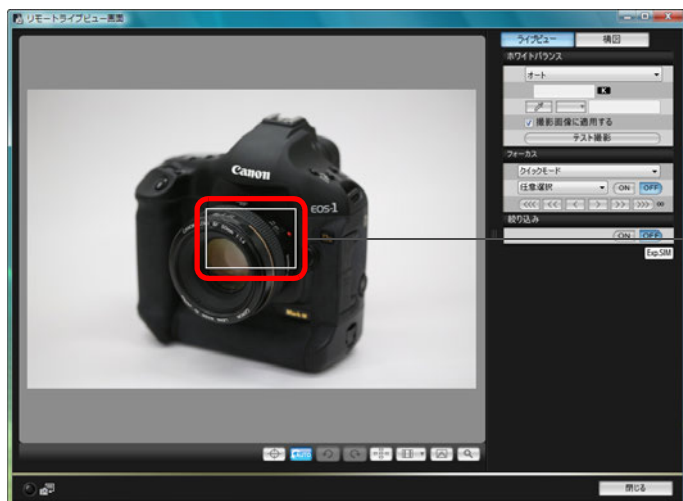
パソコンの画面上で被写体を見ながらピントを合わせたり、カメラの設定内容確認など、**［リモートライブビュー画面］**の各種機能について説明します。

巻末のリモートライブビュー画面の機能一覧（p.96、p.97）もあわせてご確認ください。

手動ピント合わせ

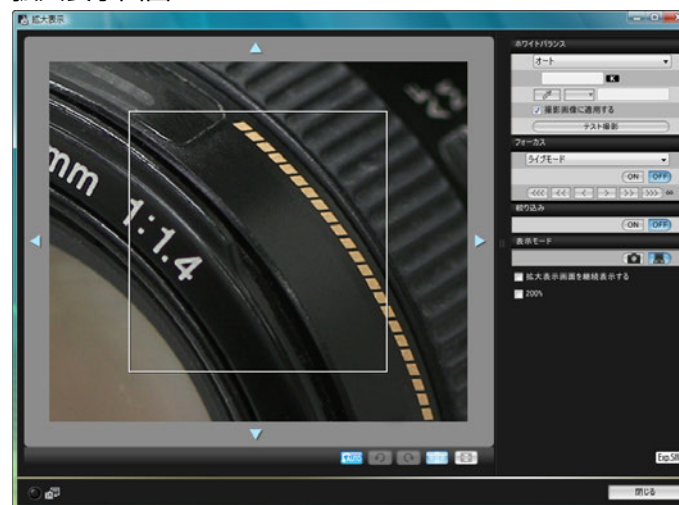
［リモートライブビュー画面］で拡大した画像を見ながら、手動でピント合わせを行うことができます。

1 **レンズのフォーカスモードスイッチを〈AF〉にする**

2 **拡大したい箇所に［□］をドラッグする**

ドラッグ

3 **［🔍］ボタンを押す**

➜ 手順 1 で選んだ箇所が、**［拡大表示］**画面に 100%（ピクセル等倍）で拡大表示されます。

拡大表示画面

- **［拡大表示］**画面で表示位置を移動するときは、［◀］、［▲］、［▼］、［▶］のいずれかを押します。また、画面をドラッグしても、表示位置を移動させることができます。
- **［拡大表示画面を継続表示する］**をチェックすると、**［拡大表示］**画面を継続して表示させることができます。
- 手順 1 で拡大したい箇所をダブルクリックして、**［拡大表示］**画面に 100%（ピクセル等倍）で拡大表示させることもできます。
- **［拡大表示］**画面で画像をダブルクリックすると、**［リモートライブビュー画面］**に戻ります。
- **［200%］**をチェックすると、200%で拡大表示させることができます。

はじめに

やりたいこと目次

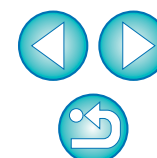
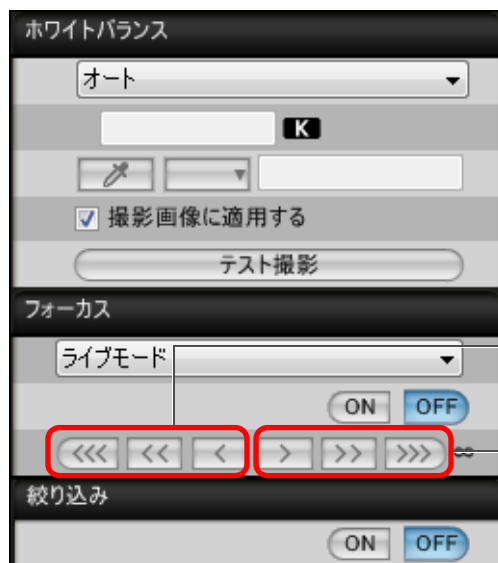
1 画像取り込み

2 カメラ設定

3 リモート撮影

4 環境設定

資　料

索　引

4 ピントを合わせる

- [«‹]、[›»]：調整量　大
- [‹‹]、[››]：調整量　中
- [‹]、[›]：調整量　小

→ 調整したピント位置に応じて、**［リモートライブビュー画面］**もリアルタイムで変わります。

キーボードのキー操作でピントを合わせることもできます。

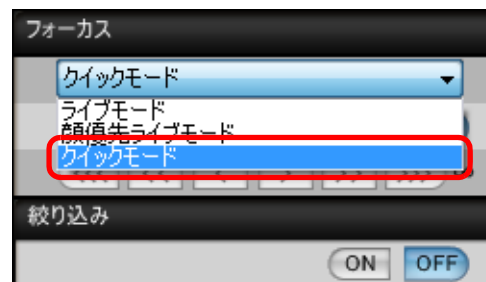
調整量	近くに	遠くに
大	〈I〉	〈O〉
中	〈K〉	〈L〉
小	〈<〉	〈>〉

AF によるピント合わせ

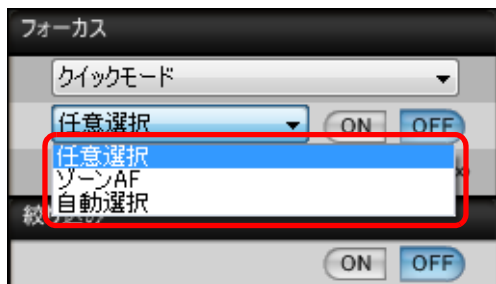
カメラでの操作と同じように、クイックモード、ライブモード、顔優先ライブモードなどの各 AF モードで、自動的にピント合わせを行うことができます。

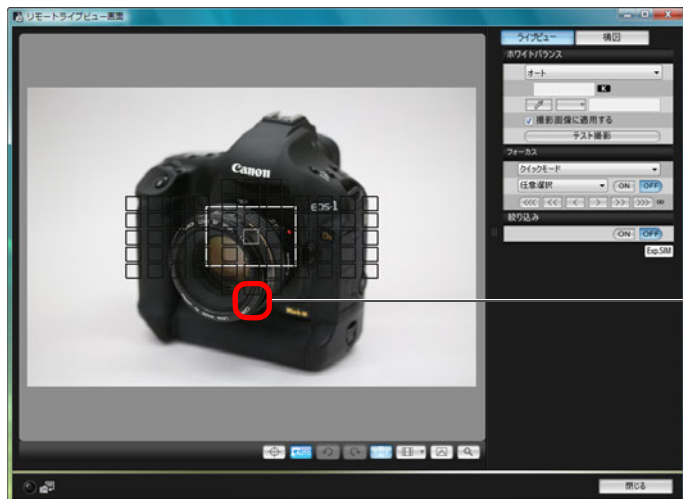
クイックモードによるピント合わせ

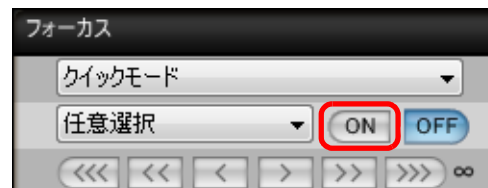
1D X　1D Mk IV　5D Mk III　5D Mk II　7D　60D　50D
Kiss X6i　Kiss X5　Kiss X4　Kiss X3　Kiss X50

1 リストボックスから［クイックモード］または、［クイック AF］を選ぶ

→ AF フレームが表示されます。

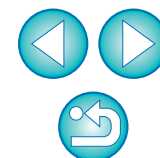
- [　] ボタンを押すと、AF フレームの表示／非表示を切り換えることができます。

2 リストボックスから、AF フレームの選択方法を選ぶ

● カメラの設定により、選べる内容は異なります。

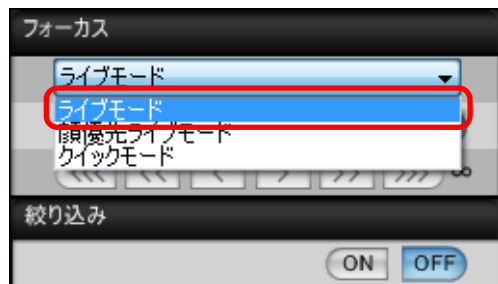
3 ピントを合わせたい位置にある AF フレームをクリックする

● 手順 2 で［自動選択］を選んでいるときは、すべての AF フレームが自動的に選ばれた状態になります。
● 手順 2 で［任意選択］を選んでいるときは、選べる AF フレームのみが表示されます。

4［ON］ボタンを押す

→ AF が行われます。
→ ピントが合うとカメラの電子音が「ピピッ」と鳴り、AF フレームの色が変わります。

1D X 5D Mk III 7D で AF フレームの登録を行っているときは、カメラの「登録 AF フレーム」機能を解除してください。カメラの AF フレームが登録された状態では、［リモートライブビュー画面］上で、AF によるピント合わせが正しく行われないことがあります。

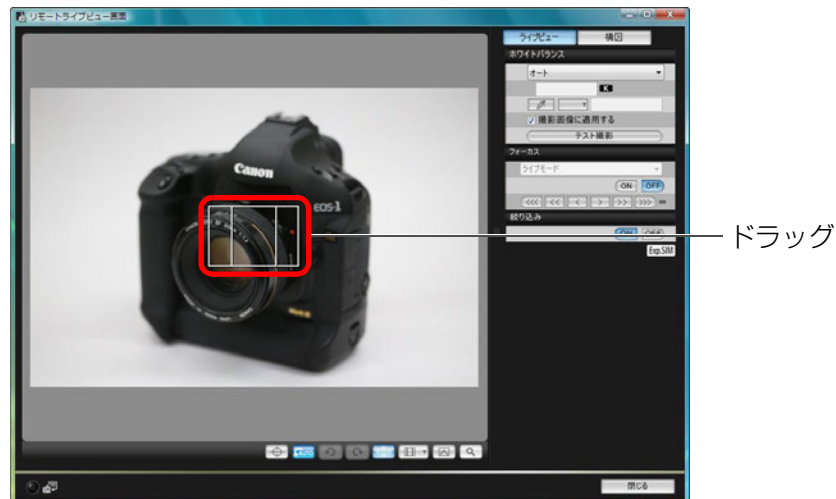
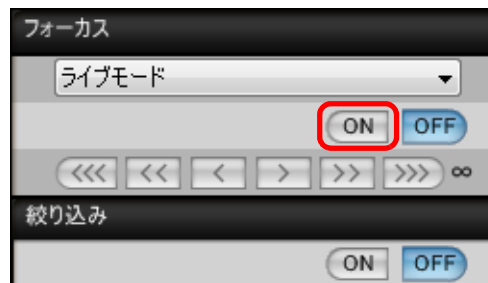
● AF フレームをダブルクリックしても、AF が行われます。
● AF 動作を中止するときは、［OFF］ボタンを押します。

ライブモードによるピント合わせ

1D X　1D Mk IV　5D Mk III　5D Mk II　7D　60D　50D
Kiss X6i　Kiss X5　Kiss X4　Kiss X3　Kiss X50

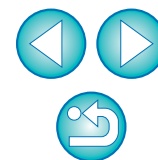
1 リストボックスから［ライブモード］または、［ライブ 1 点 AF］を選ぶ

→ AF フレームが表示されます。

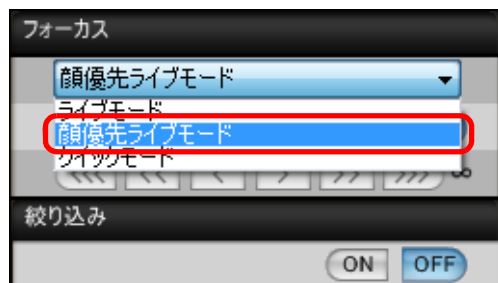
● Kiss X6i は［コンティニュアス AF］のチェックボックスで、コンティニュアス AF の ON/OFF を選択することができます。なお、［コンティニュアス AF］のチェックボックスは、動画撮影時は、［動画サーボ AF］の ON/OFF チェックボックスに切り替わります。

●［ ］ボタンを押すと、AF フレームの表示／非表示を切り換えることができます。

2 拡大表示枠をドラッグして、ピントを合わせたい位置に動かす

3 ［ON］ボタンを押す

→ AF が行われます。

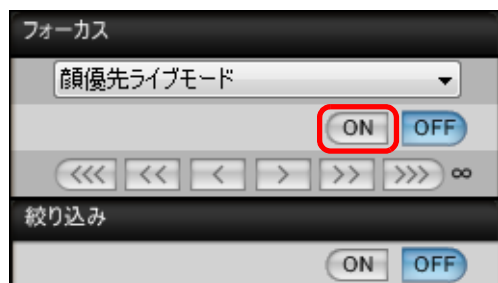
→ ピントが合うとカメラの電子音が「ピピッ」と鳴り、AF フレームが緑色に変わります。

● ピントが合わないときは、AF フレームが赤色に変わります。

顔優先ライブモードによるピント合わせ

1 リストボックスから［顔優先ライブモード］を選ぶ

➜顔を検知すると、AF フレームが表示されます。

●カメラが検知している顔が他にもあるときは、その顔の位置にカーソルを重ねると、新しい AF フレームが表示されます。その位置でクリックすると、その AF フレームが選ばれます。

●［ ］ボタンを押すと、AF フレームの表示／非表示を切り換えることができます。

2 ［ON］ボタンを押す

➜AF が行われます。

➜ピントが合うとカメラの電子音が「ピピッ」と鳴り、AF フレームが緑色に変わります。

●ピントが合わないときは、AF フレームが赤色に変わります。

●顔を検知できないときは、AF フレームを中央に固定してピント合わせが行われます。

顔＋追尾優先 AF によるピント合わせ

Kiss X6i

1 ［フォーカス］のリストボックスから［顔＋追尾優先 AF］を選ぶ

➜顔を検知すると AF フレームが表示されます。

●顔が動くと AF フレームも動いて顔を追尾します。

●カメラが検知している顔が他にもあるときは、その顔の位置にカーソルを重ねると、新しい AF フレームが表示されます。その位置でクリックすると、その AF フレームが選ばれます。

●［コンティニュアス AF］のチェックボックスで、コンティニュアス AF の ON/OFF を選択することができます。なお、［コンティニュアス AF］のチェックボックスは、動画撮影時は、［動画サーボ AF］の ON/OFF チェックボックスに切り替わります。

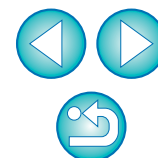
●［ ］ボタンを押すと、AF フレームの表示／非表示を切り換えることができます。

2 ［フォーカス］の［ON］ボタンを押す

➜AF が行われます。

➜ピントが合うとカメラの電子音が「ピピッ」と鳴り、AF フレームが緑色に変わります。

●ピントが合わないときは、AF フレームが赤色に変わります。

●顔が検知されないときは、［ライブ多点 AF］（p.41）に切り換わります。

ライブ多点 AF によるピント合わせ

Kiss X6i

動いている被写体にピントを合わせやすい AF 方式です。広いエリアでのピント合わせができます。また、そのエリアをゾーンに分けてピント合わせすることもできます。

1 [フォーカス] のリストボックスから [ライブ多点 AF] を選ぶ

→ AF フレームが表示されます。

- 画面をクリックすると AF フレームのゾーンの選択ができます。選択したゾーンを解除するには、**[フォーカス]** のリストボックスから、再度 **[ライブ多点 AF]** を選択しなおします。
- **[コンティニュアス AF]** のチェックボックスで、コンティニュアス AF の ON/OFF を選択することができます。なお、**[コンティニュアス AF]** のチェックボックスは、動画撮影時は、**[動画サーボ AF]** の ON/OFF チェックボックスに切り替わります。
- [ ] ボタンを押すと、AF フレームの表示／非表示を切り換えることができます。

2 [フォーカス] の [ON] ボタンを押す

→ AF が行われます。

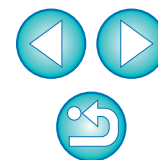
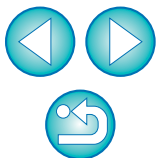
→ ピントが合うとカメラの電子音が「ピピッ」と鳴り、AF フレームが緑色に変わります。

- ピントが合わないときは、AF フレームが赤色に変わります。
- アスペクト比の設定や、撮影画像（静止画 / 動画）によって、AF フレームやゾーンの数が異なります。

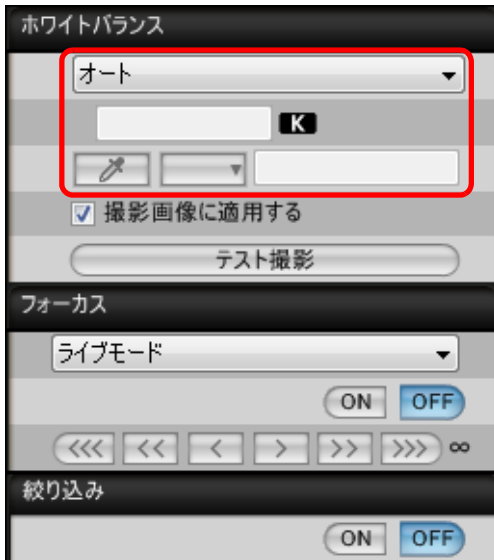
被写界深度と露出の確認

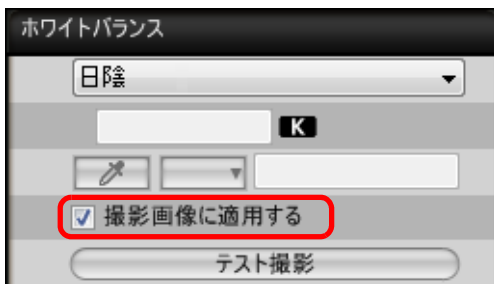
[リモートライブビュー画面] 上で、被写界深度と露出を確認することができます。

[ON] ボタンを押す

→ キャプチャー画面 (p.92) の設定値で絞り込み（露出シミュレーション）が行われます。

リモートライブビュー画面のホワイトバランス

［リモートライブビュー画面］に表示された画像のホワイトバランスを変更し、カメラに登録することができます。

1 画像に適用するホワイトバランスを選ぶ

➜ 選んだホワイトバランスがリアルタイムで表示される画像に適用され、［リモートライブビュー画面］で確認することができます。

2 ［撮影画像に適用する］をチェックする

➜ 選んだホワイトバランスがカスタムホワイトバランスとしてカメラに登録され、撮影する画像に適用されます。

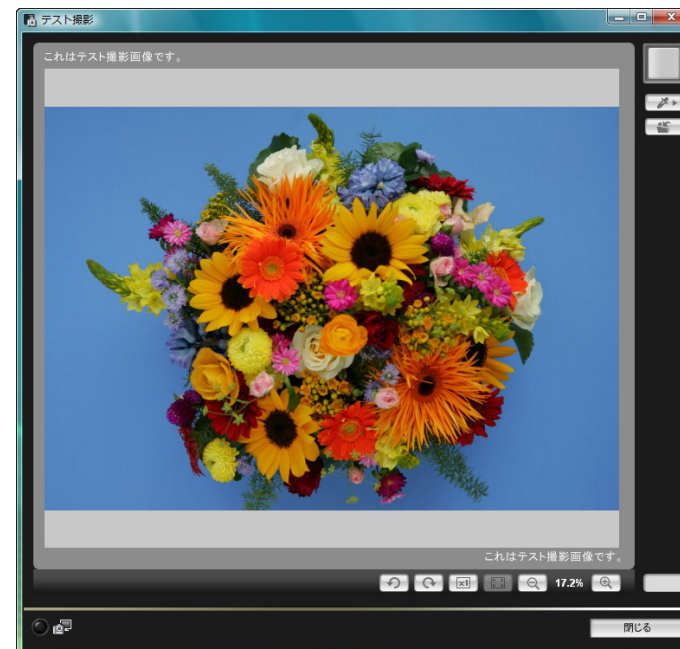
ストロボ撮影時のホワイトバランス

ストロボ撮影など、瞬間的に光をあてる撮影を行うときは、本撮影と同じ条件でテスト撮影を行い、撮影したテスト画像をもとに、［テスト撮影］画面でホワイトバランスを調整することができます。なお、ストロボを使わないときにも、テスト撮影を行うことができます。

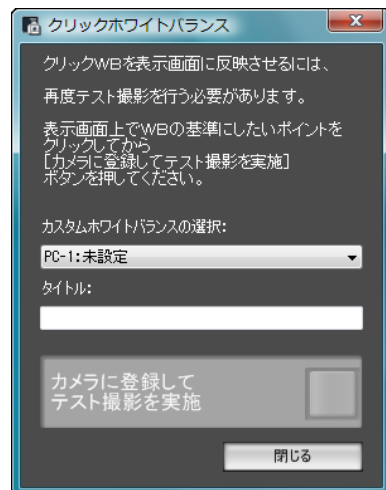
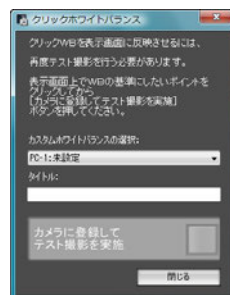
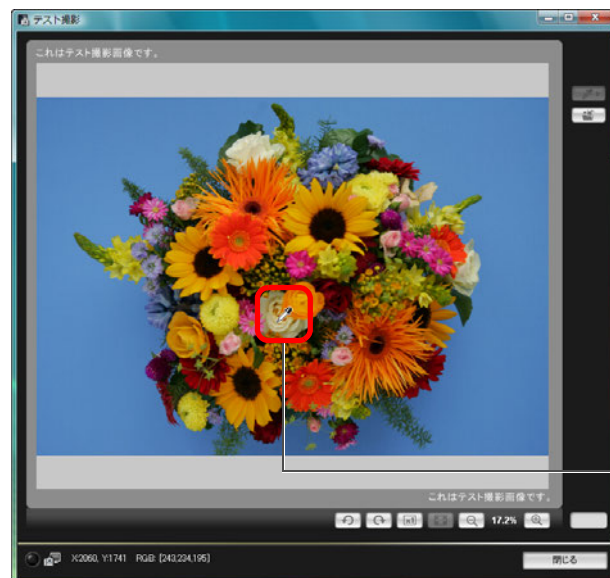
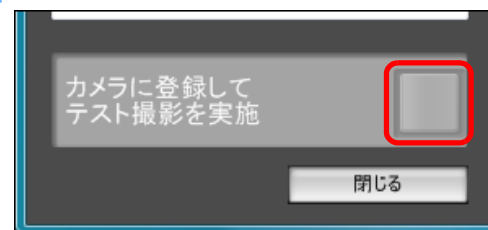
また、［リモートライブビュー画面］で［テスト撮影］ボタンを押すことにより、同様の操作をすることもできます。

1 ［その他の機能］ボタンを押して、表示されるメニューから［テスト撮影］を選ぶ

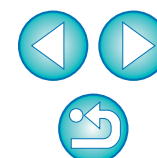
➜ 撮影した画像が［テスト撮影］画面に表示されます。

テスト撮影画面

2 [ ] ボタンを押す

➜ [クリックホワイトバランス] 画面が表示されます。

クリックホワイトバランス画面

3 白の基準とする箇所をクリックする

4 [カメラに登録してテスト撮影を実施] ボタンを押す

➜ 手順 3 でクリックした箇所を白の基準として再度撮影が行われ、撮影した画像が [テスト撮影] 画面に表示されます。

- テスト画像は保存されません。テスト画像を保存したいときは、[ ] ボタンを押します。
- [テスト撮影] 画面を閉じるときは、[閉じる] ボタンを押します。

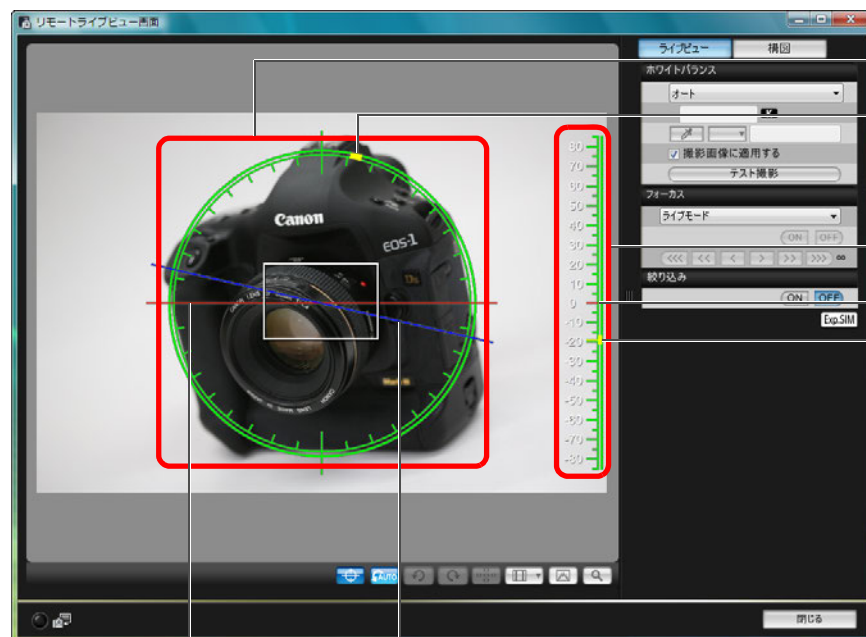
- [テスト撮影] 画面では、以下の操作をキーボードのキー操作で行うことができます。
  - ・テスト撮影：〈Ctrl〉+〈スペース〉
  - ・画像を 50%表示：〈Ctrl〉+〈1〉
  - ・画像を 100%表示：〈Ctrl〉+〈2〉
  - ・画像を 200%表示：〈Ctrl〉+〈3〉
  - ・画像のサイズをウィンドウにあわせる：〈Ctrl〉+〈4〉
- 1D X 1D Mk IV 5D Mk III 5D Mk II 7D 60D Kiss X6i Kiss X5 Kiss X4 Kiss X50 では、[ストロボ機能設定] 画面(p.69)と、[テスト撮影] 画面を同時に表示しておくと、ストロボ設定／テスト撮影／ホワイトバランス調整を、連携して設定することができます。
- [テスト撮影] 画面の機能一覧はp.99を参照してください。

水準器を表示する

1D X　5D Mk III

［リモートライブビュー画面］に水準器を表示して、カメラの傾きを確認することができます。

1 ［リモートライブビュー］画面の［ ］ボタンを押す

→［リモートライブビュー］画面に水準器が表示されます。

2 カメラの傾きを確認する

水平方向水準器
カメラの天頂位置
垂直方向水準器
垂直基準
カメラ垂直位置

※ 水平方向の 1 目盛は 10°、垂直方向の 1 目盛は 5° です。

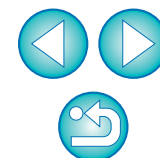
- 水平方向の傾きを補正するときは、カメラの水平位置と水平基準が一致するようにカメラを動かします。
- 垂直方向の傾きを補正するときは、カメラの垂直位置と垂直基準が一致するようにカメラを動かします。
- 水準器を消すときは、［ ］ボタンをもう一度押します。

- 動画撮影中は、水準器の表示はされません。
- 傾きがほぼ補正された状態でも± 1° 程度の誤差が生じることがあります。
- カメラが大きく傾いているときは、水準器の誤差が大きくなります。

はじめに
やりたいこと目次
画像取り込み
カメラ設定

環境設定
資　料
索　引

アスペクト比を変える

1D X 1D Mk IV 5D Mk III 1Ds Mk III 1D Mk III 7D 60D Kiss X6i Kiss X5

カメラのライブビュー機能と同じように、6 × 6cm、6 × 4.5cm、4 × 5inch など、フィルム式の中判／大判カメラと同じような感覚で撮影することができます。接続するカメラによって以下のような違いがあります。

- 60D Kiss X6i Kiss X5
  RAW 画像は、撮影画像にアスペクト比情報が付加されるだけでトリミングされませんが、JPEG 画像はトリミングされます。
- 1D X 1D Mk IV 1Ds Mk III 1D Mk III 7D
  RAW 画像、JPEG 画像共に、撮影画像にアスペクト比情報が付加されるだけでトリミングされません。
- 5D Mk III
  次の 2 モードを選択することができます。
  [アスペクト比情報]： 撮影した JPEG 画像をトリミングするモード
  [トリミング情報の付加]： 撮影した JPEG 画像にアスペクト比情報を付加するだけで、トリミングしないモード
  どちらのモードを選択しても、RAW 画像は、撮影画像にアスペクト比情報が付加されるだけで、トリミングされません。

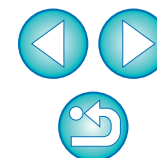
1D X 1D Mk IV 1Ds Mk III 1D Mk III 7D 60D Kiss X6i Kiss X5

1 [ ] ボタンを押して、アスペクト比を選ぶ

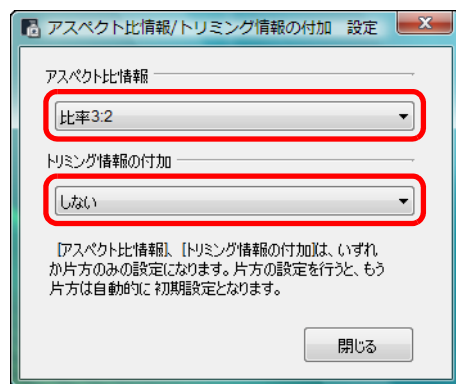
→ **[リモートライブビュー画面]** 上に、選んだアスペクト比の縦線が表示されます。

2 カメラを動かして構図を決める

- アスペクト比を通常状態に戻すときは、[ ] ボタンを押してから、 60D Kiss X6i Kiss X5 では元のアスペクト比を選び、それ以外のカメラでは **[しない]** を選びます。

5D Mk III

1 [ ] ボタンを押す

➜［アスペクト比情報 / トリミング情報の付加設定］画面が表示されます。

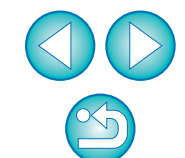
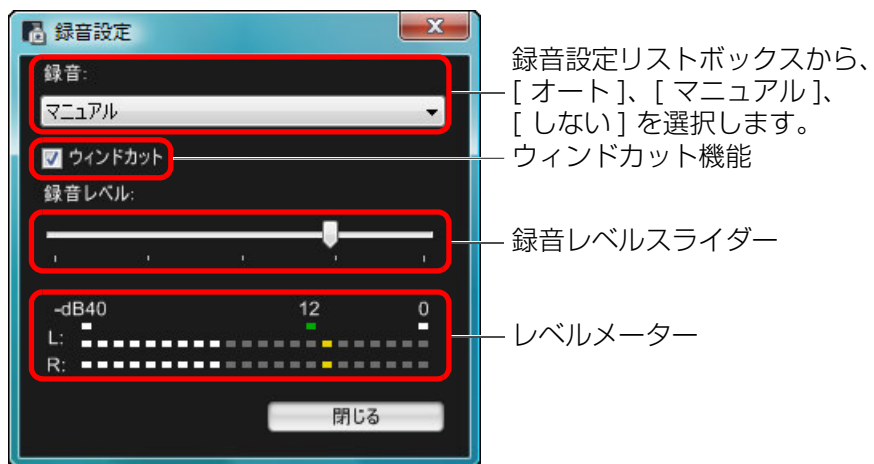
2 ［アスペクト比情報］、または［トリミング情報の付加］を設定する

- ［アスペクト比情報］は撮影した JPEG 画像をトリミングするモードです。
- ［トリミング情報の付加］は撮影した JPEG 画像にアスペクト比情報を付加するだけで、トリミングしないモードです。
- ［アスペクト比情報］、［トリミング情報の付加］のどちらを選んでも、RAW 画像は、撮影画像にアスペクト比情報が付加されるだけで、トリミングされません。
- ［アスペクト比情報］、［トリミング情報の付加］は、いずれか片方のみの設定になります。片方の設定を行うと、もう片方は自動的に初期設定となります。
- ［閉じる］ボタンを押すと、設定が完了します。

3 カメラを動かして構図を決める

録音の設定

リモートライブビュー撮影で動画撮影時の録音レベルの設定を行うことができます。
カメラが P/Tv/Av/M/B の撮影モードの時のみ設定が可能です。カメラ本体使用説明書の「録音の設定」に該当するページもあわせてご確認ください。

1 ［リモートライブビュー］画面の録音エリアの［設定］ボタンを押す

➜［録音設定］画面が表示されます。

2 設定を行う

- リストボックスから、[**オート**]、[**マニュアル**]、[**しない**] を選択します。
- 設定が完了したら、**[閉じる]** ボタンを押して [**録音設定**] 画面を閉じます。
- Kiss X6i 接続時はアッテネータ設定のチェックボックスが表示されます。大音響の環境では **[録音]** を **[オート]** または **[マニュアル]** に設定して撮影しても音割れすることがあります。そのときは、アッテネータ機能のチェックボックスにチェックして、アッテネータ機能を ON にすることをおすすめします。

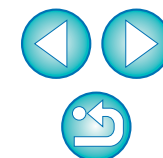
録音 / 録音レベルについて

[オート]：音の大きさに応じて、録音レベルが自動調整されます。**[オート]** 選択時は、ウィンドカット機能のみ設定できます。

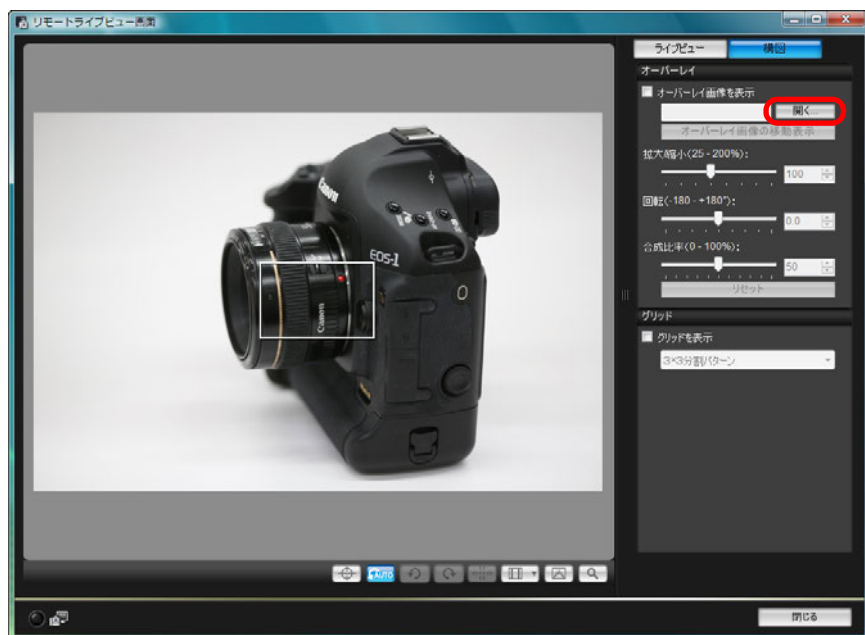
[マニュアル]：上級者向けの機能です。録音レベルを任意に調整することができます。
レベルメーターを見ながら録音レベルスライダーをドラッグすることで、録音レベルを調整することができます。音量が大きいときに、レベルメーターの「12」（－ 12dB）の右側が、時々点灯するように、ピークホールド機能（約 3 秒間）を参考にして調整します。「0」を超えると音が割れます。

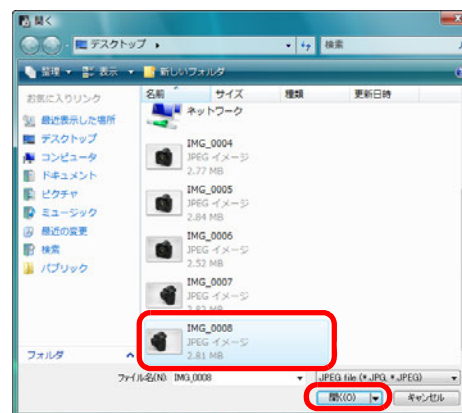
[しない]：録音は行われません。

ウィンドカット機能について

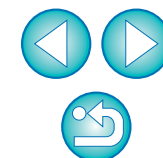
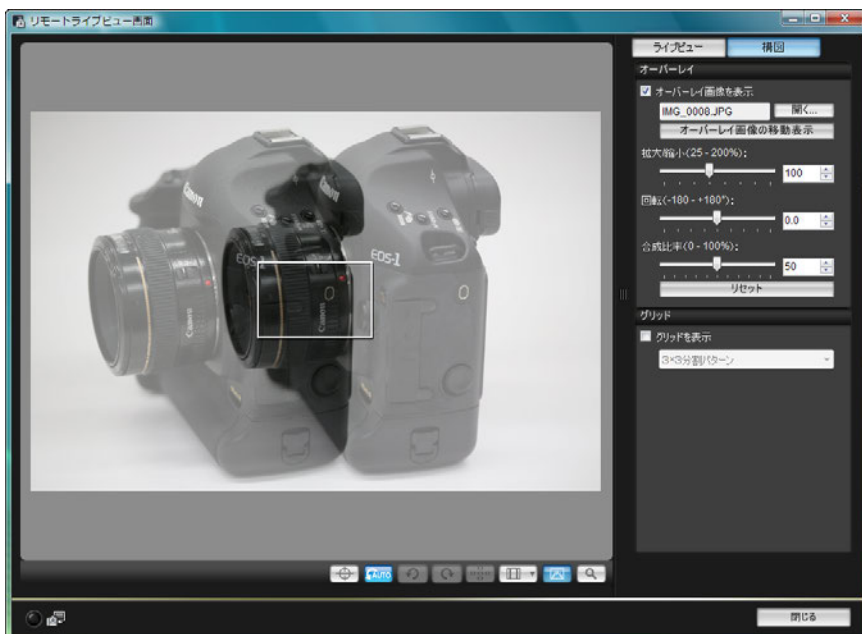
屋外で撮影する際、風の影響により発生する「ボコボコ」という音を低減したい場合は、ウィンドカット機能のチェックボックスにチェックして、ウィンドカット機能を ON にします。内蔵マイク使用時のみ機能します。ただし、ウィンドカット機能が ON になると、低い音の一部も低減されるため、風の影響を受けない場所ではチェックを外して、ウィンドカット機能を OFF にすることをおすすめします。

オーバーレイ表示機能

［リモートライブビュー画面］に表示される撮影画像に、パソコン内に保存されている別の画像を重ねて（オーバーレイ）表示することができます。アングルを正確に揃えることができるので、商品撮影など複数の画像を同一アングルに揃えたいときに便利です。なお、パソコンから読み込んだ画像は、表示されるだけで撮影されません。

1 ［リモートライブビュー画面］の［構図］タブを選び、［オーバーレイ］の［開く］ボタンを押す

➜［開く］画面が表示されます。

2 重ねて表示したい画像を選び、［開く］ボタンを押す

➜［開く］画面が表示されます。

- 重ねて表示できるのは、RAW*、JPEG、TIFF、BMP（ビットマップ）、GIF 画像です。
  - *・重ねて表示できる RAW 画像は、キヤノンのカメラで撮影された「.CR2」の拡張子が付いた画像のみです。
  - ・Digital Photo Professional で、画像調整を行った画像でも、撮影時の状態の画像が表示されます。
- 対応しているファイル形式であっても、重ねて表示できないことがあります。

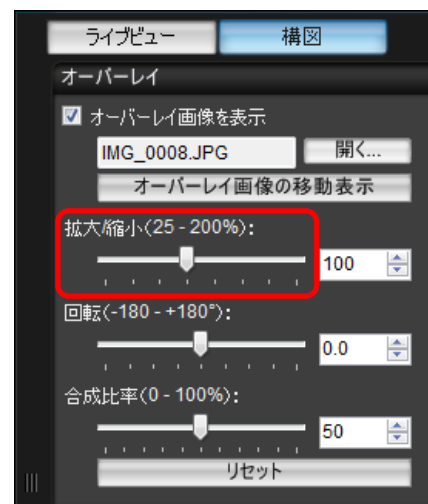
➜［オーバーレイ画像を表示］にチェックが入り、［リモートライブビュー画面］に選んだ画像が重ねて表示されます。

● 重ねて表示した画像（オーバーレイ画像）は、拡大 / 縮小、回転、合成比率の調整を行って表示することができます。（p.50）

3 カメラや被写体を動かして、構図を決める

● ［拡大表示］画面ではオーバーレイ表示機能を使用することはできません。

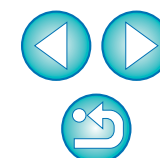
オーバーレイ画像を拡大・縮小表示する

重ねて表示した画像（オーバーレイ画像）は、25 ～ 200%までの範囲で、拡大・縮小表示を行うことができます。拡大・縮小表示の設定には、**［拡大・縮小］**スライダーを使用します。

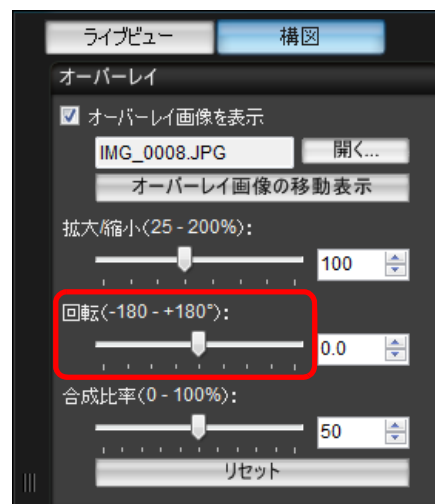
［拡大・縮小］スライダーを左右にドラッグして設定する

→ ［拡大・縮小］スライダーで設定した拡大・縮小率が、オーバーレイ表示に反映されます。

● 直接数値を入力することで、拡大・縮小率の設定をすることもできます。

● カーソルをスライダーに重ねてクリックし、キーボードの〈←〉／〈→〉キーを押すか、マウスのホイール操作で設定することもできます。

● ［リセット］ボタンを押すと、初期状態にリセットされます。

オーバーレイ画像を回転表示する

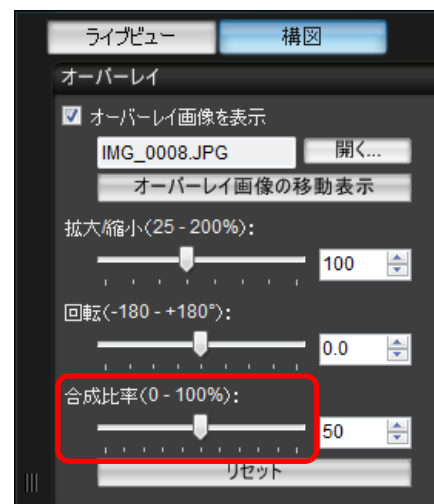
重ねて表示した画像（オーバーレイ画像）は、-180°～+180°の範囲で、回転表示を行うことができます。回転表示の設定には、**［回転］**スライダーを使用します。

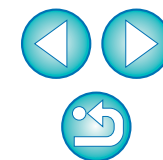
［回転］スライダーを左右にドラッグして設定する

➜ **［回転］**スライダーで設定した回転角度が、オーバーレイ表示に反映されます。

- 直接数値を入力することで、回転角度の設定をすることもできます。
- カーソルをスライダーに重ねてクリックし、キーボードの〈←〉／〈→〉キーを押すか、マウスのホイール操作で設定することもできます。
- **［リセット］**ボタンを押すと、初期状態にリセットされます。

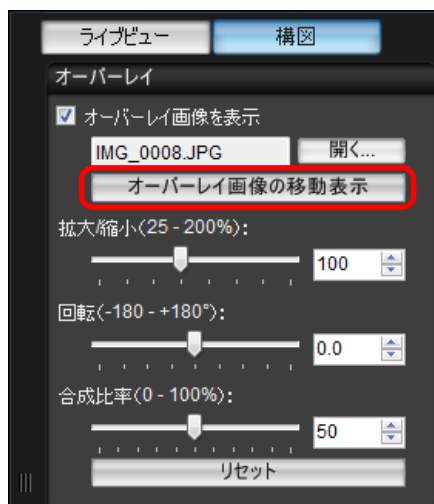
オーバーレイ画像の合成比率を設定する

重ねて表示した画像（オーバーレイ画像）は、0～100%までの範囲で、合成比率（透過率）を設定することができます。合成比率の設定には、**［合成比率］**スライダーを使用します。

［合成比率］スライダーを左右にドラッグして設定する

➜ **［合成比率］**スライダーで設定した合成比率が、オーバーレイ表示に反映されます。

- 直接数値を入力することで、合成比率の設定をすることもできます。
- カーソルをスライダーに重ねてクリックし、キーボードの〈←〉／〈→〉キーを押すか、マウスのホイール操作で設定することもできます。
- **［リセット］**ボタンを押すと、初期状態にリセットされます。

オーバーレイ画像を移動表示する

［リモートライブビュー画面］に重ねて表示した画像（オーバーレイ画像）を、移動表示することができます。また、マウスカーソル操作により、拡大・縮小表示、回転表示を行うこともできます。

1 ［オーバーレイ画像の移動表示］ボタンを押す

2 オーバーレイ画像の上でマウスカーソルをドラッグする

→ オーバーレイ画像が移動表示されます。

- ［リモートライブビュー画面］上のオーバーレイ画像以外の部分で、マウスでカーソルをドラッグすると、オーバーレイ画像の回転表示を行うことができます。
- オーバーレイ画像の四隅で、マウスでカーソルをドラッグすると、オーバーレイ画像の拡大・縮小表示を行うことができます。
- ［リセット］ボタンを押すと、初期状態にリセットされます。

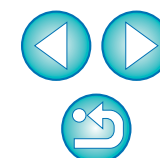
別の画像をオーバーレイ表示する

重ねて表示している画像（オーバーレイ画像）を、別の画像に切り換えて表示することができます。

1 ［オーバーレイ］の［開く］ボタンを押す

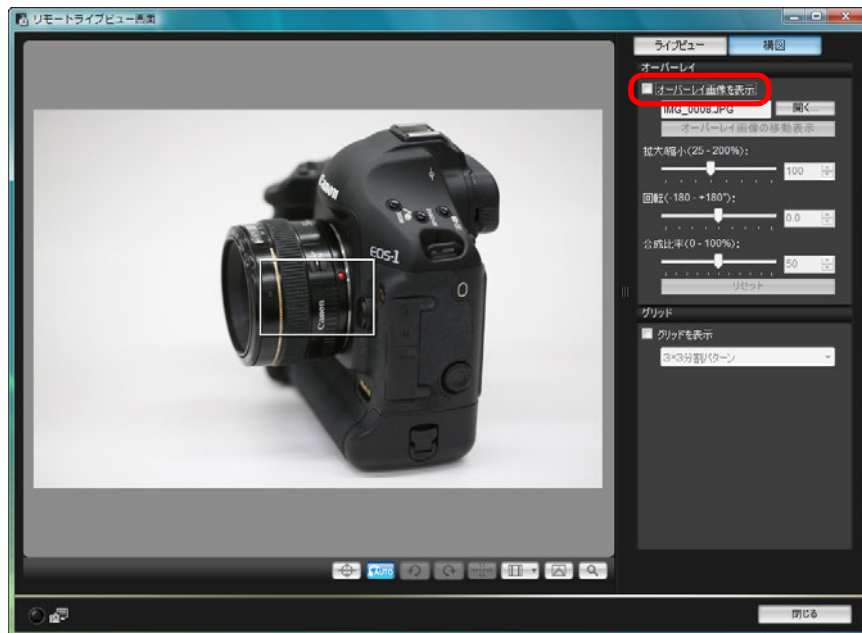
→ ［開く］画面が表示されます。

2 ［開く］画面で切り換えたい画像を選び、［開く］ボタンを押す

→ 表示されていた画像が、選んだ画像に切り換わります。

オーバーレイ画像を非表示にする

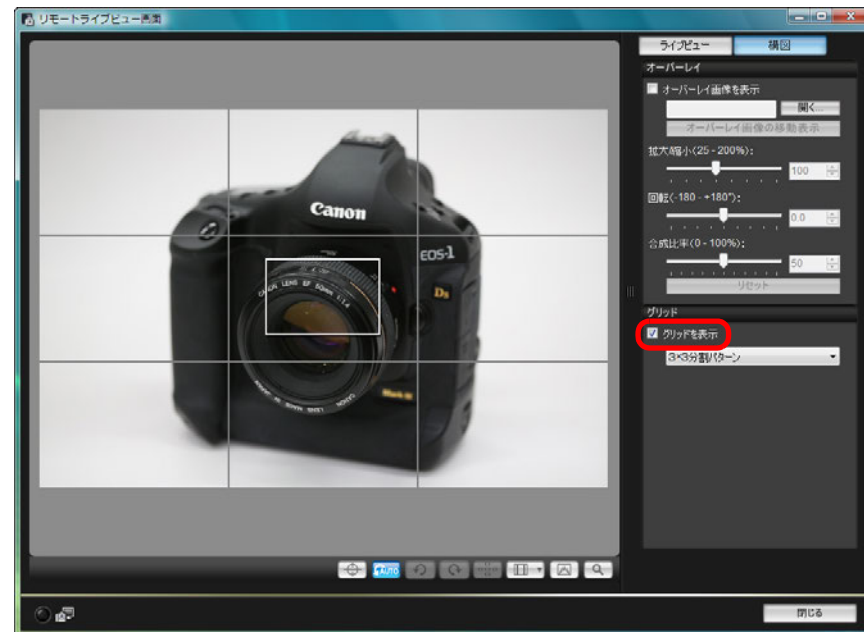
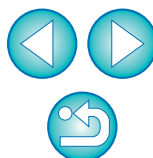
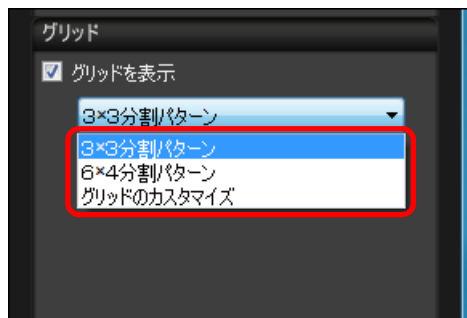
重ねて表示している画像（オーバーレイ画像）を、非表示にします。

1 **［オーバーレイ画像を表示］のチェックを外す**

➜ オーバーレイ画像が非表示になります。

● **［オーバーレイ画像を表示］**にチェックすると、オーバーレイ画像が再度表示されます。

グリッド線を表示する

カメラのライブビュー機能と同じように、**［リモートライブビュー画面］**にグリッド線を表示して、カメラの水平／垂直を確認することができます。

1 **［構図］タブを選び、［グリッド］の［グリッドを表示］チェックボックスにチェックする**

➜ **［リモートライブビュー画面］**にグリッド線が表示されます。

2 **［グリッド］のリストボックスから、グリッド線の表示方法を選ぶ**

- **［グリッドのカスタマイズ］**を選ぶと、次の項目を設定することができます。
  - ・縦方向、横方向のグリッド分割数（2 ～ 90）
  - ・グリッド線の太さ（1 ～ 10）
  - ・グリッドの色
  - ・対角線の表示 / 非表示

3 **カメラを動かして、水平／垂直を確認する**

- グリッド線を消すときは、**［グリッドを表示］**のチェックを外します。

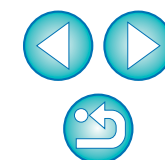
カメラ操作による撮影

リモート撮影の状態でも、カメラ単独での撮影と同じように、カメラを操作して撮影することができます。また、撮影画像はパソコンのハードディスクに保存されるため、メモリーカードの容量を気にせず、大量の撮影を行うことができます。

1 **キャプチャー画面を表示する** (p.28)

2 **カメラのシャッターボタンを押して撮影する**

→ 撮影した画像がパソコンに転送されて DPP が自動的に立ち上がり、撮影した画像が表示されます。

［リモートライブビュー画面］が表示されているときは、カメラ操作を行うことはできません。ライブビュー撮影ボタン（ 1D Mk IV 1Ds Mk III 1D Mk III 40D Kiss X2 Kiss F ではカメラの〈SET〉ボタン）を押してカメラの液晶モニターにライブビュー画像を表示させてから、カメラを操作してください。

動画の撮影

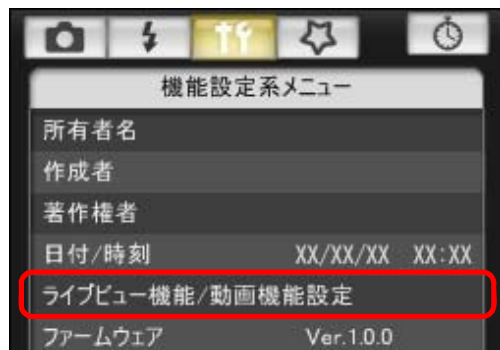
1D X　1D Mk IV　5D Mk III　5D Mk II　7D　60D　Kiss X6i　Kiss X5　Kiss X4　Kiss X3　Kiss X50

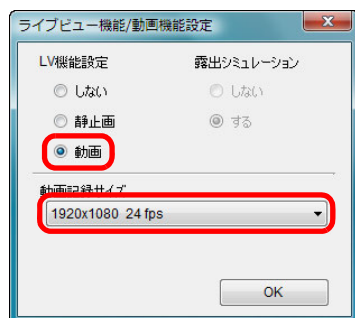
EU からカメラをコントロールして、パソコンの画面上で動画撮影を行うことができます。なお、カメラにメモリーカードが入っていないと、動画撮影はできません。

1D X　1D Mk IV

1 ライブビュー撮影の準備をする

●「リモートライブビュー撮影」(p.28) の手順 1 ～ 3 を行います。

2 [ライブビュー機能／動画機能設定] をクリックする

➜ [ライブビュー機能／動画機能設定] 画面が表示されます。

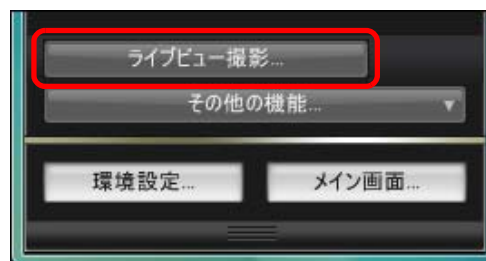
3 [LV 機能設定] の [動画] を選び、動画記録サイズをリストボックスから選ぶ

 1D X では、以下のような動画の圧縮形式が選べます。

・ALL-I（I-only）：1 フレーム単位で圧縮して記録します。IPB よりもファイルサイズが大きくなりますが、撮影後の編集作業に適しています。

・IPB：複数のフレーム単位で効率的に圧縮して記録します。ALL-I よりもファイルサイズが小さくなるため、撮影できる時間が長くなります。

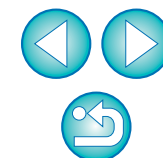
4 [OK] ボタンを押す

➜ [ライブビュー機能／動画機能設定] 画面が閉じます。

5 [ライブビュー撮影] ボタンを押す

➜ [リモートライブビュー画面] が表示されます。

● 1D X では、必要に応じて録音の設定を行います。
録音の設定方法については、「録音の設定」(p.46) を参照してください。

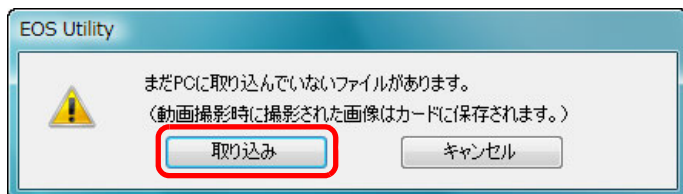
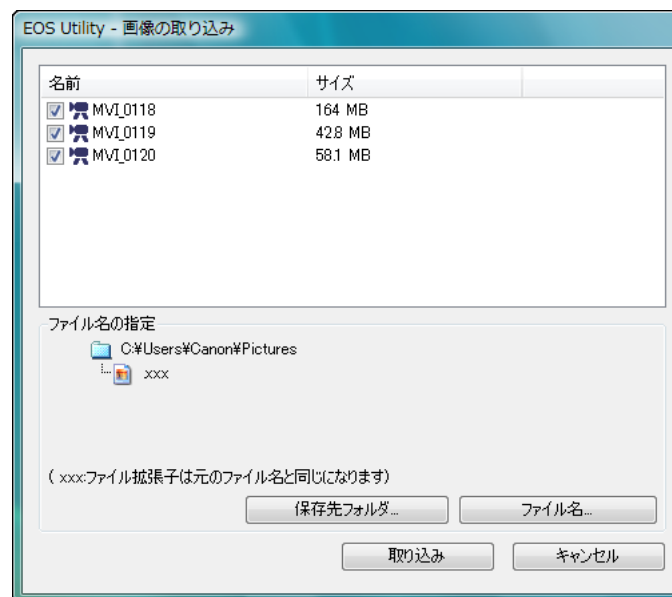
6 ピントを合わせる (p.36、p.37)

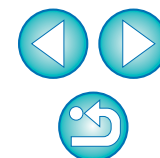
はじめに
やりたいこと目次
1 画像取り込み
2 カメラ設定
3 リモート撮影
4 環境設定
資料
索引

7 [ ] ボタンを押して撮影を開始する

→ [リモートライブビュー画面] の左下に、[ ] マークと録画時間が表示されます。

録画時間

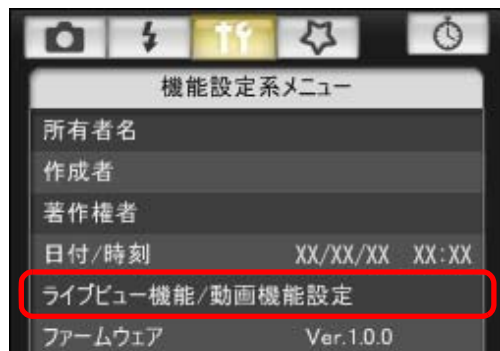
- [ ] ボタンをもう一度押すと撮影を終了します。

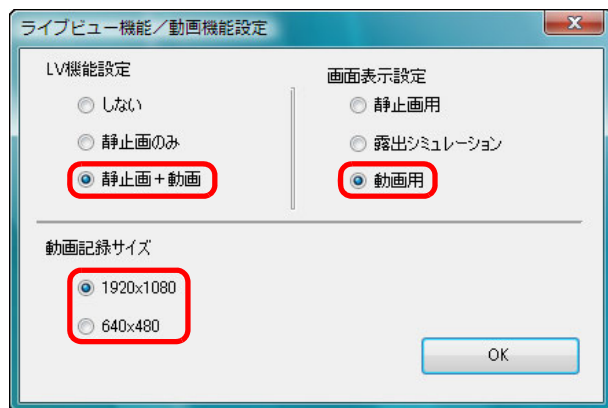
→ [リモートライブビュー画面] を閉じる際に、パソコンに取り込まれていない画像データがあるときは、次の画面が表示されます。

- [取り込み] ボタンを押すと、動画モードで撮影した画像データ（動画／静止画）のファイル名一覧画面が表示されます。

[保存先フォルダ] と [ファイル名] を指定したあと、画面の [取り込み] ボタンを押すと、カメラのメモリーカードから、パソコンに画像データが取り込まれます。
なお、ファイル名のチェックボックスからチェックを外した画像データは取り込まれません。あとで、カメラのメモリーカードからパソコンに画像データを取り込むときは、本使用説明書の p.7 ～ p.10 に記載されている方法で取り込んでください。

はじめに
やりたいこと目次
画像取り込み
カメラ設定
リモート撮影
環境設定
資　料
索　引

5D Mk II

1 ライブビュー撮影の準備をする

●「リモートライブビュー撮影」（p.28）の手順 1 ～ 3 を行います。

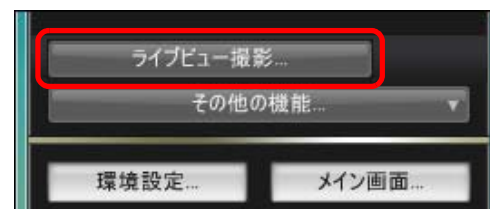
2 [ライブビュー機能／動画機能設定] をクリックする

→ [ライブビュー機能／動画機能設定] 画面が表示されます。

3 [静止画＋動画]、[動画用] を選び、動画記録サイズを設定する

● [画面表示設定] が [静止画用]、または [露出シミュレーション] に設定されているときは、動画撮影を行うことはできません。

● カメラのファームウェアが Ver.2.0.0 以上のときは、カメラでフレームレート設定をしてください。また、カメラで設定したフレームレートが 24 fps のときは、EU で動画記録サイズを変更すると、他のフレームレートに変更されます。

4 [OK] ボタンを押す

→ [ライブビュー機能／動画機能設定] 画面が閉じます。

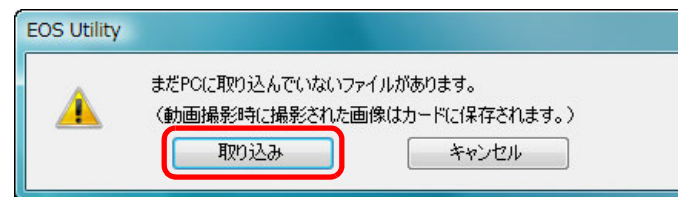
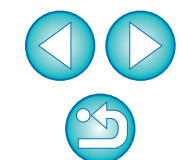
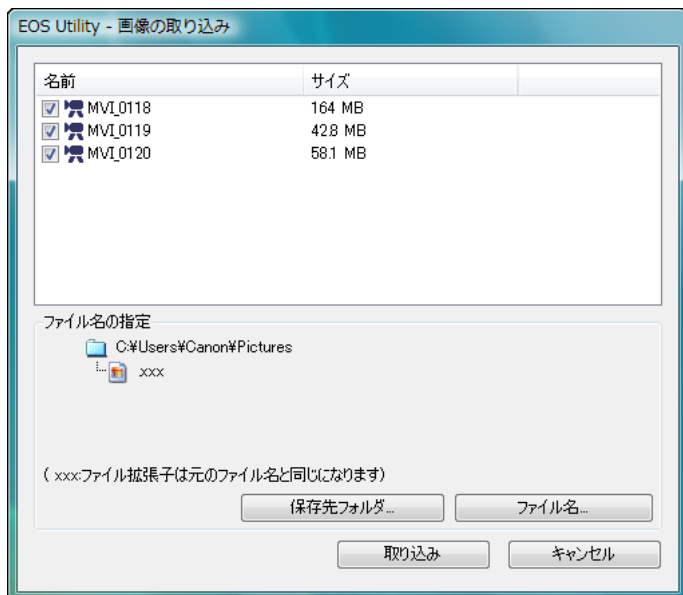
5 [ライブビュー撮影] ボタンを押す

→ [リモートライブビュー画面] が表示されます。

6 ピントを合わせる （p.36、p.37）

7 [●] ボタンを押して撮影を開始する

→ [リモートライブビュー画面] の左下に、[●] マークと録画時間が表示されます。

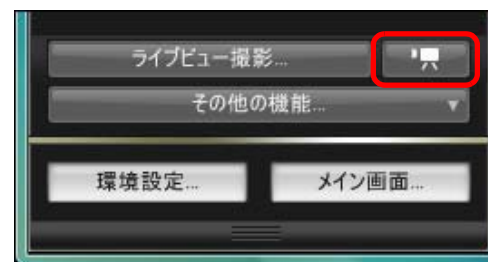
● [●] ボタンをもう一度押すと撮影を終了します。

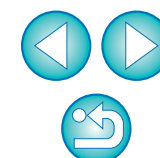
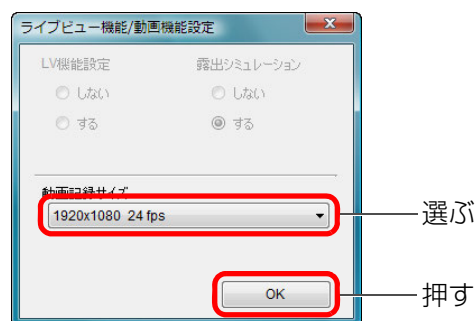
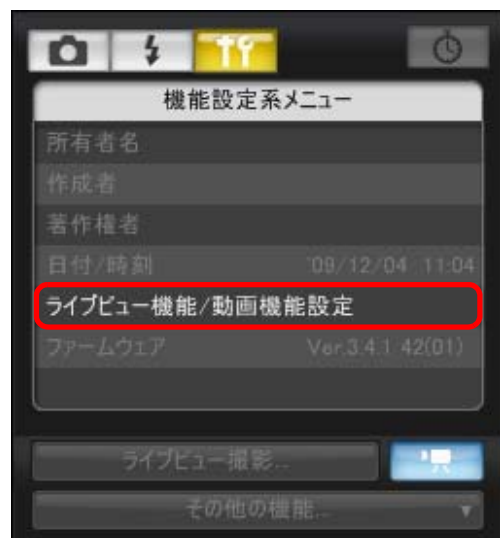
→ [リモートライブビュー画面] を閉じる際に、パソコンに取り込まれていない画像データがあるときは、次の画面が表示されます。

● [取り込み] ボタンを押すと、動画モードで撮影した画像データ（動画／静止画）のファイル名一覧画面が表示されます。

［保存先フォルダ］と**［ファイル名］**を指定したあと、画面の**［取り込み］**ボタンを押すと、カメラのメモリーカードから、パソコンに画像データが取り込まれます。
なお、ファイル名のチェックボックスからチェックを外した画像データは取り込まれません。あとで、カメラのメモリーカードからパソコンに画像データを取り込むときは、本使用説明書の p.7 ～ p.10 に記載されている方法で取り込んでください。

5D Mk III　7D　Kiss X50

1 ライブビュー撮影の準備をする

- 「リモートライブビュー撮影」（p.28）の手順 1 ～ 2 を行います。
- 5D Mk III　7D では、カメラのライブビュー撮影／動画撮影スイッチは〈 〉にセットしてください。

2 ［ ］ボタンを押す

➜ **［リモートライブビュー画面］**が表示されます。
- 5D Mk III では、必要に応じて録音の設定を行います。
  録音の設定方法については、「録音の設定」（p.46）を参照してください。

- ［ ］ボタンが押されている間は、カメラ本体の操作はできません。カメラ本体の操作を行いたいときは、［ ］ボタンをもう一度押すか、**［リモートライブビュー画面］**を閉じてください。
- Kiss X50 では、動画モードで静止画撮影はできません。

動画記録サイズの設定をするときは、**［ライブビュー機能／動画機能設定］**をクリックし、**［ライブビュー機能／動画機能設定］**画面を表示させて行います。

● 選べる動画記録サイズは、カメラによって異なります。

 5D Mk III では、以下のような動画の圧縮形式が選べます。

・ALL-I (I-only)：1 フレーム単位で圧縮して記録します。IPB よりもファイルサイズが大きくなりますが、撮影後の編集作業に適しています。

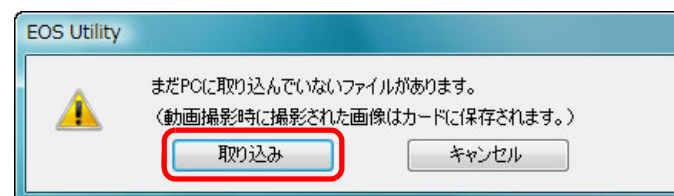
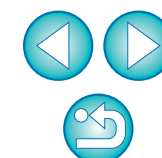
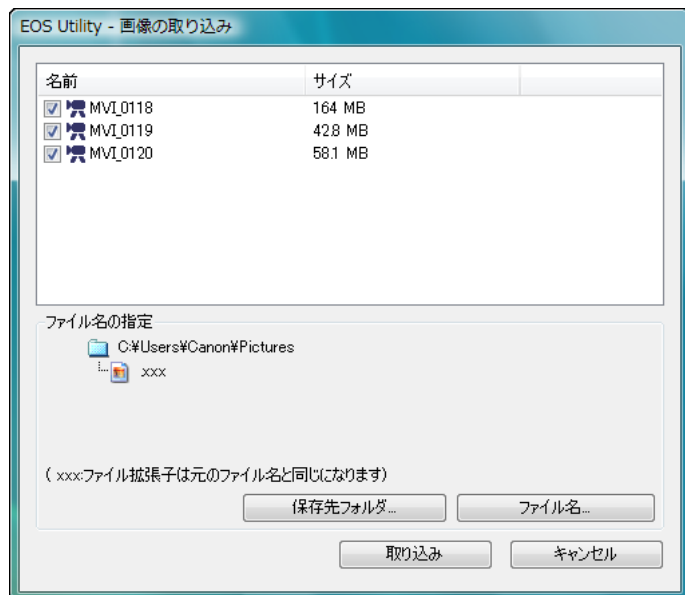
・IPB：複数のフレーム単位で効率的に圧縮して記録します。ALL-I よりもファイルサイズが小さくなるため、撮影できる時間が長くなります。

3 ピントを合わせる （p.36、p.37）

4 ［ ］ボタンを押して撮影を開始する

→ **［リモートライブビュー画面］**の左下に、［●］マークと録画時間が表示されます。

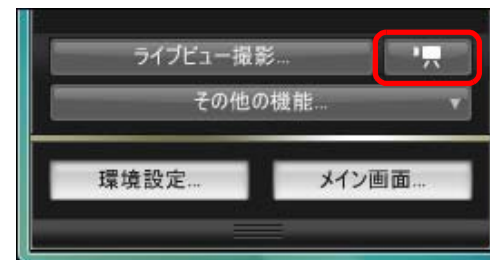
● ［ ● ］ボタンをもう一度押すと撮影を終了します。

→ **［リモートライブビュー画面］**を閉じる際に、パソコンに取り込まれていない画像データがあるときは、次の画面が表示されます。

● **［取り込み］**ボタンを押すと、動画モードで撮影した画像データ（動画／静止画）のファイル名一覧画面が表示されます。

［保存先フォルダ］と**［ファイル名］**を指定したあと、画面の**［取り込み］**ボタンを押すと、カメラのメモリーカードから、パソコンに画像データが取り込まれます。
なお、ファイル名のチェックボックスからチェックを外した画像データは取り込まれません。あとで、カメラのメモリーカードからパソコンに画像データを取り込むときは、本使用説明書のp.7 ～ p.10 に記載されている方法で取り込んでください。

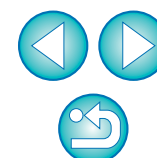
60D

1 ライブビュー撮影の準備をする

●「リモートライブビュー撮影」（p.28）の手順 1 ～ 2 を行います。

2 ［ ］ボタンを押す

➜ **［リモートライブビュー画面］**が表示されます。

［ ］ボタンが押されている間は、カメラ本体の操作はできません。カメラ本体の操作を行いたいときは、［ ］ボタンをもう一度押すか、**［リモートライブビュー画面］**を閉じてください。

はじめに
やりたいこと目次
画像取り込み
カメラ設定
リモート撮影
環境設定
資 料
索 引

動画記録サイズや動画撮影モードの設定をするときは、**［ライブビュー機能／動画機能設定］**をクリックし、**［ライブビュー機能／動画機能設定］**画面を表示させて行います。

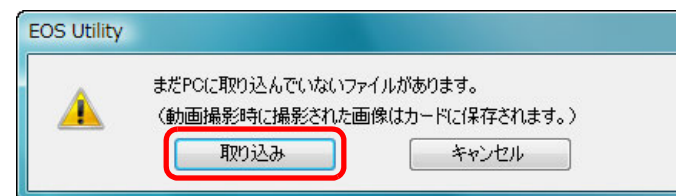
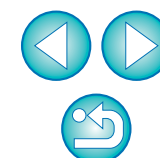
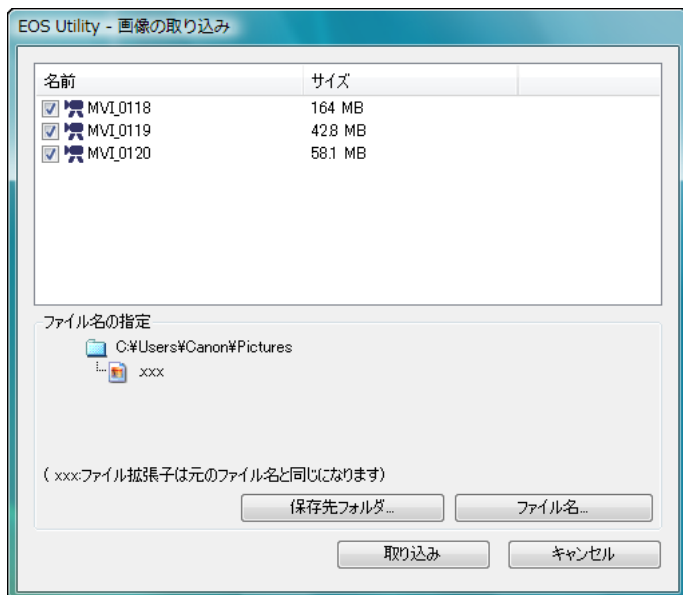
動画記録サイズを**［動画クロップ 640 × 480］**に設定したときは、以下のことにご注意ください。
- ピントを合わせるときに、拡大表示することはできません。
- 選べる AF モードは、**［ライブモード］**（p.39）、**［顔優先ライブモード］**（p.40）の 2 種類です。
- AF モードが**［クイックモード］**（p.37）のときは、自動的に**［ライブモード］**（p.39）に切り換わります。
- 静止画撮影はできません。
- 動画記録サイズのアイコンは［ ］と表示されます。

3 ピントを合わせる （p.36、p.37）

4 ［ ］ボタンを押して撮影を開始する

→ **［リモートライブビュー画面］**の左下に、［ ］マークと録画時間が表示されます。

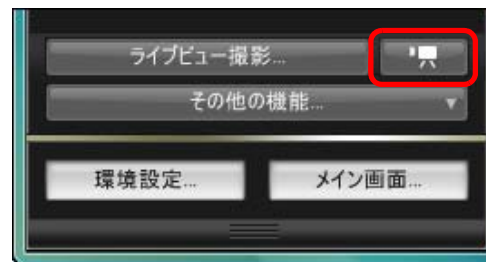
- ［ ］ボタンをもう一度押すと撮影を終了します。

→ **［リモートライブビュー画面］**を閉じる際に、パソコンに取り込まれていない画像データがあるときは、次の画面が表示されます。

- **［取り込み］**ボタンを押すと、動画モードで撮影した画像データ（動画／静止画）のファイル名一覧画面が表示されます。

［保存先フォルダ］と**［ファイル名］**を指定したあと、画面の**［取り込み］**ボタンを押すと、カメラのメモリーカードから、パソコンに画像データが取り込まれます。
なお、ファイル名のチェックボックスからチェックを外した画像データは取り込まれません。あとで、カメラのメモリーカードからパソコンに画像データを取り込むときは、本使用説明書の p.7 ～ p.10 に記載されている方法で取り込んでください。

Kiss X6i　Kiss X5　Kiss X4

1 ライブビュー撮影の準備をする

- 「リモートライブビュー撮影」(p.28) の手順 1 ～ 2 を行います。

2 ［ ］ボタンを押す

→ **［リモートライブビュー画面］**が表示されます。

- Kiss X6i では、必要に応じて録音の設定を行います。
  録音の設定方法については、「録音の設定」(p.46) を参照してください。

［ ］ボタンが押されている間は、カメラ本体の操作はできません。カメラ本体の操作を行いたいときは、［ ］ボタンをもう一度押すか、**［リモートライブビュー画面］**を閉じてください。

動画記録サイズの設定をするときは、**［ライブビュー機能／動画機能設定］**をクリックし、**［ライブビュー機能／動画機能設定］**画面を表示させて行います。

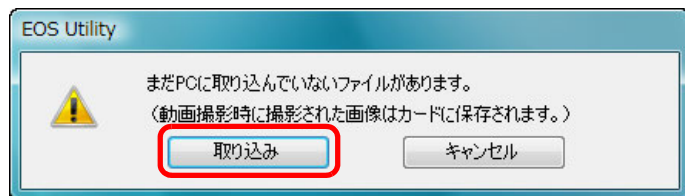
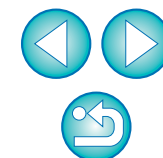
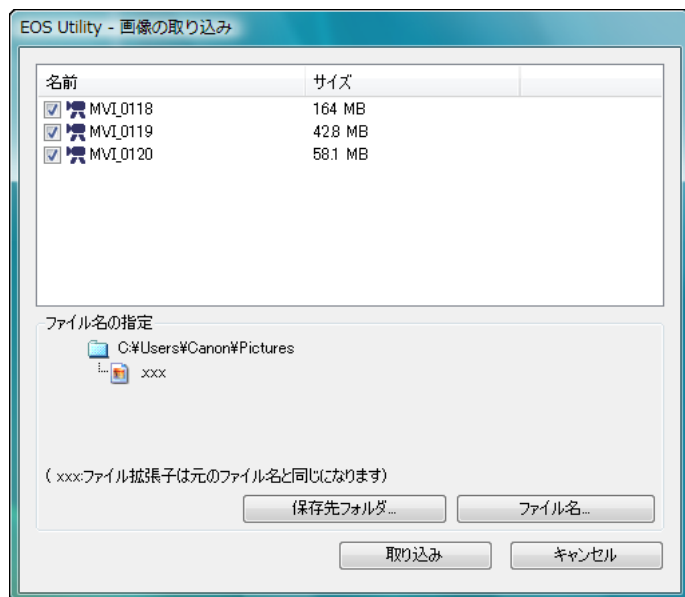
- Kiss X4 で動画記録サイズを**［動画クロップ 640 × 480］**に設定したときは、以下のことにご注意ください。
  - ・ピントを合わせるときに、拡大表示することはできません。
  - ・選べる AF モードは、**［ライブモード］**（p.39）、**［顔優先ライブモード］**（p.40）の 2 種類です。
  - ・AF モードが**［クイックモード］**（p.37）のときは、自動的に**［ライブモード］**（p.39）に切り換わります。
  - ・静止画撮影はできません。
  - ・動画記録サイズのアイコンは［640］と表示されます。
- Kiss X5 で動画デジタルズームに設定したときは、以下の操作はできません。
  - ・リモートライブビュー表示
  - ・AF によるピント合わせ
  - ・静止画の撮影
- EU では、Kiss X6i Kiss X5 のビデオスナップ撮影はできません。

3 ピントを合わせる（p.36、p.37）

4 ［●］ボタンを押して撮影を開始する

→**［リモートライブビュー画面］**の左下に、［●］マークと録画時間が表示されます。

- ［●］ボタンをもう一度押すと撮影を終了します。

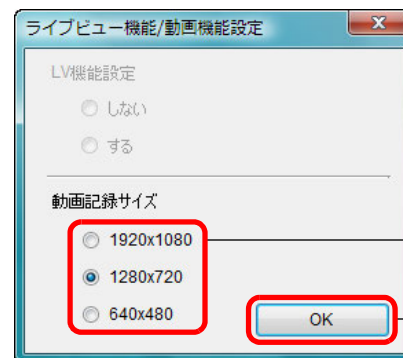
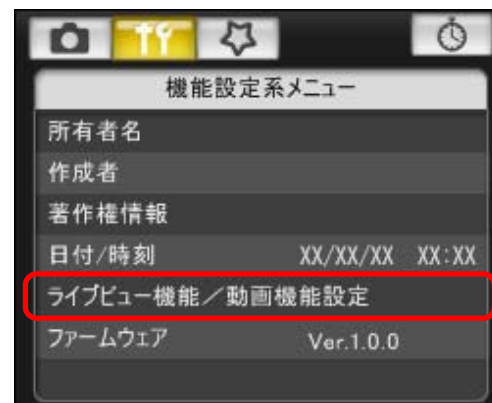
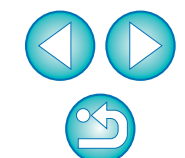
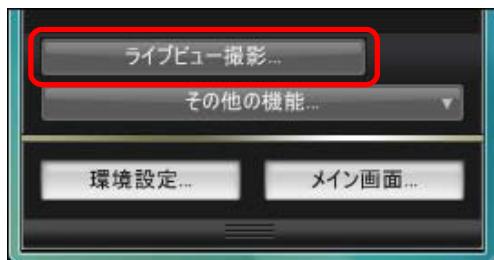
→**［リモートライブビュー画面］**を閉じる際に、パソコンに取り込まれていない画像データがあるときは、次の画面が表示されます。

● **［取り込み］**ボタンを押すと、動画モードで撮影した画像データ（動画／静止画）のファイル名一覧画面が表示されます。

［保存先フォルダ］と**［ファイル名］**を指定したあと、画面の**［取り込み］**ボタンを押すと、カメラのメモリーカードから、パソコンに画像データが取り込まれます。
なお、ファイル名のチェックボックスからチェックを外した画像データは取り込まれません。あとで、カメラのメモリーカードからパソコンに画像データを取り込むときは、本使用説明書のp.7 ～ p.10 に記載されている方法で取り込んでください。

Kiss X3

1 ライブビュー撮影の準備をする

●「リモートライブビュー撮影」（p.28）の手順 1 ～ 2 を行います。

2 カメラのモードダイヤルを〈'🎥〉にする

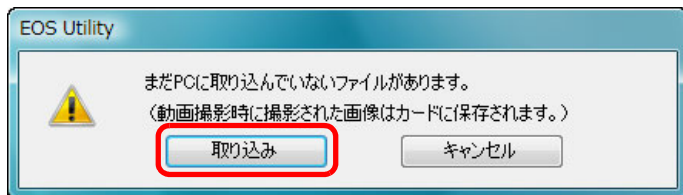
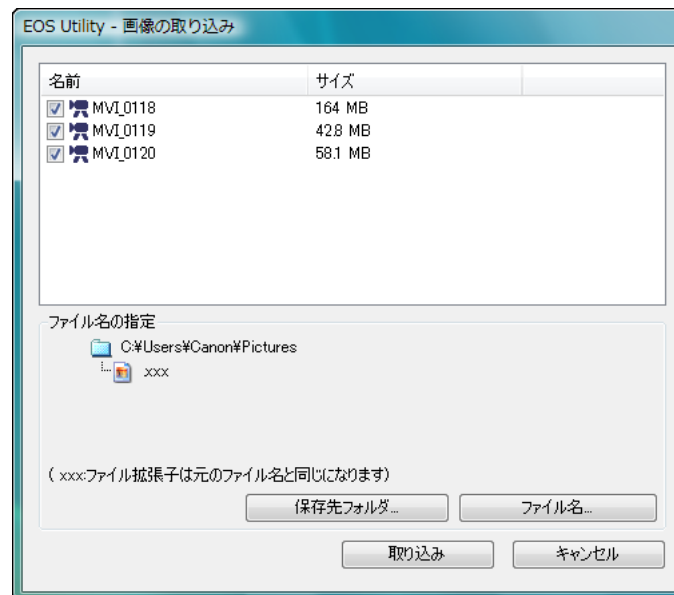
●動画記録サイズの設定をするときは、**［ライブビュー機能／動画機能設定］**をクリックし、**［ライブビュー機能／動画機能設定］**画面を表示させて行います。

3 ［ライブビュー撮影］ボタンを押す

→［リモートライブビュー画面］が表示されます。

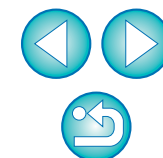
4 ピントを合わせる （p.36、p.37）

5 ［●］ボタンを押して撮影を開始する

→［リモートライブビュー画面］の左下に、［●］マークと録画時間が表示されます。

● ［●］ボタンをもう一度押すと撮影を終了します。

→［リモートライブビュー画面］を閉じる際に、パソコンに取り込まれていない画像データがあるときは、次の画面が表示されます。

● ［取り込み］ボタンを押すと、動画モードで撮影した画像データ（動画／静止画）のファイル名一覧画面が表示されます。

［保存先フォルダ］と［ファイル名］を指定したあと、画面の［取り込み］ボタンを押すと、カメラのメモリーカードから、パソコンに画像データが取り込まれます。

なお、ファイル名のチェックボックスからチェックを外した画像データは取り込まれません。あとで、カメラのメモリーカードからパソコンに画像データを取り込むときは、本使用説明書の p.7 ～ p.10 に記載されている方法で取り込んでください。

タイマー制御による自動撮影

設定した時間や枚数でカメラが自動撮影する、2 種類のタイマー撮影を行うことができます。

タイマー撮影

設定した時間が経過すると自動的に 1 枚撮影することができます。

1 キャプチャー画面を表示する (p.28)

2 [ ] ボタンを押す

➜ **[タイマー撮影設定]** 画面が表示されます。

3 遅延時間を入力して [開始] ボタンを押す

- 設定時間の範囲は、1 秒単位で 0 分 0 秒〜 99 分 59 秒です。

➜ 設定した時間が経過すると撮影されます。

インターバルタイマー撮影

設定した撮影間隔と撮影枚数にしたがって自動撮影することができます。

1 キャプチャー画面を表示する (p.28)

2 [ ] ボタンを押す

➜ **[タイマー撮影設定]** 画面が表示されます。

3 [インターバルタイマー撮影を行う] をチェックする

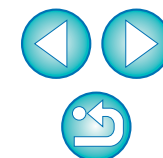
4 撮影間隔と撮影枚数を入力する

- 撮影間隔の範囲は、1 秒単位で 5 秒〜 99 分 59 秒です。
- 撮影枚数は 2 枚から設定できます。また、設定できる撮影枚数は、パソコンのハードディスク空き容量によります。

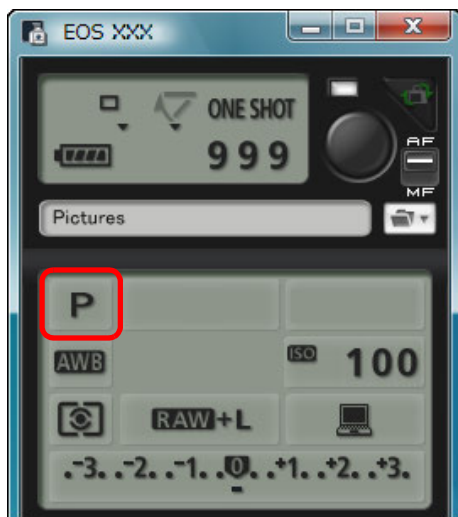
5 [開始] ボタンを押す

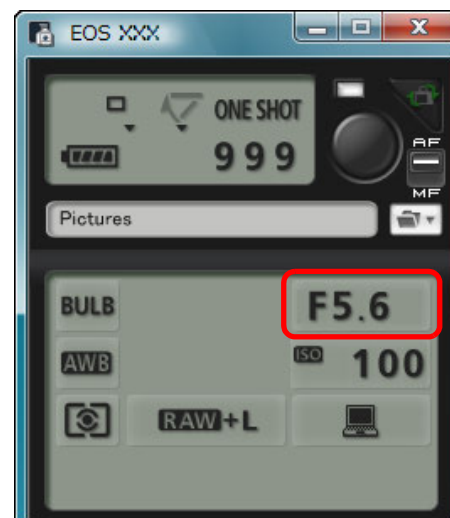
➜ 設定した時間の間隔で、設定枚数の撮影が行われます。

パソコンによっては、撮影間隔の時間設定が短いと、画像の転送や保存が間に合わず、設定した間隔での撮影ができなくなることがあります。そのときは、撮影間隔の設定を長くして、再度撮影してください。

[タイマー撮影設定] 画面を表示させると、撮影モードを変更することができなくなります。
撮影モードを設定後、**[タイマー撮影設定]** 画面を表示させてください。

バルブ撮影

1 キャプチャー画面を表示する （p.28）

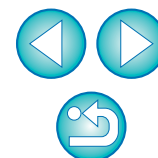
2 撮影モードアイコンをダブルクリックして、［BULB］を選ぶ

- 1D X 1D Mk IV 1Ds Mk III 1D Mk III 以外では、以下のように設定してください。
  - ・カメラのモードダイヤルに〈B〉（バルブ）があるカメラでは、〈B〉に設定してください。
  - ・カメラのモードダイヤルに〈B〉（バルブ）がないカメラでは、カメラのモードダイヤルを〈M〉（マニュアル）に設定し、キャプチャー画面で［BULB］を選ぶか、カメラのシャッター速度を［BULB］に設定してください。

3 絞り数値を設定する

4 ［ ］ボタンを押す

→［タイマー撮影設定］画面が表示されます。

5 露光時間を入力して［開始］ボタンを押す

- 露光時間の範囲は、1 秒単位で 5 秒～ 99 分 59 秒です。

露光時間を設定せずに、［●］ボタンを押すことでバルブ撮影を開始／終了させることもできます。

ストロボ撮影

1D X　1D Mk IV　5D Mk III　5D Mk II　7D　60D　Kiss X6i　Kiss X5　Kiss X4　Kiss X50

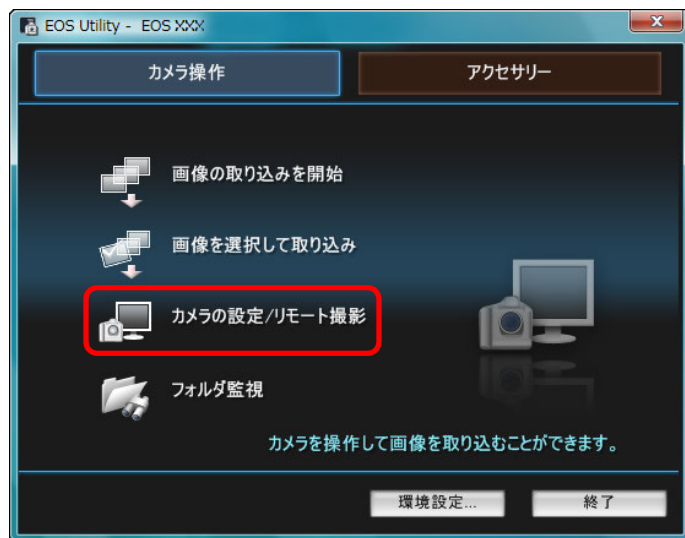
EU から、ストロボ設定機能に対応した EX スピードライト（別売）や、カメラのストロボ機能を設定して、ストロボ撮影を行うことができます。

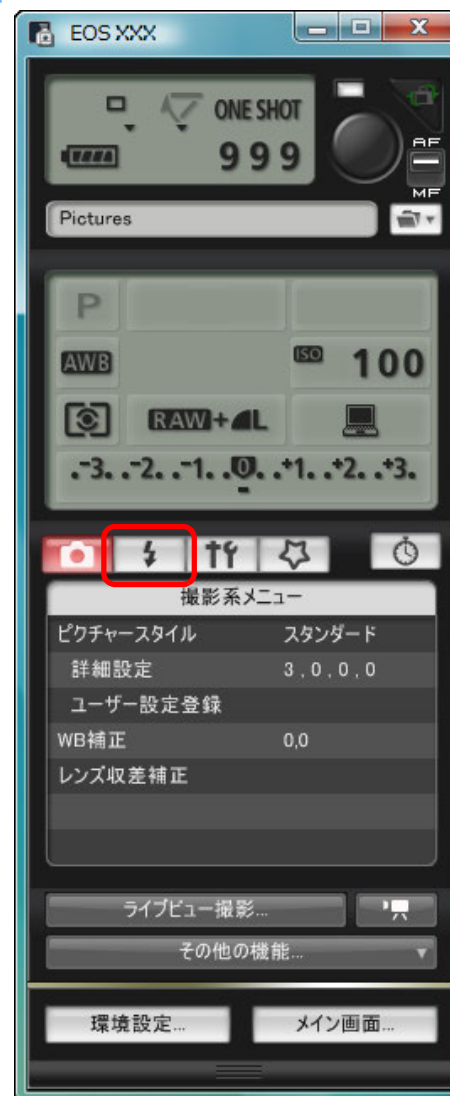
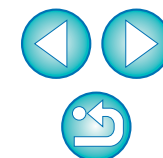
なお、設定項目の詳細については、お使いの EX スピードライトやカメラの使用説明書を、あわせて参照してください。

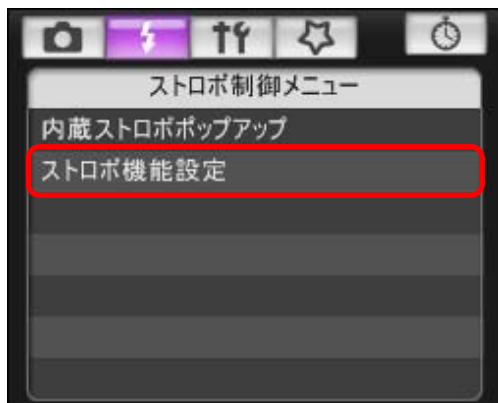
1 カメラとストロボを準備する

- 外部ストロボを使用するときは、カメラにストロボを取り付けます。

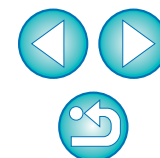
2 カメラとパソコンを接続して、EU を立ち上げる (p.5)

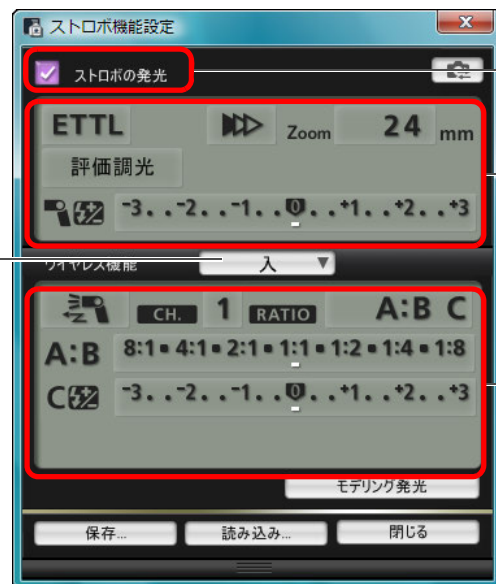
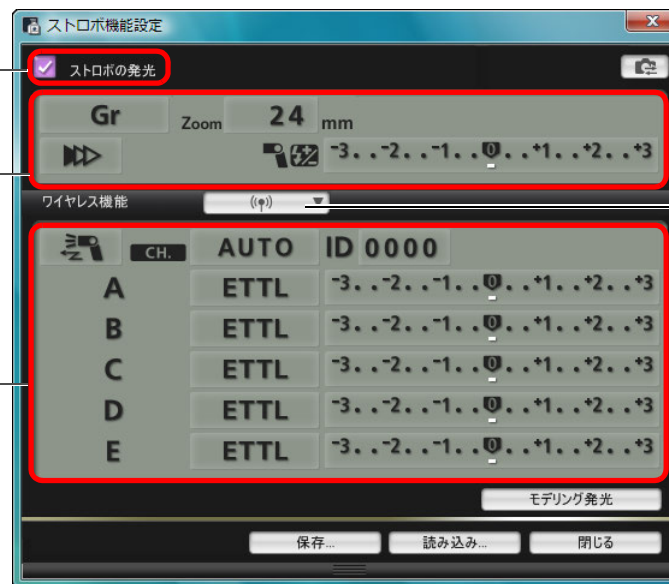
3 ［カメラの設定／リモート撮影］をクリックする

→ キャプチャー画面が表示されます。

4 ［ ］ボタンを押す

→［ストロボ制御メニュー］が表示されます。

5 [ストロボ機能設定] をクリックする

ストロボ制御メニュー

- Kiss X6i Kiss X5 を接続したときは、**[内蔵ストロボ機能設定]** 項目も表示されます。
  [内蔵ストロボ機能設定] をクリックして表示される設定項目を選ぶと、内蔵ストロボ機能の設定方法を変更することができます。
  なお、設定項目（**[通常発光]**、**[簡単ワイヤレス]**、**[詳細ワイヤレス]**）の詳細については、カメラ本体使用説明書をご確認ください。

➜ **[ストロボ機能設定]** 画面が表示されます。

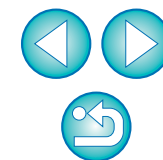
[内蔵ストロボポップアップ] は、7D 60D Kiss X6i Kiss X5 Kiss X4 Kiss X50 の内蔵ストロボを使用するときに選びます。

6 設定する

ストロボ機能設定画面
接続するカメラ、ストロボによって表示される画面が異なります。

1D X　1D Mk IV　5D Mk III　5D Mk II　Kiss X4　Kiss X50

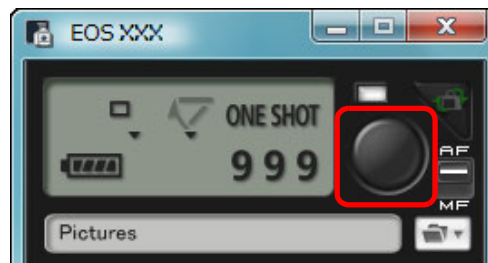
ワイヤレス機能を有効にするときは、ボタンを押して、表示されるメニューから **[入]** を選び、解除するときは、メニューから **[切]** を選ぶ

7D　60D　Kiss X6i　Kiss X5

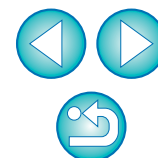
ワイヤレス機能を有効にするときは、ボタンを押して、表示されるメニューからストロボの組合せを選び、解除するときは、メニューから **[切]** を選ぶ
なお、Kiss X6i　Kiss X5 の内蔵ストロボのワイヤレス機能を有効にするときは、**[ストロボ制御メニュー]** の **[内蔵ストロボ機能設定]** で、**[簡単ワイヤレス]** または **[詳細ワイヤレス]** を選び、解除するときは、**[通常発光]** を選ぶ

* 各設定項目の画面では、マウスのホイールを使って設定内容を選ぶこともできます。

カメラの液晶モニターにストロボ制御画面が表示されたときは、EU の**[ストロボ機能設定]**画面は自動的に閉じます。

- **[モデリング発光]**ボタンを押すと、モデリング発光を行うことができます。なお、モデリング発光は連続 10 回までにしてください。（詳しくはストロボの使用説明書をご覧ください）
- ［ ］ボタンを押すと、**[ストロボ機能設定]**画面の表示内容がストロボの設定に同期した最新の状態に更新されます。
（ストロボ本体で設定変更を行ったときは、変更内容が**[ストロボ機能設定]**画面に反映されないため、［ ］ボタンを押すことで、**[ストロボ機能設定]**画面をストロボ本体の設定にあわせた、最新の状態に更新することができます）
- **[保存]**ボタンを押すと、ストロボ設定を、画像とは別のファイルとして、名前を付けて保存することができます。また、このファイルは、**[読み込み]**ボタンを押して EU に読み込み、他の撮影に使用することができます。
- ストロボ撮影とリモートライブビュー撮影（p.28）をあわせて行うこともできます。
ただし、リモートライブビュー撮影時にモデリング発光を行うことはできません。
- **[ストロボ機能設定]**画面で設定できる内容は、ストロボおよびカメラによって異なります。

7 ［⬤］ボタンを押して撮影する

➜ 撮影した画像がパソコンに転送されて、**[クイックプレビュー]**画面に表示され、そのあと DPP が自動的に立ち上がります。

- キャプチャー画面の AF ／ MF 切り換えボタンが**[AF]**にセットされているときに、［⬤］ボタンにカーソルを重ねると、AF ／ AE が行われます。（p.92）
- DPP が立ち上がる前に表示される**[クイックプレビュー]**画面では、撮影した画像を素早く確認することができます。なお、**[クイックプレビュー]**画面の表示サイズは変更することができます。
- キャプチャー画面の**[その他の機能]**ボタンを押して、表示されるメニューから**[クイックプレビュー]**を選ぶと、**[クイックプレビュー]**画面を表示／非表示にすることができます。

- **[ストロボ機能設定]**画面の機能一覧は、p.94 を参照してください。
- キーボードの〈スペース〉キーを押しても、撮影することができます。

カメラのメモリーカードに BGM を登録する

Kiss X6i　Kiss X5

パソコンに保存された WAV 形式の楽曲データを、カメラのメモリーカードに BGM として登録することができます。登録した BGM は、カメラでビデオスナップアルバムやスライドショーを再生するときに、一緒に再生することができます。

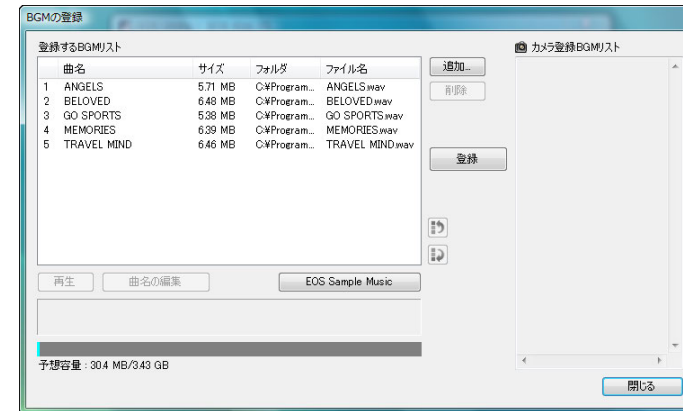
1 カメラとパソコンを接続して、EU を立ち上げる (p.5)

- カメラとパソコンが接続されていないと、［BGM の登録］項目は表示されません。

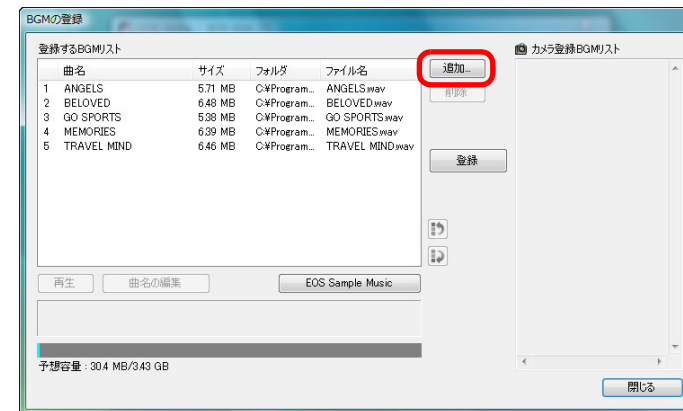
2 ［BGM の登録］をクリックする

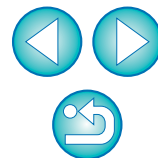
→［BGM の登録］画面が表示されます。

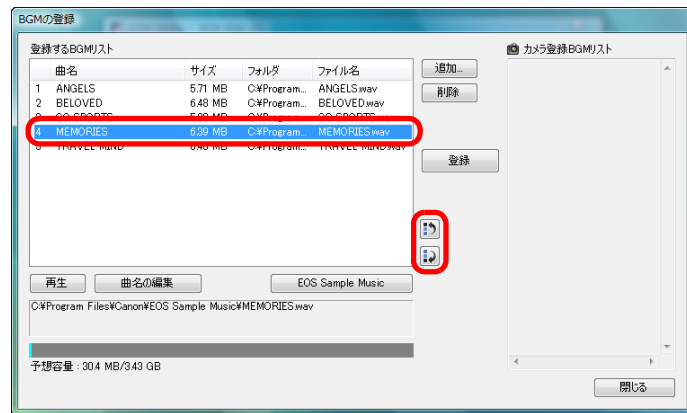
- 「EOS Sample Music」フォルダをパソコンにインストールしたときは、初回は EOS Sample Music の 5 曲が、［登録する BGM リスト］に表示されます。
- カメラが動画撮影モードのときは、BGM の登録を行うことはできません。

BGM の登録画面

3 ［登録する BGM リスト］を編集する

新しい楽曲データを追加する

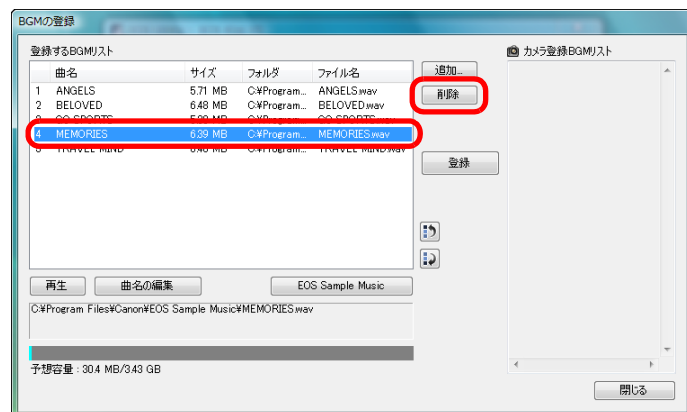
- ［追加］ボタンを押すと表示される［開く］画面で楽曲データを選び、［開く］ボタンを押します。

→楽曲データが［登録する BGM リスト］に追加されます。

- パソコン内の任意の場所に保存されている楽曲データを直接ドラッグ＆ドロップして、［登録する BGM リスト］に追加することもできます。
- 楽曲データは 1 曲ずつしか追加できません。
- 1 曲の長さは 29 分 59 秒以内、また、最大 20 曲までしか追加できません。

楽曲データの再生順を並べ替える

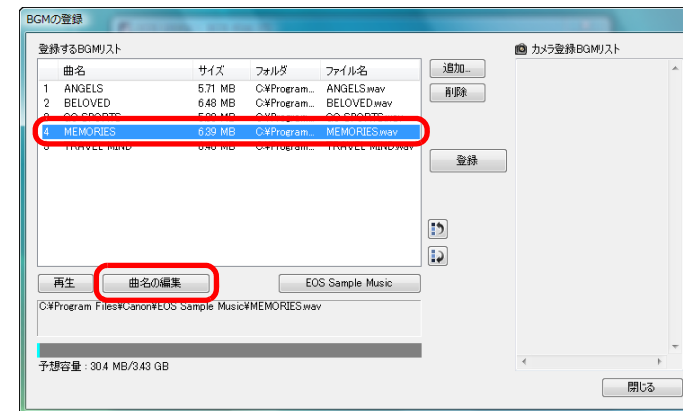
● **［登録する BGM リスト］**から楽曲データを選び、［ ］ボタンまたは、［ ］ボタンを押します。

➜ 楽曲データの並び順が替わります。

● **［登録する BGM リスト］**の楽曲データをドラッグ & ドロップして、直接並べ替えることもできます。

楽曲データを削除する

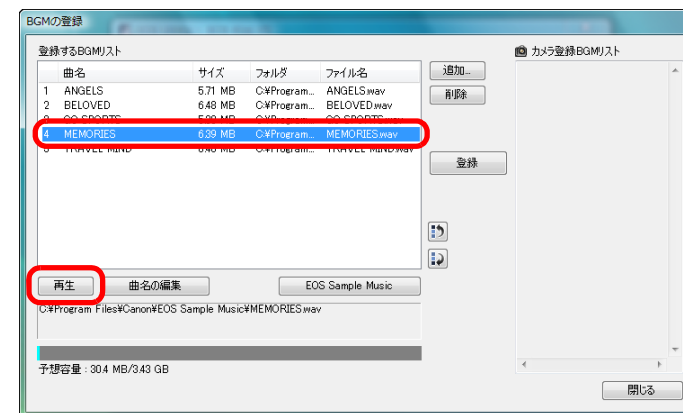
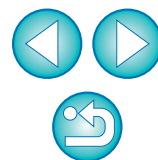
● **［登録する BGM リスト］**から楽曲データを選び、**［削除］**ボタンを押します。

➜ 楽曲データが**［登録する BGM リスト］**から削除されます。

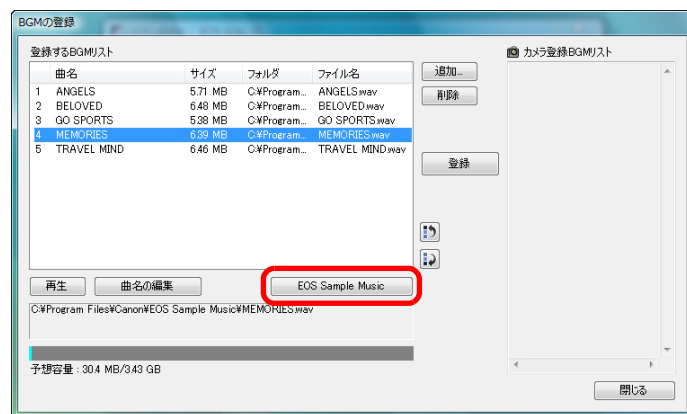
楽曲データの曲名を編集する

● **［登録する BGM リスト］**から楽曲データを選び、**［曲名の編集］**ボタンを押すと表示される**［曲名の編集］**画面で、半角英数字や記号で 25 文字までの曲名を入力し、**［OK］**ボタンを押します。

➜ 楽曲データの曲名が変更されます。

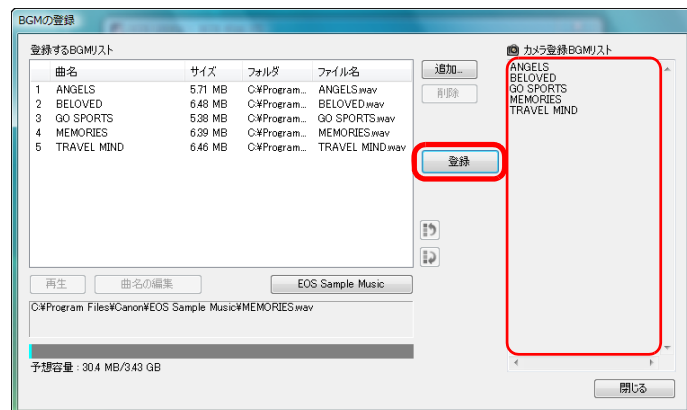
● **［登録する BGM リスト］**の楽曲データをダブルクリックしても、**［曲名の編集］**画面を表示することができます。

楽曲データを再生する

● **［登録する BGM リスト］**から楽曲データを選び、**［再生］**ボタンを押します。

➜ 楽曲データが再生されます。

EOS Sample Music を追加する

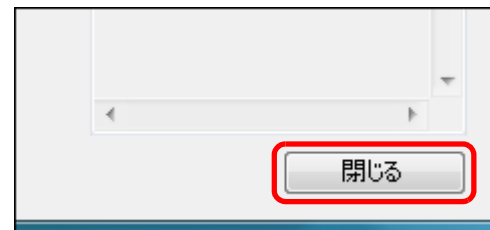
● [EOS Sample Music] ボタンを押します。

➜ パソコン内の EOS Sample Music が **[登録する BGM リスト]** に追加されます。

● EOS Sample Music がパソコンにインストールされていないときは、この操作はできません。

4 [登録] ボタンを押す

➜ カメラのメモリーカードに、**[登録する BGM リスト]** の楽曲データが登録（コピー）されます。

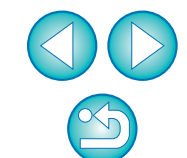
● すでにカメラのメモリーカードに楽曲データが登録されているときは、楽曲データが上書きされて登録されます。

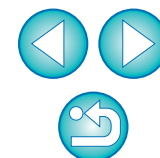
● 1 曲単位で楽曲データをカメラに登録することはできません。

5 [閉じる] ボタンを押す

➜ [BGM の登録] 画面が閉じます。

本機能で複製した音楽は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

カメラのメモリーカードに登録できる楽曲データは、次の条件を満たした音楽ファイルです。

ファイルフォーマット	リニア PCM 方式の WAVE ファイル (.WAV .WAVE)
ファイルの時間制限	1 ファイルあたり、29 分 59 秒以内
ファイル数の制限	20 ファイル以内
チャンネル数	2 チャンネル

4 環境設定

環境設定の各タブ画面で EU の各種機能を変えて、より使いやすくすることができます。

環境設定

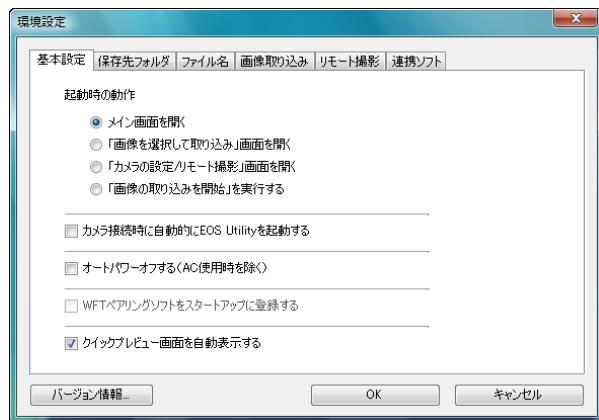
1 **メイン画面の［環境設定］ボタンを押す**

➜［環境設定］画面が表示されます。

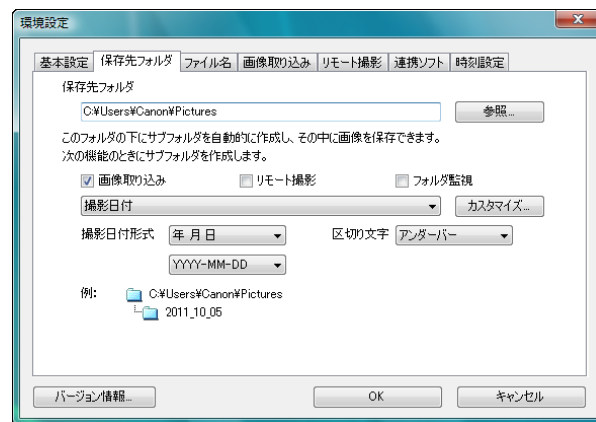
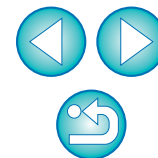
2 **各項目を設定して［OK］ボタンを押す**

➜ 設定内容が EU に適用されます。

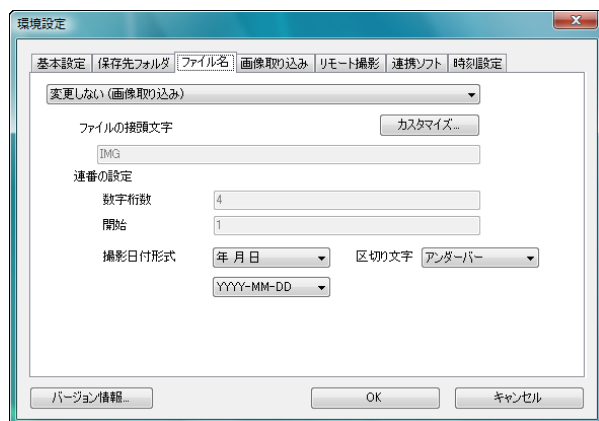
基本設定

EU を立ち上げたときの動作や、オートパワーオフ機能の ON ／ OFF を設定することができます。

- **［起動時の動作］**で**［「画像を選択して取り込み」画面を開く］**を選んだときは、ビューワー画面（p.89）が表示されます。
- **［起動時の動作］**で**［「カメラの設定／リモート撮影」画面を開く］**を選んだときは、キャプチャー画面（p.92）が表示されます。
- **［起動時の動作］**で**［「画像の取り込みを開始」を実行する］**を選んだときは、**［ファイル保存］**画面（p.7）が表示され、パソコンへの画像取り込みがはじまります。すべての画像が取り込まれると、DPP が自動的に立ち上がり、DPP のメイン画面に取り込んだ画像が表示されます。
- **［オートパワーオフする］**をチェックすると、カメラ側のオートパワーオフ機能が有効になります。なお、チェックを外すと、カメラ側でオートパワーオフ機能を設定していても、オートパワーオフ機能は無効になります。（パソコンとの接続中のみ）
- **［WFT ペアリングソフトをスタートアップに登録する］**をチェックすると、WFT ペアリングソフトが Windows のスタートアップメニューに登録されます。
- **［クイックプレビュー画面を自動表示する］**のチェックを外すと、リモートライブビュー撮影時、および画像取り込み時にクイックプレビュー画面が自動表示されなくなります。

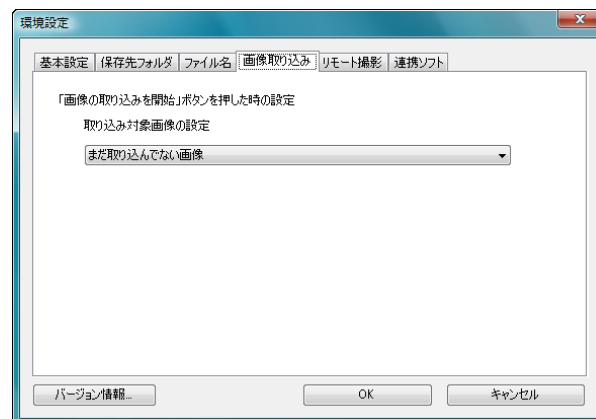
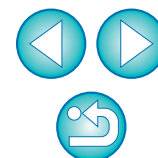
保存先フォルダ

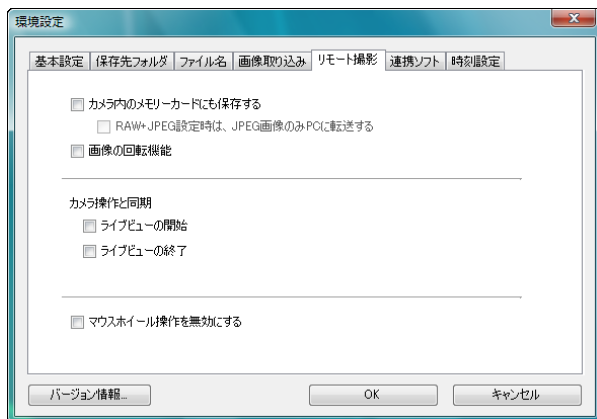
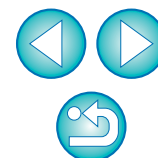
カメラから取り込んだ画像や、リモート撮影した画像の保存先フォルダを設定することができます。

- 保存先フォルダのテキストボックスに直接文字を入力することで、保存先フォルダを指定することもできます。
- 保存先フォルダを設定するときは、**［参照］**ボタンを押してください。**［参照］**ボタンを押して保存先フォルダを設定すると、設定した保存先フォルダの下に、サブフォルダが自動的に作成されます。
- **［画像取り込み］、［リモート撮影］、［フォルダ監視］**のいずれかをチェックすると、チェックした機能を実行したときにサブフォルダが生成されます。
- 生成するサブフォルダの命名規則はリストボックスから選ぶことができます。また、**［カスタマイズ］**ボタンを押すことで、サブフォルダの命名規則をカスタマイズすることができます。
- 生成するサブフォルダに撮影日付を使う場合の形式（年月日の表示順序や書式）や、区切り文字を設定することができます。

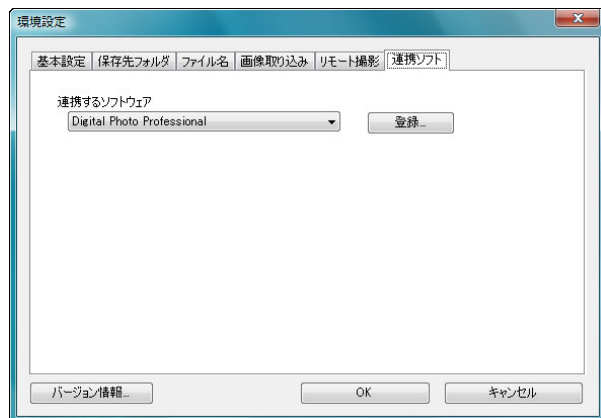
ファイル名

カメラから画像を取り込んだり、リモート撮影した画像のファイル名を設定することができます。

- 画像のファイル名を設定するときは、ファイルの命名規則をリストボックスから選びます。（**［変更しない］**を選んだときは、カメラで設定したファイル名で画像が保存されます）また、**［カスタマイズ］**ボタンを押すことで、ファイルの命名規則をカスタマイズすることができます。
- ファイル名の接頭文字、連番の数字桁数、開始数字は個別に設定することができます。
- ファイル名に撮影日付を使う場合の形式（年月日の表示順序や書式）、区切り文字を設定することができます。

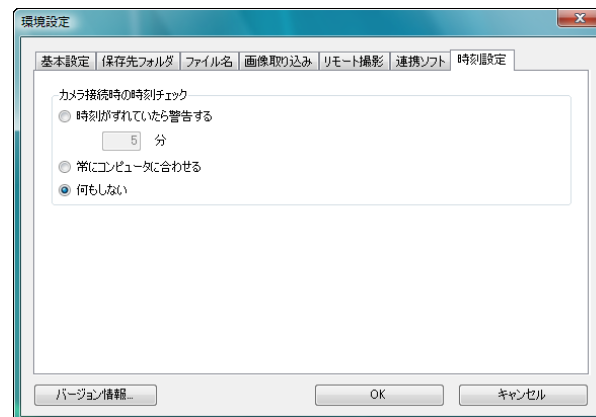
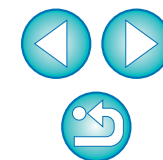
画像取り込み

メイン画面で**［画像の取り込みを開始］**をクリックしたときの、取り込み対象となる画像を、リストボックスから選ぶことができます。

［取り込み対象画像の設定］メニューの、**［カメラで送信指定した画像］**は、撮影画像のダイレクト転送が可能なカメラにのみ有効なメニューです。詳しくはカメラの使用説明書を参照してください。

リモート撮影

リモート撮影を行うときの動作を設定することができます。

- **[カメラ内のメモリーカードにも保存する]** をチェックすると、リモート撮影したときの撮影画像をカメラ内のメモリーカードにも保存します。
- **[RAW+JPEG 設定時は、JPEG 画像のみ PC に転送する]** をチェックすると、RAW+JPEG 設定でリモート撮影した画像の JPEG 画像のみをパソコンに転送します。
- **[画像の回転機能]** をチェックすると、撮影時のカメラ位置にかかわらず、撮影画像を回転させる機能を有効にします。なお、回転角度の設定はキャプチャー画面 （p.92） で行います。
- **[ライブビューの開始]** をチェックすると、カメラ本体のライブビュー開始と同じタイミングで、**[リモートライブビュー画面]** を自動的に表示します。
- **[ライブビューの終了]** をチェックすると、カメラ本体のライブビュー終了と同じタイミングで、**[リモートライブビュー画面]** を自動的に終了します。また、1D X 1D Mk IV 5D Mk III 7D 60D Kiss X6i Kiss X5 Kiss X4 Kiss X50 では、リモートライブビュー終了時にカメラ本体でライブビュー表示が行われていると、カメラ本体のライブビュー表示も終了させます。
- **[マウスホイール操作を無効にする]** をチェックすると、キャプチャー画面の表示・操作パネル部分、ストロボ機能設定画面上でマウスのホイール操作が無効になります。

連携ソフト

カメラから画像を取り込んだり、リモート撮影したときに連携するソフトウェアを、リストボックスから選ぶことができます。また、**［登録］**ボタンを押すことで、他社製ソフトウェアを連携するソフトウェアとして登録することもできます。

［登録］ボタンを押すと表示される画面では、他社製ソフトウェアを連携させるときに、通知する画像の種類を指定することができます。

時刻設定

カメラ接続時の時刻に関する設定を行います。

- **［時刻がずれていたら警告する］**を選んだときは、カメラの時刻とパソコンの時刻がどれぐらいずれていたら警告を行うか、1 ～ 60 分の間で設定を行うことができます。
  EU 起動時に、カメラの時刻とパソコンの時刻を比較して、設定値よりずれている場合は、警告画面を表示します。
- **［常にコンピュータに合わせる］**を選んだときは、EU 起動時に、パソコンの時刻をカメラに設定します。

EU を快適に使っていただくため、この「資料」を設けました。
各種のトラブル解決法や EU の削除方法の他、主要な画面の全表示内容を掲載しています。
また、章の最後には索引を設け、知りたいことを見つけやすくしています。

はじめに
やりたいこと目次
1 画像取り込み
2 カメラ設定
3 リモート撮影
4 環境設定
資　料
索　引

こんなときは

EU が正しく動作しないときは、下記の例を参考にチェックしてください。

手順どおりにインストールできない

- ユーザー設定を［**管理者**］権限、［**コンピュータの管理者**］権限以外に設定していると、ソフトウェアをインストールすることができません。ユーザー設定を Windows 7、Windows Vista では［**管理者**］権限、Windows XP では［**コンピュータの管理者**］権限に設定してください。詳しい設定方法は、パソコンの使用説明書などを参照してください。

EU が立ち上がらない

- カメラの電源スイッチを〈ON〉にしても、EU が立ち上がらないときは、デスクトップの［**EOS Utility**］アイコンをダブルクリックするか、［ ］ボタン（Windows XP では［**スタート**］ボタン）▶［**すべてのプログラム**］▶［**Canon Utilities**］▶［**EOS Utility**］▶［**EOS Utility**］を選んで EU を立ち上げてください。

カードリーダーで、SD カードを認識できない

- お使いのカードリーダーや、パソコンの OS のバージョンによっては、SDXC カードをカードリーダーに差しても正しく認識されないことがあります。そのときは、カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続して画像を取り込んでください。

EU とカメラが通信できない

- 動作環境と違ったパソコンでは、EU は正しく動作しません。動作環境にあったパソコンを使ってください。（p.2）
- インターフェースケーブルのプラグは、正しい向きでしっかりと根元まで差し込んでください。正しく接続されていないと、正常な通信ができないだけでなく、カメラやパソコンの故障の原因となります。（p.5）
- カメラの電源スイッチが〈ON〉になっているか確認してください。（p.6）
- EOS DIGITAL カメラ専用のキヤノン製インターフェースケーブル以外では、EU とカメラは正しく通信できないことがあります。（p.5）
- カメラとパソコンは、カメラに付属のインターフェースケーブルで直接接続してください。ハブを介してカメラとパソコンを接続すると、EU とカメラが通信できないことがあります。
- 複数の USB 機器（マウス、キーボードを除く）をパソコンに接続していると、正常に通信できないことがあります。正常な通信ができないときは、マウス、キーボード以外の USB 機器をパソコンから外してください。
- 1 台のパソコンに 2 台以上のカメラを接続しないでください。カメラが正常に動作しないことがあります。
- ワイヤレスファイルトランスミッター WFT シリーズ（別売）の「連動撮影」を行っている状態で、カメラとパソコンと接続しないでください。カメラが正常に動作しないことがあります。
- カメラのバッテリー残量が少ないと、EU との通信はできません。充電済みのバッテリーに入れ換えるか、カメラに付属の AC アダプターキットを使ってください。なお、インターフェースケーブルによるパソコンからカメラへの電源供給は行われません。

EU とカメラの通信が途中で切れる

- カメラのオートパワーオフ機能が働くと、自動的にカメラの電源が切れ、EU との通信ができなくなります。オートパワーオフ機能を OFF にするときは、環境設定（**[基本設定]** タブ画面）で **[オートパワーオフする]** のチェックを外す （p.75）か、カメラでオートパワーオフ機能を **[切]** に設定してください。

- カメラとパソコンを接続したまま何も操作を行わないと、パソコン環境により、通信の継続を確認する画面が表示されることがあります。この画面が表示されたときに何も操作を行わないと、カメラとの通信が切断され、EU が終了します。その場合には、カメラの電源スイッチを〈OFF〉にしてから再度〈ON〉にして、EU を立ち上げてください。

- カメラとパソコンを接続している状態で、パソコンをスタンバイ（スリープ）状態にしないでください。万一、パソコンがスタンバイ状態になってしまったときは、インターフェースケーブルはパソコンから取り外さず、必ず接続したままでスタンバイ状態から回復してください。スタンバイ状態でインターフェースケーブルを取り外すと、パソコンの機種によってはスタンバイ状態から正常に回復しないことがあります。スタンバイ状態の詳細については、パソコンの使用説明書を参照してください。

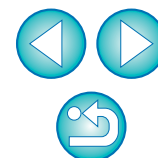
リモートライブビュー撮影時に汎用ストロボが発光しない

- カメラに汎用ストロボを装着してリモートライブビュー撮影を行うときは、カメラの **[静音撮影]** は **[しない]** に設定してください。

EU でリモート撮影した画像が DPP で表示されない

- Digital Photo Professional 上で、メニューの **[ツール]** ▶ **[EOS Utility とフォルダ同期]** を選びます。

はじめに
やりたいこと目次
1 画像取り込み
2 カメラ設定
3 リモート撮影
4 環境設定

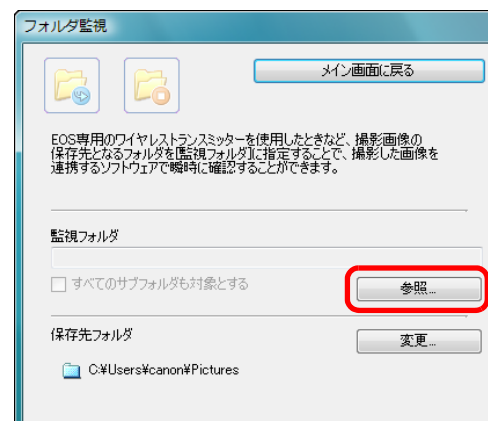
資料
索引

フォルダ監視機能（WFT-E2、E2 IIB、E3、E4、E4 IIB、E5B、E6B、E7B との連携機能）

ワイヤレスファイルトランスミッター WFT-E2、E2 IIB、E3、E4、E4 IIB、E5B、E6B、E7B（別売）を使って、撮影した画像を Digital Photo Professional（以降 DPP）でリアルタイムに確認することができる機能です。

WFT-E2、E2 IIB、E3、E4、E4 IIB、E5B、E6B、E7B の設定方法については、それぞれの製品に付属の使用説明書を参照してください。

1 ［フォルダ監視］をクリックする

➜［フォルダ監視］画面が表示されます。

2 ［参照］ボタンを押して、撮影画像の保存先フォルダを指定する

- WFT-E2、E2 IIB、E3、E4、E4 IIB、E5B、E6B、E7B で設定した撮影画像の保存先フォルダを指定します。

3 ［変更］ボタンを押して、転送先フォルダを指定する

4 ［ ］ボタンを押す

➜ 画像転送の準備ができました。

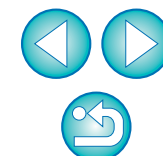
5 撮影する

➜ 撮影画像が手順 2 で指定したフォルダに保存されると、手順 3 で指定したフォルダに転送／保存されます。

➜ DPP が立ち上がり、手順 3 で指定したフォルダに保存された画像が表示されます。

手順 2 と 3 で指定するフォルダを同じフォルダにすることはできません。

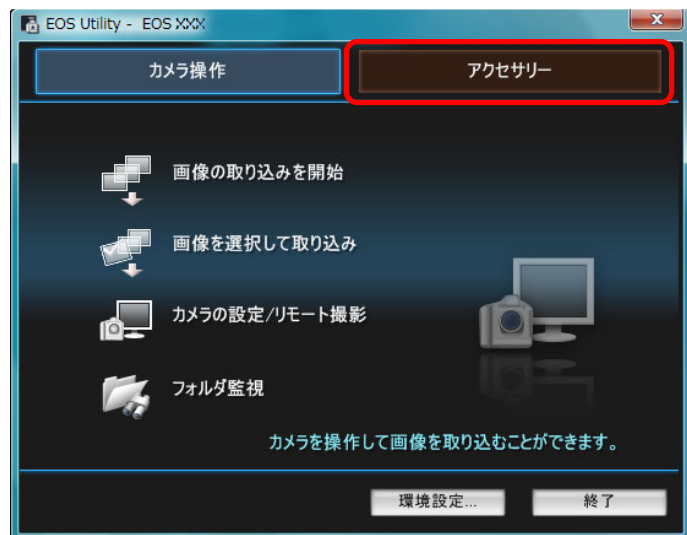
手順 5 で連携して立ち上がるソフトウェアを、環境設定（**［連携ソフト］**タブ画面）で、DPP から ImageBrowser EX や別のソフトウェアに変更することができます。(p.78)

アクセサリーとの連携機能

ワイヤレスファイルトランスミッター WFT-E2、E2 IIB、E3、E4、E4 IIB、E5B（別売）などをお持ちの方は、EU から前記のアクセサリー用ソフトウェアを立ち上げることができます。

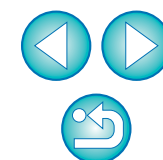
また、Picture Style Editor（ピクチャースタイルファイル作成用ソフトウェア）を立ち上げることもできます。

なお、それぞれのソフトウェアの詳しい使いかたについては、各ソフトウェアの使用説明書を、ピクチャースタイルファイルについては、p.19 を参照してください。

1 カメラとパソコンを接続して、EU を立ち上げる (p.5)

2 [アクセサリー] タブをクリックする

→ [アクセサリー] タブ画面が表示されます。

3 立ち上げたいソフトウェア項目をクリックする

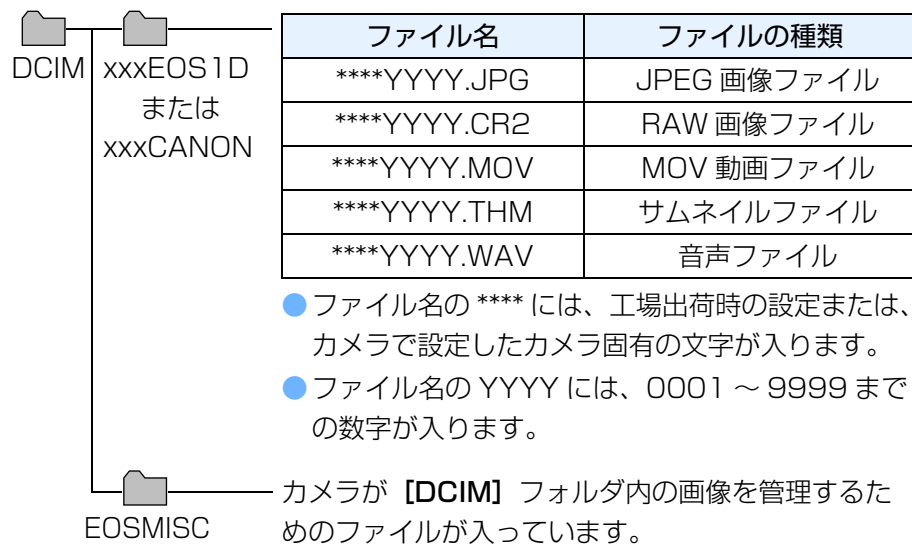
→ クリックしたソフトウェアが立ち上がります。

メモリーカード内のフォルダ構造とファイル名

カメラで撮影した画像は、メモリーカードの［DCIM］フォルダ内に、以下のフォルダ構造、ファイル名で保存されます。カードリーダーを使って、パソコンに撮影画像をコピーするときの参考にしてください。

DCIM ─ xxxEOS1D または xxxCANON

ファイル名	ファイルの種類
****YYYY.JPG	JPEG 画像ファイル
****YYYY.CR2	RAW 画像ファイル
****YYYY.MOV	MOV 動画ファイル
****YYYY.THM	サムネイルファイル
****YYYY.WAV	音声ファイル

- ファイル名の **** には、工場出荷時の設定または、カメラで設定したカメラ固有の文字が入ります。
- ファイル名の YYYY には、0001 ～ 9999 までの数字が入ります。

DCIM ─ EOSMISC：カメラが［DCIM］フォルダ内の画像を管理するためのファイルが入っています。

- フォルダ名の xxx には、100 ～ 999 までの数字が入ります。
- 1D シリーズカメラの CF カード、SD カードのフォルダ構造は同じです。
- カメラで DPOF の設定を行うと［MISC］フォルダが作成されます。［MISC］フォルダには、DPOF の設定内容を管理するファイルが保存されています。
- Kiss X6i Kiss X5 で BGM の登録を行うと、音楽登録のために MUSIC フォルダが生成され、WAV ファイルが保存されます。
- サムネイルファイルは、動画と同じ画像番号で保存される、撮影情報などが記録されたファイルです。
  1D Mk IV 5D Mk II 7D Kiss X4 Kiss X3 で動画を撮影したときに動画ファイルと共に生成されます。
- 1D Mk IV 5D Mk II 7D Kiss X4 Kiss X3 で撮影した動画をカメラで再生するときは、動画ファイルとサムネイルファイルが必要です。

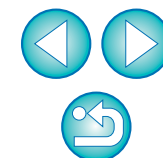
Adobe RGB に設定し撮影した画像は、ファイル名の先頭文字が「 _ 」（アンダーバー）になります。

ソフトウェアを削除する（アンインストール）

- ソフトウェアの削除をはじめる前に、立ち上がっているすべてのソフトウェアを終了してください。
- ソフトウェアの削除を行うときは、管理者／コンピュータの管理者権限でログインしてください。
- ソフトウェアを削除したあとは、必ずパソコンを再起動してください。再起動しないとパソコンが正しく動作しないことがあります。また、再起動をしないでソフトウェアを再インストールすると誤動作の原因になります。

1 ［ ］ボタン（Windows XP では［スタート］ボタン）▶［すべてのプログラム］▶［Canon Utilities］▶［EOS Utility］▶［EOS Utility アンインストール］を選ぶ

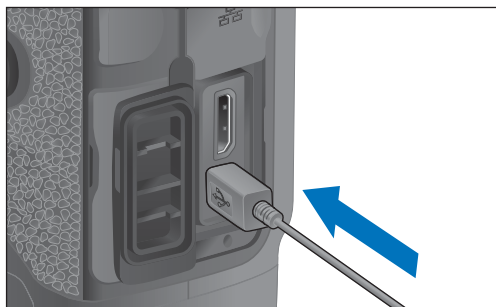
2 表示される画面内容にしたがって削除を進める

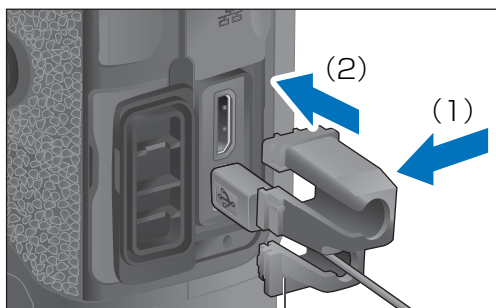
➜ ソフトウェアが削除されます。

カメラとプラグの固定

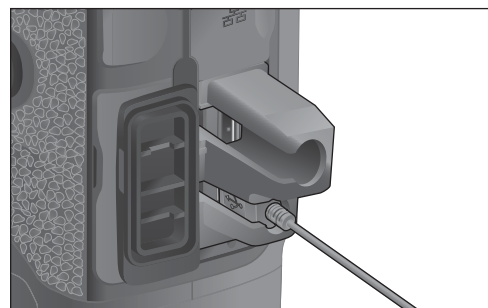
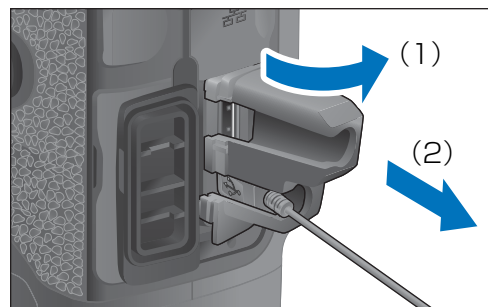
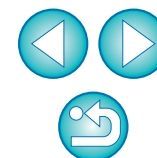
1D X　1D Mk IV　1Ds Mk III　1D Mk III

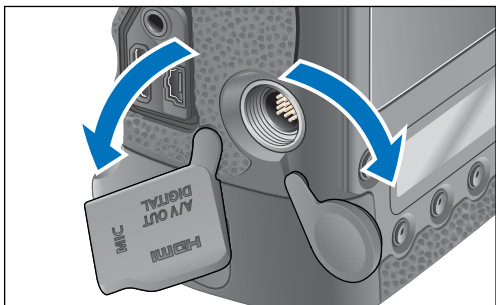
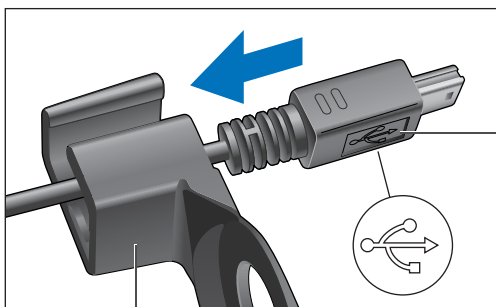
リモート撮影中に、カメラからプラグが抜けないよう、カメラとプラグをケーブルプロテクターで固定します。

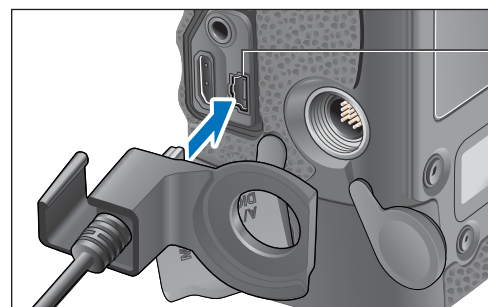
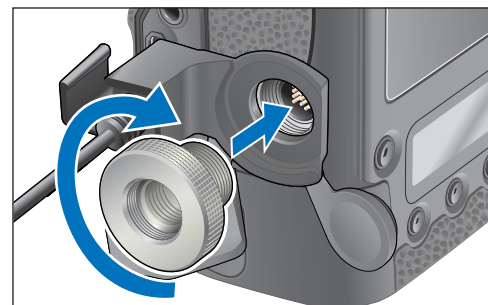
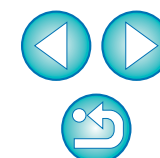
1D X

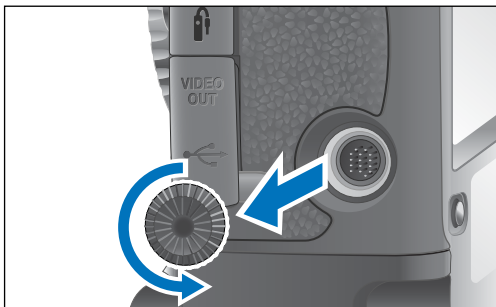
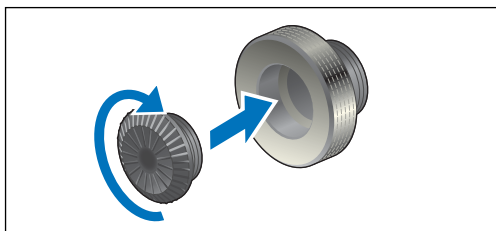
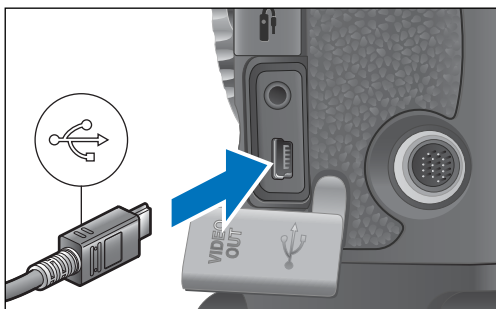
1 カバーを開け、ケーブルの小さい方のプラグをカメラの〈A/V OUT / DIGITAL〉端子に差し込む

● プラグの〈 〉マークの向きを確認して押し込みます。

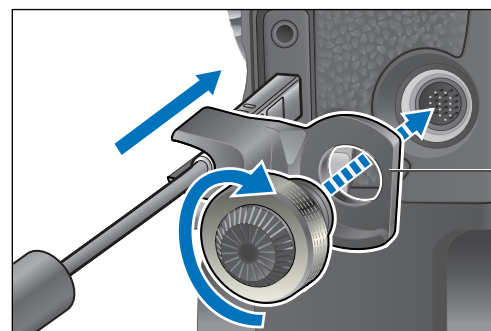
2 （1）（2）の手順でケーブルプロテクターを取り付ける

ケーブルプロテクター

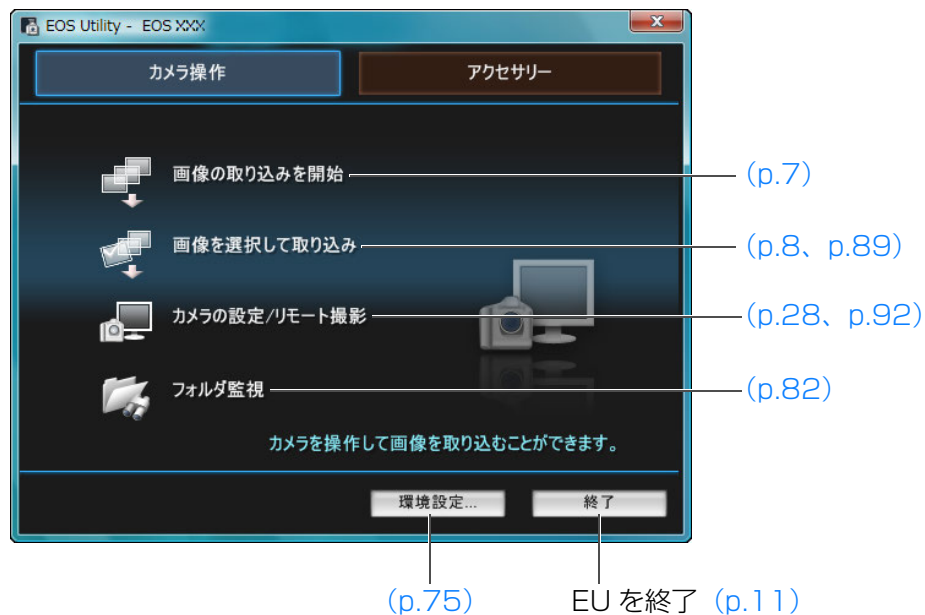
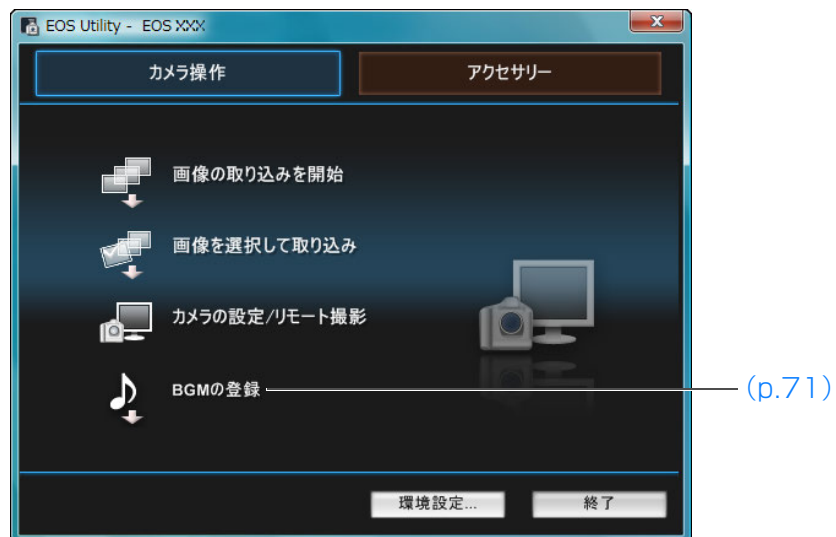
取りつけ状態

3 ケーブルプロテクターの取り外しは（1）（2）の手順で行う

1D Mk IV

1 カバーを開ける

2 ケーブルの小さい方のプラグをケーブルプロテクターに通し、矢印の方向に押し込む

- プラグの〈 〉マークの向きを確認して押し込みます。

3 手順 2 の状態のまま、プラグをカメラの〈A/V OUT / DIGITAL〉端子に差し込む

4 取り付けネジでケーブルプロテクターを固定する

1Ds Mk III 1D Mk III

1 キャップを取り外す

2 キャップを取り付けネジに取り付ける

3 ケーブルの小さい方のプラグを、カメラの〈⭠〉端子に差し込む

- プラグの〈⭠〉マークをカメラの前面に向けて差し込みます。

4 ケーブルプロテクターを取り付け、取り付けネジで固定する

メイン画面の機能一覧

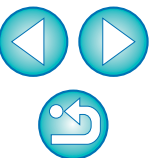
カメラ操作タブ画面

● Kiss X6i Kiss X5 をパソコンに接続したときは、下記の画面が表示されます。

● **[アクセサリー]** タブ画面を選ぶと、ワイヤレスファイルトランスミッター WFT-E2、E2 IIB、E3、E4、E4 IIB、E5B（別売）などの、アクセサリー用ソフトウェアや、Picture Style Editor（ピクチャースタイルファイル作成用ソフトウェア）を EU から立ち上げることができます。(p.83)

はじめに
やりたいこと目次
画像取り込み
カメラ設定
リモート撮影
環境設定
資 料
索 引

ビューワー画面の機能一覧 (p.8)

ブラケティング撮影マーク
一度パソコンに取り込んだマーク
記録メディアの切り換え
動画マーク
画像の選択条件
ビデオスナップマーク
記録メディアのフォルダ階層
録画時間
レーティングマーク *
RAW 画像マーク
プロテクトマーク
音声録音マーク
RAW+JPEG 画像マーク
画像表示の大きさ
キャプチャー画面表示
EU を終了
クイックプレビュー画面表示
画像の消去
メイン画面表示
パソコンへの画像取り込み
［環境設定］ 画面表示
チェックマーク (p.8)

EOS Utility - EOS XXX
ファイル(F)　編集(E)　表示(V)　ウインドウ(W)　ヘルプ(H)
選択画像のみ表示
選択を反転する
すべて
100EOS
100-0001　100-0002　100-0003　100-0004
100-0005　100-0006　100-0007　100-0008
100-0009　100-0010　100-0011　100-0012
取り込み...
8 / 12 画像選択
ラージ
環境設定...　メイン画面...　終了

* Digital Photo Professional Ver.3.9 以降や、 1D X 5D Mk III 7D （ファームウェア Ver.2.0.0 以上） 60D Kiss X6i Kiss X5 Kiss X50 カメラ本体などで設定したレーティング（お気に入り度）を表示します。ただし **［除外］** は表示されません。また、EU でレーティング（お気に入り度）を設定することはできません。

レンズ収差補正データの登録／レンズ光学補正データの登録／周辺光量補正データの登録画面の機能一覧 (p.23)

レンズ収差補正データの登録

すべて

Lレンズのみ

超広角・広角

標準・中望遠

望遠

レンズカテゴリー選択

マクロ

ズーム

EF-S10-22mm f/3.5-4.5 USM
EF-S60mm f/2.8 Macro USM
EF-S15-85mm f/3.5-5.6 IS USM
EF-S17-55mm f/2.8 IS USM
EF-S17-85mm f/4-5.6 IS USM
EF-S18-55mm f/3.5-5.6
EF-S18-55mm f/3.5-5.6 IS
EF-S18-55mm f/3.5-5.6 USM
EF-S18-135mm f/3.5-5.6 IS
EF-S18-200mm f/3.5-5.6 IS
EF-S55-250mm f/4-5.6 IS

エクステンダー EF1.4X EF2X

選択したレンズのみ表示

26 / 40

OK キャンセル

すべてのカテゴリーを表示

レンズのカテゴリー

［レンズカテゴリー選択］で選ばれた、カテゴリー別のレンズを表示

登録されているレンズのみを表示

カメラに登録されているレンズの数／登録可能なレンズの数

［レンズ収差補正データの登録］画面／［レンズ光学補正データの登録］画面／［周辺光量補正データの登録］画面に表示されるレンズ名は、レンズの種類によってはレンズ名の一部が省略されて表示されることがあります。

マイメニューの設定画面の機能一覧 (p.25)

マイメニューの並び順の入れ換え

マイメニューの設定

カメラのマイメニューに設定する項目

ホワイトバランス
色空間
ピクチャースタイル
画像プロテクト

<- 追加

ホワイトバランス
MWBデータ登録
WB補正/BKT設定
色空間
ピクチャースタイル
JPEG画質
画像サイズ
撮影画像の確認時間
電子音
カードなしレリーズ
ダストデリートデータ取得
画像プロテクト
画像回転
画像消去

削除　カメラに登録

閉じる

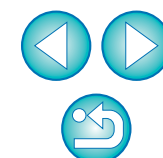
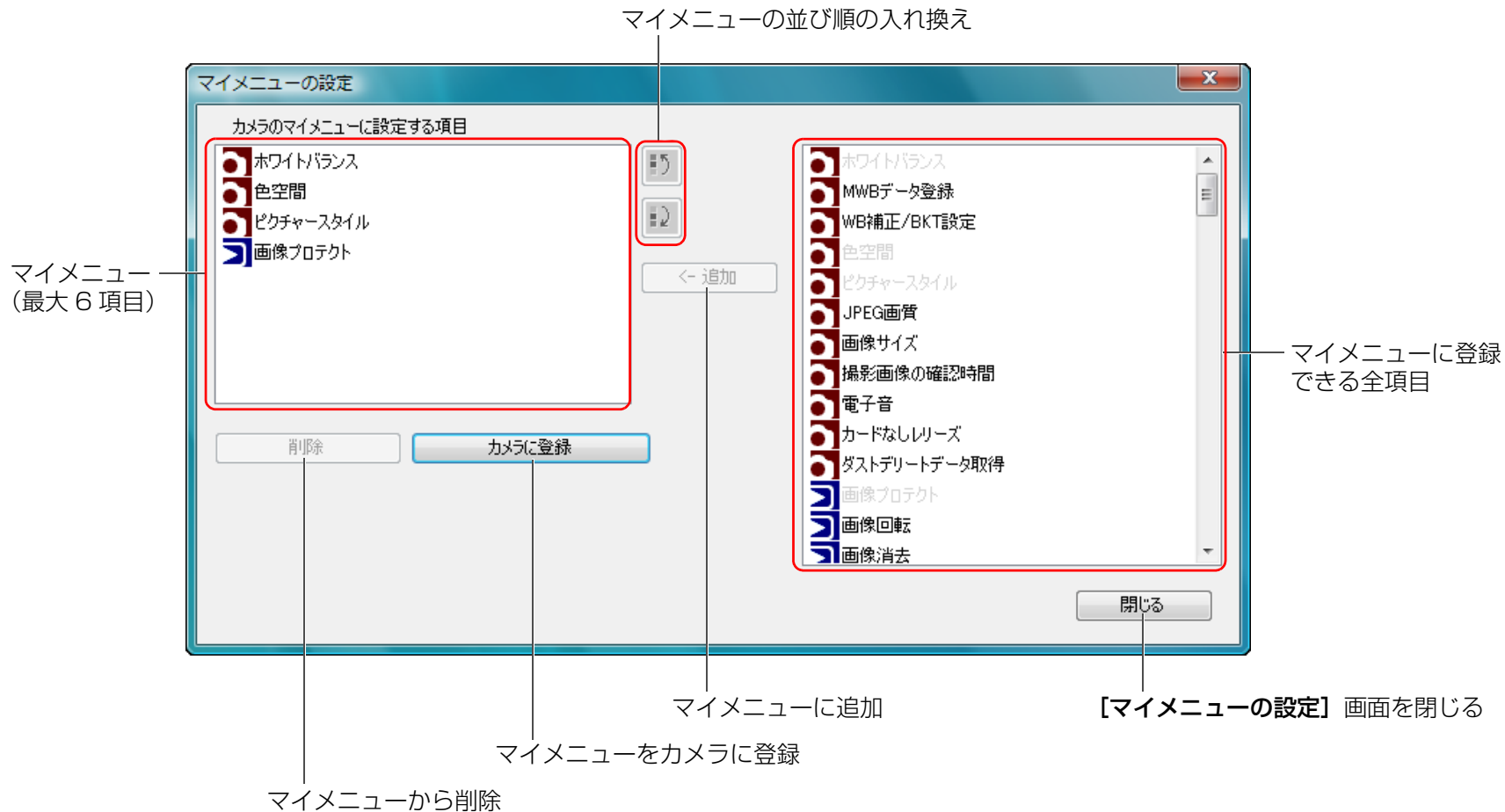
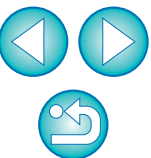
マイメニュー
（最大 6 項目）

マイメニューに登録できる全項目

マイメニューに追加

［マイメニューの設定］画面を閉じる

マイメニューをカメラに登録

マイメニューから削除

キャプチャー画面の機能一覧

- 接続しているカメラの機種や設定によって、表示される内容は異なります。
- *1 ～ *11 の説明は、次ページを参照してください。

ミラーアップ撮影
ストロボ充電完了 *2
ドライブモード
ブラケティング撮影 *10
電源状態 *1
撮影可能枚数
撮影モード *11
色温度
ホワイトバランス
測光モード
露出レベル／ AEB レベル（詳細は次ページ参照）
［撮影系メニュー］表示（p.15）
［ストロボ制御メニュー］表示（p.68）
［リモートライブビュー画面］表示（p.32、p.96）
［環境設定］画面表示（p.75）
AF モード
警告ランプ *3
撮影画像の回転 *4
撮影ボタン *5（p.33）
AF ／ MF 切り換えボタン *6
撮影画像の保存先
シャッター速度
絞り数値 *7
ISO 感度
記録画質
撮影画像の保存場所 *8
［タイマー撮影設定］画面表示（p.65、p.66）
［マイメニュー］表示（p.26）
［機能設定系メニュー］表示（p.14）
［リモートライブビュー画面（動画）］表示 *9（p.57、p.59、p.61）
メイン画面表示（p.88）
ビューワー画面表示（p.8、p.89）
［クイックプレビュー］画面表示／非表示
［テスト撮影］画面表示（p.42、p.99）

*1 バッテリーを使っているときは、バッテリー残量が表示されます。

*2 1D X 1D Mk IV 5D Mk III 7D 60D Kiss X6i Kiss X5 Kiss X4 Kiss X50 のみ表示されます。
ストロボ充電が完了したあと、カーソルを撮影ボタンに重ねると表示されます。

*3 撮影に失敗したとき、または撮影できないときに赤く点灯します。また、セルフタイマー撮影のカウントダウン中は点滅します。

*4 ボタンを押すたびに、撮影画像が 90 度単位で回転します。
この機能を有効にするには、環境設定（**[リモート撮影]** タブ画面）で、**[画像の回転機能]** をチェックしてください。(p.77)

*5 1D X 1D Mk IV 5D Mk III 5D Mk II 7D 60D 50D Kiss X6i Kiss X5 Kiss X4 Kiss X3 Kiss X50 では、AF ／ MF 切り換えボタンが **[AF]** に設定されているときに、撮影ボタンにカーソルを重ねると、AF ／ AE が行われます。

*6 1D X 1D Mk IV 5D Mk III 5D Mk II 7D 60D 50D Kiss X6i Kiss X5 Kiss X4 Kiss X3 Kiss X50 のみ表示されます。**[MF]** に設定されているときでも、撮影した画像の撮影情報は「AF」になります。なお、カメラの撮影モードが〈A-DEP〉に設定されているときは、このボタンは無効になります。

*7 絞り数値を右クリックして選び、キーボードの〈O〉を押すと絞り数値が小さく、〈C〉を押すと絞り数値を大きくすることができます。

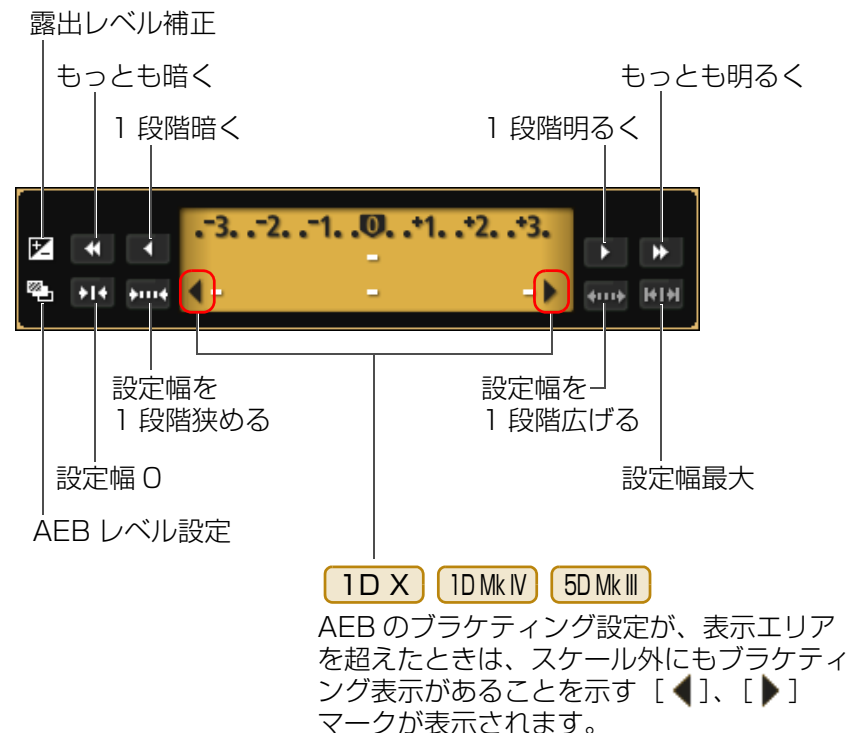
*8 撮影画像の保存場所をパソコンのみにするか、パソコンとカメラ内のメモリーカードの両方に保存するかを選ぶことができます。なお、動画モード時は、カメラ内のメモリーカードのみに保存されます。

*9 5D Mk III 7D 60D Kiss X6i Kiss X5 Kiss X4 Kiss X50 のみ表示されます。

*10 5D Mk III HDR（ハイダイナミックレンジ）撮影時は、アイコンが [HDR] になります。Kiss X6i **[マルチショットノイズ低減機能]** 設定時は、アイコンが [NR] になります。

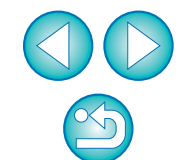
*11 1D X 5D Mk III カスタムモード C1、C2、C3 も設定することができます。

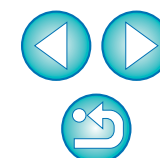
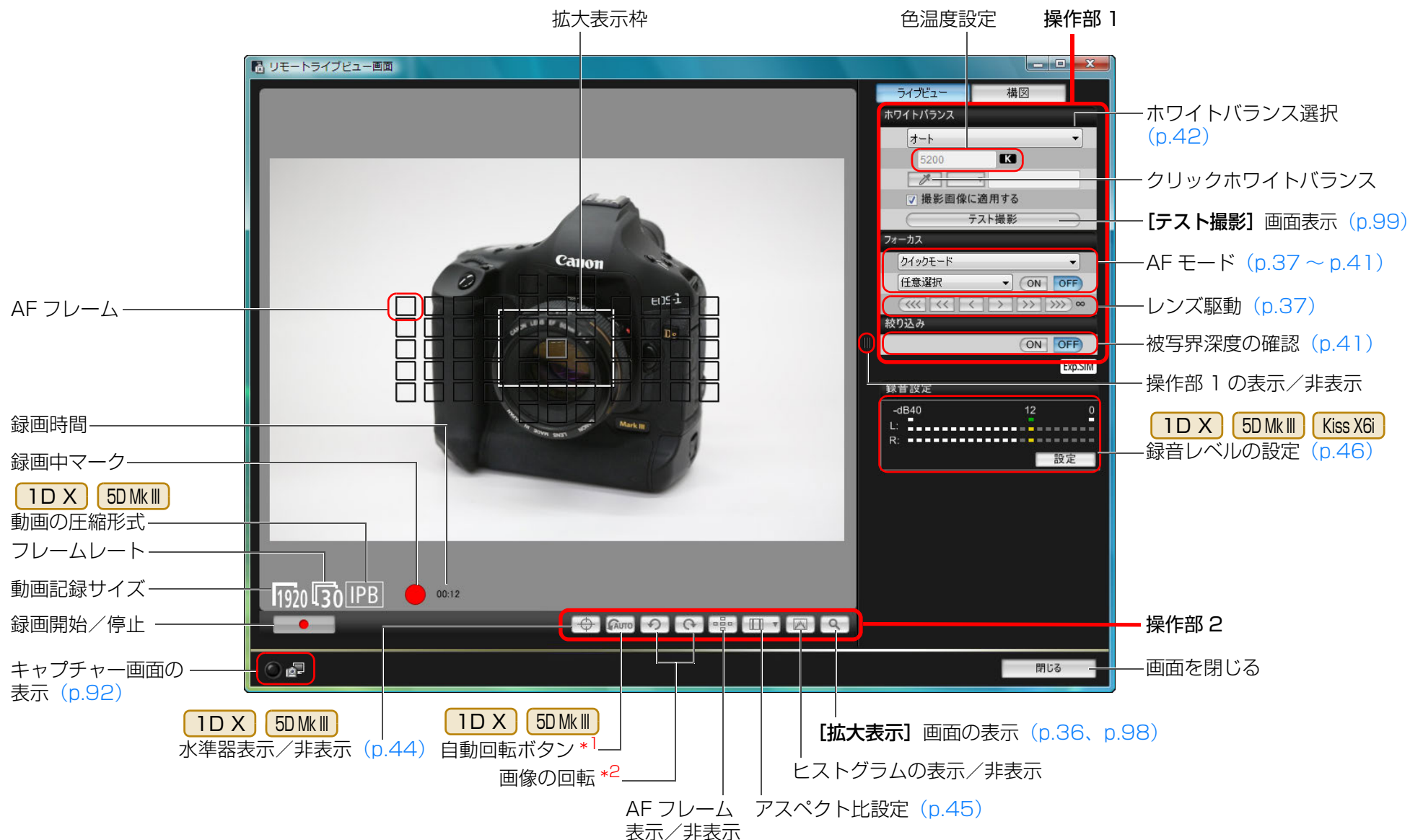
露出レベル／ AEB レベル

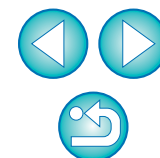
● 露出レベル／ AEB レベル項目をダブルクリックすると、次のように表示が変わります。

● 1D X 5D Mk III の AEB 2 枚撮影時は、次のように表示されます。

ストロボ機能設定画面の機能一覧 (p.67)

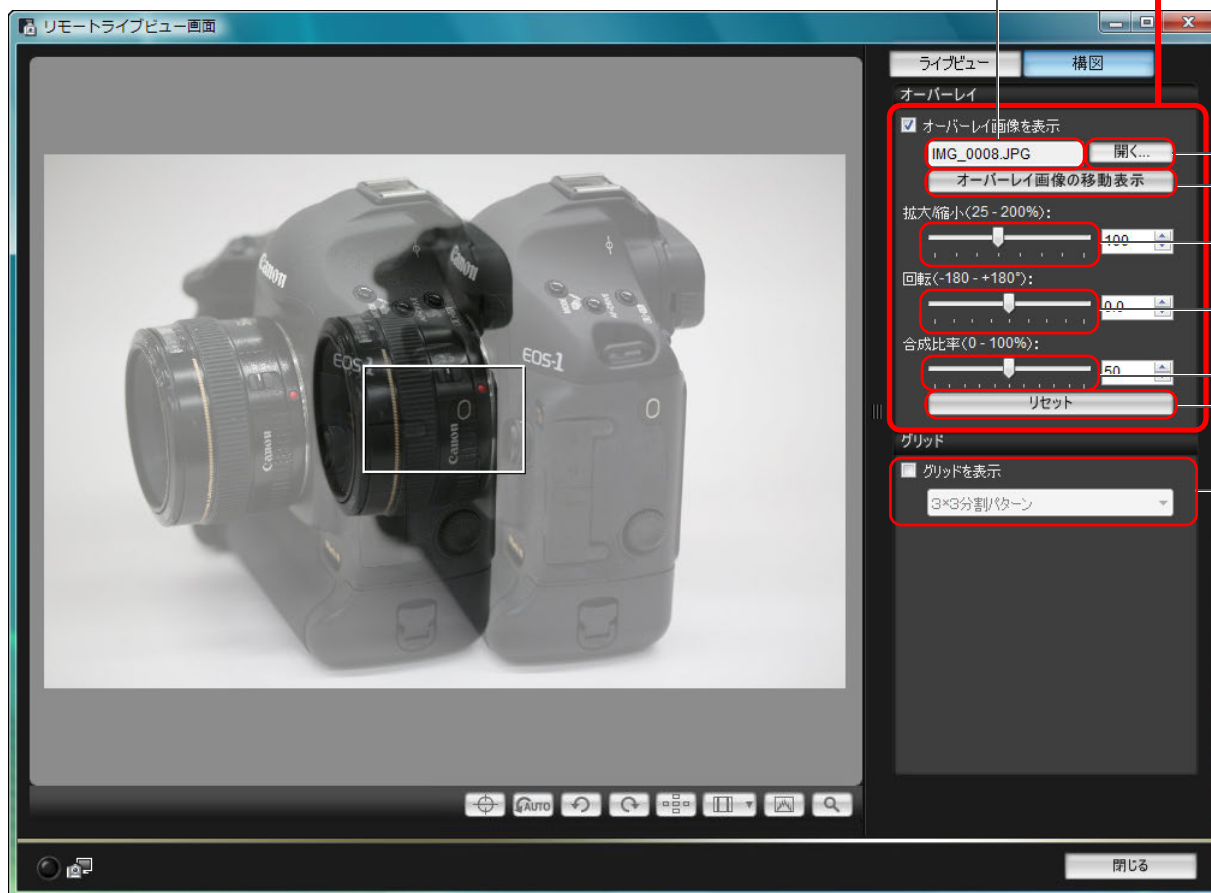
1D X / 1D Mk IV / 5D Mk III / 5D Mk II / 7D / 60D / Kiss X6i / Kiss X5 / Kiss X4 / Kiss X50 *1

*1 接続するカメラやストロボによって表示される画面が異なります。
*2 設定によって表示内容は異なります。設定の詳細については、お使いの EX スピードライトやカメラの使用説明書をあわせて参照してください。

調光方式
ズーム・焦点距離数値
マルチ発光周波数
マルチ発光回数
更新ボタン
発光モード
シンクロ設定 *1
調光補正量／発光量 *2
ワイヤレス機能ボタン
チャンネル
電波通信 ID
マスター発光 ON ／ OFF
光量比
ワイヤレス設定時の発光量／調光補正量 *2
［モデリング発光］ボタン
［保存］ボタン
［読み込み］ボタン

*1 先幕シンクロ／ 後幕シンクロ／ ハイスピードシンクロ
*2 設定によって表示内容は異なります。設定の詳細については、お使いの EX スピードライトやカメラの使用説明書をあわせて参照してください。

リモートライブビュー画面（ライブビュータブ）の機能一覧 (p.28)

*1 自動回転の設定時に、カメラが縦位置ということが検知されると、リモートライブビュー画面もカメラの回転方向に合わせて自動的に回転表示されます。

*2 ［AUTO］ボタンが ON のときは、［ ］［ ］ボタンで画像の回転を行うことはできません。

リモートライブビュー画面（構図タブ）の機能一覧 （p.48）

オーバーレイ画像のファイル名

オーバーレイ画像操作部

- オーバーレイ画像を開く （p.48）
- オーバーレイ画像の移動表示 （p.51）
- 拡大／縮小スライダー （p.49）
- 回転スライダー （p.50）
- 合成比率スライダー （p.50）
- オーバーレイ画像のリセット （p.49～p.51）
- グリッド表示部 （p.52～p.53）

拡大表示画面の機能一覧 （p.36）

表示位置を移動

色温度設定

操作部 1

ホワイトバランス選択（p.42）

クリックホワイトバランス

［テスト撮影］画面表示（p.99）

AF モード（p.37 〜 p.41）

レンズ駆動（p.37）

被写界深度の確認（p.41）

表示モード *

［拡大表示］画面の表示を継続

操作部 1 の表示／非表示

表示位置を移動

表示位置を移動

表示位置を移動

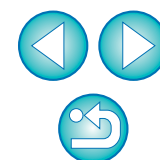
操作部 2

画面を閉じる

キャプチャー画面の表示（p.92）

画像の回転

［リモートライブビュー画面］に戻る

AF フレーム表示／非表示

* ［ ］ボタンを押すと、カメラの液晶モニターを見ながらピントを合わせるのに適した画質になり、［ ］ボタンを押すと、パソコンの画面を見ながらピントを合わせるのに適した画質になります。

テスト撮影画面の機能一覧 (p.42)

テスト撮影

これはテスト撮影画像です。

テスト撮影ボタン

[クリックホワイトバランス]
画面表示 (p.43)

テスト撮影した画像を保存

画像の拡大率

17.2%

キャプチャー画面の表示

X:2060, Y:1741 RGB: [243,234,195]

閉じる

画面を閉じる

座標

RGB 値

画像の回転

画像の拡大／縮小

100%（ピクセル等倍）表示

画面にあわせる表示

索　引

英数字

あ

か

さ

た

は

この使用説明書について

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- ソフトウェアの仕様および、本書の内容を予告なく変更することがあります。
- 本書に掲載しているソフトウェアの画面や表示文言は、実際のソフトウェアと微小に相違することがあります。
- ソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

登録商標について

- Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

付属ソフトウェアに関するご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90002

受付時間：平日 9：00 ～ 20：00
土・日・祝日 10：00 ～ 17：00
（1 月 1 日～ 1 月 3 日は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9556 をご利用ください。
※IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによりつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。